滿洲日報

今曉一時『滿洲時間』から聯盟公開理事會開く

理事會愈々大詰へ

【パリ九日發至急報】理事會は九日午後五時（滿洲時間十日午前一時）より公開會議を開催することに決定した

【パリー九日發】公開理事會は午後五時開會に決したがブリアン氏は決議案を上程宣言を朗讀の筈である而して決議案提出後芳澤大使は本國からの訓令未着を理由として本日の會議で投票する事の延期を求めるかも知れぬ

公開會議の議事日程

【パリー九日發至急報】公開會議の議事日程左の如し

一、ブリアン議長の宣言と決議案朗讀
二、各國代表の演說
三、最後にブリアン議長より日支紛爭經過を述べ特に紛爭に關する聯盟の措置に言及する

我政府の最後的主張

昨夜芳澤代表に訓電

【東京特電九日發】外務省は九日の理事會公開會議の延期を求むるやう一先づ芳澤代表に訓電を發すると共に九日午後長時間に亘り陸軍首腦部と協議の結果同夜更に芳澤代表に對し未解決の二つの點に關し訓電を發したが右の內容の大體左の如し

一、決議草案第二項Aに對する**匪賊討伐權の留保はこれを議長宣言となさず芳澤代表をして單獨に留保聲明**をなさしめると共に支那に對しても反對留保を許容せしむ、但し**支那の反對留保に對して他の理事國は一切援助せざること**を豫め理事會側と諒解を遂ぐべきこと、しかして芳澤代表の留保聲明は次の如し

匪賊の跳梁により日本臣民の生命財產の安全が脅かされたる場合に對し日本は匪賊の討伐に對する自由を留保す、しかしながら匪賊の討伐は一時的措置に過ぎざるをもつて事態の恢復と共にこれを停止す、日本政府は右の留保をなして決議案第二項Aを受諾す

その趣旨のものとす

二、**決議案第五項末尾の字句を決議案中より削除し議長宣言に挿入する、**但し右は日本の撤兵に期限を附するものにあらざることを附言せしむ

かくて右留保と議長宣言を除き決議草案自身は全部承認し得ることゝなつたが同時にこれによつて理事會と日本政府との意見が接近するにいたり理事會の紛爭解決に曙光を見出されん

ベーカー氏日本を攻擊

【クリーブランド八日發】次期アメリカ大統領に擬せられてゐる國際法學者元陸軍長官ベーカー氏は滿洲事變に關しアメリカの執つてゐる態度を生溫いとし日本攻擊の……

滿洲事變費第二豫備金支出

【東京九日發】陸軍省所管滿洲事變費百十三萬八百七十七圓（十二月八日より一月分）第二豫備金支出は九日公布された此結果第二豫備金は三百萬圓足らずに減少した

決議案可決後閉會

【パリ八日發】理事會の形勢は錦州問題纏まらぬ中、一先づ決議案可決の上閉會する豫定である、**只錦州問題に關しても何等かの關係を後日の會議に殘す形式を發見するだらう**と云はる、因に**匪賊討伐に關する最後案は滿洲特殊事情を強く述べ且つ理論よりも實際に則した案**であると

左のステートメントを發表し九國條約發動の必要を强調した

一國の食慾を條約に依つて抑制するは國際間に無政府狀態に代ゆるに法規と秩序を與へるものである、然して若し斯る條約が遵守せられざるに於ては世界平和は幻影の上に立つものとなる日本は九國條約に調印し支那の政治的主權尊重保全を誓つた、今や日本政府は軍部の力を阻止する能力なく日本には二個の勢力が對立して居り條約も二個の政府と別に締結する事となり實際上拘束力を有しない事となるこれが正當にあらざれば斷然日本に問はれねばならぬ

昨日正午の訓電

【東京特電九日發】外務省では我代表部からの請訓に接し九日正午重要訓電を發した事は既報の通りであるが訓電の內容左の如し

一、調査委員會の調査權限に關する**第五項末尾の字句を削除し之を議長宣言中に挿入することは絕對反對**卽ち理事會は調査委員會勸告權を削除するも字句を幾分緩和することに依つて議長宣言になさんとするもので或は依然期限附撤兵要求を含むものなるが故にこれを排し日本側對案を承認せしむ可し

二、匪賊討伐權に關する我留保は議長宣言中に挿入することは左の事項に依るものなら異議なし

日本政府は滿洲の事態に關し注意を喚起せられたり卽ち**最近特に匪賊の跳梁甚だしく**住民の安全を脅しつゝあるが斯くの如き事態の下に日本政府は鐵道附屬地のみならずそれ以外の地帶に於いても**日本軍は馬賊を擊退する權利ありと思惟せられてゐる**尤も理事會は日軍がその占據地を引揚げるに至つた以上治安維持の責任は當然支那側に歸すべきものと思惟する但し右字句には多少の修正を要するとしても從來の立場を變へざるものとす

三、議長宣言草案中の一、二の字句例へば中立地區調査員に對し**調査場所を指定せしむる如き點に關し修正すべし**

支那に學生恐怖時代

各官廳全部がら空き

南京市內の空氣險惡

【南京特電八日發】南京は今や學生恐怖時代を現出し市內は空氣險惡で學生襲擊の噂に怯え各官廳の高官連も窃に難を避けてゐるので各官廳はがら空の狀態で襲擊を避けるにはこれが最上の手段とされてゐるが昨日も學生團數百名は警備司令部を襲擊包圍したが司令部が餘りひつそりしてゐるので門を破りて內部に侵入して見れば驅援を警備する任にある司令部は猫の子一匹ゐない空家となつてゐるので學生も啞然として引揚げた、一方これ等學生は組織統一完備し集會場所は自分等の手で嚴重警戒し見張りを立て、絕對外來者を入れず水も洩らさぬ警戒振りで會合は一切秘密にし昨日も數名の巡捕が會合に臨檢せんとしたところ却つてこれを逮捕し將にリンチを加へんとしたが穩和な學生の仲裁で難を免れた程で支那全國を擧げて全く學生の手に歸し學生恐怖時代である

各地における狀況

濟南でも停車場占領

【上海特電九日發】將に支那全土を擧げ學生恐怖時代を現出せんとしてゐるが各地の主なる狀況左の如し

廣東　厦門大學生側は二日夜廣東着以來中山大學生と合併し四日市全大會に對し「東三省に出兵し、失地回復すべし」「對日宣戰布告」「張發奎を馬占山援助の爲め北上せしめよ」等請願したがこれに對する大會の回答を不滿とし形勢不穩となり六日學生團は連名を以て蔣介石に直ちに北上せよと打電した、七日は廣東市內で示威遊行を大々的に擧行の豫定であつたが官憲の取締嚴重の爲めお流れとなつた

濟南　學生團は五日朝以來停車場を占領し列車の運行を妨害したので津浦線は……態にあるが學生は

一、……
二、……義は亡國主義なり……せざる政府を除け
三、政府に失地回復を督勵せよ

等の標語を稱へ居り漸次反政府の色彩濃厚となりつゝあり

北平　では昨日二千餘名に赴京を許し列車を出したが殘りの學生は各地の代表と合して屢々張學良邸に押掛け請願をなし形勢益々惡化の兆がある

濟南學生團

【北平特電九日發】濟南來電に依れば濟南學生請願團十四校二千餘名は七日も終日停車場を占領してゐたが八日は全省各學校に通電を發して應諾を求めると共に再び代表を韓復榘の許に派して發車を請願した結果遂に目的を達成午後六時三十輛を連結列車に乘込み漸く三晝夜と十三時間目に濟南出發南下した

蔣顧兩氏協議

【南京八日發】學生襲擊の恐怖に依り本日も外交部はガラ空で靜まり返つてゐる、雲隱れしてゐた顧維鈞氏は本日午後何處からともなく飄然と蔣介石氏のもとに姿を現し蔣氏と種々學生對策を協議の結果一層嚴重なる警戒にし九日から空家の外交部に姿を見せるらしいが顧氏は自己の辭職の故は學生の威嚇に依るものでなく全く事務重任に堪へぬ爲めだと聲明した

上海抗日民衆會

總罷業計畫

共產黨の活躍熾烈

【上海八日發】抗日救國會が反日激越なる反日宣傳をなしてゐるのを擴大して國民政府要人攻擊に轉換しつゝある機會を利用する共產黨の躍進が近來頓に著るしくなつて來た、彼等は抗日會に對し上海國民抗日民衆會なる名稱を用ひ對日民衆運動の假面の下に國民黨攪亂、要人襲擊等の陰謀を進め直接行動をモットーとしてゐるもので基督教青年會と郵務工會の急激分子が中心となり共同租界の支那基督教青年會館を根城とし連日極端で、本日日本總領事館より工部局の注意を喚起したが、工部局でも青年會館內の策動さて手をつけ兼ね取締困難だといつてゐる、なほ彼等は左の過激な決議を通過した

一、蔣介石が本月五日南京で逮捕した學生を銃殺したことを暴露して徹底的反省の烽火を上げる
一、來る十一日より學生勞働者商人の反日總罷業を開始し十三日運動擴大のため民衆大會を開くこと

後事を孫氏に託し張學良下野を決意

天津支那側急に動搖

【天津九日發】張學良は愈々四圍の事情非なるを悟り又某國の勸告もあり平津地方の後事を孫傳芳氏に託し下野の決意を爲した模樣で天津の支那側は急に動搖の色がある、天津市長張學銘の辭職も張學良下野の先驅と見られ天津地方には兩三日中に重大な變化あるものと成行注視さる

我飛行機を猛射

彈丸機關部に命中

九日午前九時奉天發の飛行機二臺は溝幇子を經て田庄臺の上空にさしかゝつた際、同地駐屯の十九旅より十五、六發の射擊を受けたるも異狀なし、また午前九時半奉天發の兒島中尉操縱の偵察機は錦州の上空に於て猛烈なる射擊を受けその彈丸が機關部に命中したるも無事大石橋に引返した【營口電話】

チチハルでも猛射を浴びす

【チチハル特電九日發】本日午後一時頃我駐屯軍の偵察機はチチハルを距る百五十キロの東方林甸縣の上空を通過の際同地駐屯の支那騎兵第五十五團の爲に一齊射擊を受けたので我偵察機も已むなく之に應戰爆彈を投下更に低空飛行を行ひ機關銃にて猛射を浴せ引上げたが偵察機は翼に小銃彈を數發受けたのみで搭乘者は無事であつた

山海關方面形勢惡化

【天津九日發】山海關方面の反日空氣險惡化し我が守備隊出入支那人五十名は支那側に監禁さる

錦州へ武器彈藥を輸送

【天津九日發】張學良は愈々錦州の一戰を決意せるらしく昨日來武器彈藥を十三貨車に滿載して輸送し現金六十萬元を錦州へ送つた

我軍縮全權任命

きのふの閣議で決定

【東京九日發】本日の閣議で軍縮會議全權を左の如く任命した

全權大使　松平恒雄
全權大使　佐藤尚武
陸軍中將　松井磐根
海軍中將　永野修身

昭和七年二月ジユネーブに開催の軍縮會議帝國全權被仰付（各通）

天津、北滿に特科隊增派

【東京九日發】陸軍では更に天津北滿に特科隊を派遣することに決し今夜十一時要項發表の筈である

協力內閣問題

【東京九日發】安達內相は九日午前九時同鄕の先輩清浦奎吾伯を訪問し、過般協力內閣問題で聲明書を發表せる經過並に其後の態度を報告し老伯の諒解を求めるなつた旨詳細報告し老伯の諒解を求め更に右に關する自己の信念を披瀝會談一時間餘で十時辭去した

民政黨の陣容

【東京九日發】民政黨は第六十議會に議長として富田幸次郎氏を推すに決定した尙院內役員には筆頭總務に俵孫一氏、院內筆頭松田源治氏、幹事長に永井柳太郎氏を推すに決定二十日正式に決定する筈

昨日定例閣議

【東京九日發】九日定例閣議は午前十時開會八日行財政審議會で可決した增稅案同整理案を承認し軍縮會議訓令案を可決午後時一散會

社說　支那學生運動の危險　日支國交恢復の害物

支那の學生運動が逐日猛烈になつた。[illegible]

濟南の學生も之れに見習つて十四校二千餘名の學生が五日以來停車場を占領し、韓復榘に強請し、八日午後遂に列車を出させて南下した。漢口でも同樣、學生團の代表から省政府に對して請願團の赴京許可を強要して居る。此運動は北方のみでない。廣東でも、厦門大學生團が二日夜廣東に着いてから、中山大學生と合併して、四日に四全大會に要求する所あり、其回答を不滿として不穩の形勢を示し、官憲と睨み合をして居る。地方が斯くの如くである外に、上海南京の騷擾は更に以ての外である。上海各大學排日救國會は、六日代表大會を開いて租界內の大示威運動を決議し、中學生抗日救國聯合會も、八日大會を開きてこれと共同運動を執る事となり一齊に罷課を斷行した。罷課は恐らく全國に通電して全國の共同を求めるのであらう。罷課は日貨排斥とは異なり、あらゆる賣買を全部止めるのである。同時に各工會各團體とも謀つて總罷業を斷行し、交通を停止し、中國銀行中央銀行等の發行紙幣のボイコットまで決議して居る南京では市內は學生の襲擊を怖れて商戶を鎖し、外交部を始め各官廳も各員難を避けてガラ明きの有樣である。外交部の部長も次長も辭表を提出して居る。八日學生團が警備司令部を襲つたら、內部には猫の子一匹も居なかつたといふ。

◇

さて然らば、學生は何を請願するかといふに、各團體まちまちではあるが、大體に於て秘密外交反對、中立地帶設置反對、調査委員派遣反對、顧維鈞氏の免黜、抗日運動壓迫反對、即時出兵、對日宣戰、蔣介石北上、張學良免職、日支直接交涉反對、國民を代表せざる政府に反對、無抵抗主義に反對、失地回復等が請願の標目である。此等の題目に對しては今一々改めて評論するまでもない。世界の大勢を知らず、支那の國力を知らず、現在の事件の成行を知らず、而して極めて空疎な理由によりてヒステリー的感情の上に立つ愚論である事は云ふまでもない。吾人は青年學生が、貴重な熱血と時日とを、斯くの如き愚擧の爲めに空費して、而も之れを救國愛國と信ずる無邪氣な心情に對して、眞に同情の念なき能はざるものである。若し支那に偉大な政治家があるならば、學生の此の至情熱意を正當な方向に指導して、眞正な救國事業に從事せしめねばならない筈である然るに現在の支那には、斯かる事を望むに足るべき偉人は一人も居ない。

◇

要路の大官は恐れて逃げ隱れして居る。蔣介石氏の如きすら難を避けて河北に退却せんとして居ると傳へられる。只僅に國民政府から、八日全國學生に告ぐるの書を發表して其責を塞いで居る。[illegible]と共に外侮を防ぎ、救國の實を達するに努めよ。といふ[illegible]斯くの如きお座なりの消極的聲明が何等の效果[illegible]でない事は云ふまでもなく、此際最も必要なのは、世界の大勢と支那の國力との眞實を率直に說き明かして國民的內省を深くする事を勸める外に救國の途はない。支那の知識者は學生を適當に指導する熱意なく、政府は軌外の行動を抑制する力なく、只其の客氣の奔放に任せておく、實に、學生本人の爲めにも支那國家の爲めにも危險千萬な事である。而して之れが日支兩國の國交回復を益々遲れしむる原因である。

直譯的自治を廢し現實的改善を企圖　東北に實施さるべき自治に關し　自治指導部の具體案

奉天自治指導部于冲漢氏は八日布告第一號を管下各縣並に奉天省城要所に貼布發表し自治指導精神の何たるかを指示したが更に左記の指導官傳第一號を以て政治運用の具體案を發表した

自治指導部善政指示により各縣政を改善し完全なる地方自治制の確立に任ぜしむるものである所謂縣自治とは從來の中央集權主義を排して地方行政權の範圍を著しく增大し其權限を可及的に擴大せんとするものである、故にその方針は縣を完全なる地方自治とし、中央官廳たる省政府の干與はこれを最少限度に止めその手段として、軍閥と關係ある在勢力を一掃し、所謂縣民自治による縣政の全き運營を圖らんとするにあり而して今本指導部が東北社會に適用せんとする人民自治制は、近來法治國家の地方制度を採用せられつゝある自治制の直譯的適用を意味するものでなく、中國社會の文化的經濟的諸條件を前提として現實的なる生活及び生活手段の改善を企圖するものであつて自治指導部の指導目標は都市及び農村社會に對して傳統的自治體たる家族制度—公詞—土地廟制—同業組合並びに宗教的外被を冠する諸種の民衆團體の傳統を基調とし地方の文化的經濟的發展と階級に隨ひ民生の向上に資せんとするものである、隨つて指導員に於て當面的に指導の重點を置くべき部門は

第一治安維持……盜匪の殲滅
第二民生の改善……搾取機關の絕滅、惡稅廢止、負擔輕減
第三縣吏待遇改善……贈收賄の惡習打破
第四教育の振興……學校の復活
第五產業　交通の暢達……生產及び販賣組織の改善、殊に農村における合作運動

などであるが更に施政方針の大綱を詳述すれば左の如くである

一、民心を悅服せしむること……およそ民衆の嫌惡すべき事柄は行はない
二、民力の培養……民力休養に妨害となる事柄はことごとくこれを除去する
三、一視同仁實行すること……この土地に居るものは相互尊重し斷じて彼我輕蔑することを許さず、務めて信義を以て相交はり些かたりとも詐欺的行爲あるべからざること
四、廉潔政治を實行すること……各行政公吏は國家のため服務する者なれば務めてその身家を養ひその廉潔を保たしむべし、今後は必ず充分に俸給を與へ所謂[illegible]して法を[illegible]べきなり
五、盜匪の殲滅……盜匪の瀰漫として跋扈するは各種事業が廢止されたためなり、務めて嚴重にこれが討伐を行ふべし
六、財政の公開……會計檢查をなすべき機關を設け豫算決算の制度を敢行すること
七、經費の節約……多年の間毎年の收入は軍費に消費し民衆は眞に水火の苦しみに陷たり今後は斷じて兵を養はず、民衆をして休息せしむること【奉天電話】

時局後援會の州內代表會議　きのふ市役所で開會

在滿日本人時局後援會州內代表會議は九日午後三時半より大連市役所會議室に於て開かれた、出席者は小川會長以下大連、旅順、金州、普蘭店、貔子窩の各代表者約四十名、時頭仙波委員より奉天に於て開催された聯合大會の經過並に決議について報告あり、早速協議に入つたが右決議中の特別委員設置の件は議論多くして保留とし同樣決議中の政府問責の字句に就いて異論あり政府問責とすれば重大責任が伴ひ一般より誤解を招く虞あるとの說から在滿日本人聯合會上京委員と修正するに一致しこの旨奉天の聯合會本部に交涉する事に決定、なほ上京委員三名は大連より二名、旅順、金州より一名の割合を以てし十日中に大連は總務部で推薦のこと、旅順、金州は談合の上大連に通報する事、十二日の出發豫定も二、三日々延方を奉天の聯合會本部に交涉する事として同六時半散會した

非常市民大會　けふ歌舞伎座で

過般奉天に於て開催された對時局在滿邦人聯合會は十日を期し全滿各地一齊に氣勢を擧げ時局問題に一般善處すべく非常市民大會を開催する事に決議したので在滿日本人時局後援會でも州內各地を代表し十日午後六時から歌舞伎座に非常市民大會を開催し一大決議文を可決した後演說會に移る事になつた、當日は州內各地より來連し氣勢を添ふ由であるから市民多數の來聽を希望すると

日本人の眞劍な氣持はわかつた　スペイン總領事視察談

滿洲事件勃發と共に華の如き二令嬢を伴ひ事件調査の爲來滿中であつたスペイン總領事ノエラー氏は在滿約二ケ月を過ごしたが九日午後出帆貴州丸にて天津經由北平に向つた出帆に先だち刺を通じるとサロンで語る

自分が滿洲に來たのは當時本國のレルー卿が國際聯盟の理事長をしてゐた關係で事變の調査を命じて來たのでわざわざ來滿したのだがその後錦州事件やチチハルの戰爭等次々に事件がつゞき自分もそれ等の具體的な調査に忙がしい目を見た、本來を云へばチチハル邊りまで行きたかつたんだがそんなわけで何時本國政府から何と云つて來るかも解らないので、奉天以外はどこにも行かなかつた、何れにしても日本が滿洲に對する眞劍な氣持だけは認める事が出來ます、そして來て見て好かつたと云ふ感想を抱いて歸る事が出來るのを喜びます、北平には、娘が見物したいと云ふから單に旅行者と云ふ形で行くのです、上海に歸る日取りは未決定です、そんなわけでまた本國にも回答を出してないし又こんな事變に事の善惡なぞとささやかく云つても仕方ないと思ひますから私の來た用件についての感想は餘りおしやべりしたくありません、上海定期船上でお會ひして來た時から全二ケ月になりますよ、

出生死亡數　四月乃至六月

【東京九日發】六年四月乃至六月の內地に於ける出生死亡數は本日內閣統計局より發表された
△出生　四二六、八〇〇名　前年同期に比し一八、七九八名增
△死亡　二九五、一九九名　前同期に比し一九、七七六名增
△自然增加　一三一、六〇一名　前年同期に比し九、七〇八名減

記者諸君の活動　軍部は賞讃感激　多門師團長感謝狀經緯に付　宮城高級副官語る

昂々溪附近の戰爭に際して終始第一線に立つ戰鬪員と行動を共にし、砲煙彈雨の中を馳驅して詳さに其職責を盡したといふ廉を以て多門師團長から大朝、大每、及び滿日の三社に宛て寄せられたる謝狀が、獨り大每にのみ屆いて他に渡らなかつた件につき既記の通り師團司令部に問合せ中のところ、宮城高級副官は往訪の記者に對して左の如く語られた

師團長の云はれた感謝の大要を書いて新聞係から大每の記者か誰かよく承知せぬが、これを渡して回覽して呉れといふて渡したさうだが、何の行違ひであつたか、行渡らなかつたといふ事である、別に大每の記者が故意にやつたといふ樣な事はなかつたではないかと思つてゐる、何れにしても新聞記者諸君の活動は師團長閣下を初め軍部では何れも賞讃と感激の外はありません云々

此話で事の眞相も大體判明したので我社は今此の事を餘り追究して時節柄此上師團長に迷惑を懸けることを不本意とし、其の我社通信員等の勞苦を認識せられたるを謝し、此上此事件は詮議せぬことにする

世界經濟界に大影響　獨逸緊急令で　井上藏相談

【東京九日發】ドイツ緊急令に關し井上藏相語る

ブリューニング內閣が非常政策として緊急令を出したが、問題は恐らく低物價政策を取つて輸出の增進を圖りこれによつて飽くまで金本位を擁護しやうとするのであらう、今秋來憂慮されてゐた外國短期資金も十二月が期限となつてゐるのでドイツとしては如何なる非常手段を講じてもこう云ふ手段を執らねばならぬのだらう、債權債務の切下が預金の切下に及ぶとすれば重大問題で實行出來るか疑問である、この政策に依り獨逸の[illegible]は苦しくなるだらうが非常時に已むを得ぬ處置だらう、從つてこの政策を列國が諒解すれば賠償金棒引は眞劍に考へねばならぬ、アメリカ市場で相當大なるショックを受けたから世界經濟界に大きな影響を與へるであらう

第一線に立つ滿鐵社員（2）……　不斷に襲ふ馬賊　銃を執つて警備

六日夜 鄭家屯にて　五百旗頭佐一

六日四平街から鄭家屯へ！—意氣一地のない話だが同車の客に兵隊さんが二名乘込んだことは、日本人に非常な力強さを與へてくれた、本社から託された二百部の新聞を汽車の停る毎に滿鐵派遣員と守備隊の兵隊さんに贈る、汽車が八面城を過ぎるころから小雨が降り出した「十二月に雨なんて珍しいことですね」から始まつた、日本人乘客の話は結局時局に進んで行き增兵決行で落つく、四平街から乘込んだ滿鐵社員が慰問品を驛毎に配布して行く、旅客列車の平常運轉で各驛共平和に仕事が進められてゐる、二時二十分漸く列車は鄭家屯に着く、新聞を抱へ込んだ記者は、驛二階の滿鐵現業員詰所を訪問した「毎日の御活動でお疲れでせう」と問ひかけた記者に、宇佐川氏は快よく答へ「いやけふから一寸一息です、遠い所を御苦勞樣でした」と煙草を記者に奬めた、それは奧地へ奧地へと入込む新聞記者の誰もが常に經驗する同胞の限りない溫情だ。

◇

軍隊が撤退したこの頃ではそれ程でもないが戰時狀態にあつたときの現業員の忙しさは想像もつかぬ程だつた、不完全なホームで何十輛といふ永い軍用列車を編成する、これ等現業員諸氏は三日、四日の徹夜は決して珍しいことではなかつたといふ「でもその時は極度に緊張してゐたし辛いなんてことは一度も感じなかつたが、漸く落ちついて來たけふこの頃始めて疲れを感じて來たわ」と宇佐川氏は率直に語つてくれた、兎に角最初にこの鄭家屯に送られた人が一番困つたことは飮料水の不潔であつた、毎日の麥飯は砂が交つてザリザリであり、出來上る飯は勿論眞黑、しかも連日徹夜に等しい勤務をつゞけながら、時に公所の合宿に一息すれば「馬賊襲來」の報に鐵砲片手に警備につかねばならなかつたことも度々であつた、髮は伸ばしつぱなしで文字通り連日連夜の活動であつた「馬賊も良く知つてゐるんだね、軍隊の駐屯してゐる時は姿を見せないが一日でも居ないと知るとすぐ押かけて來るのだ、今だつて合宿と驛の中程にあるお寺に三十人ばかりと、村の後方に數百名の馬賊がゐるので全く油斷は出來ないよ」合宿を訪れた記者に一現業員はかく語つた。

◇

然し今鄭家屯に居るこれ等の人々はもう馬賊の出沒に平氣になつてゐる、蒙古に近い平原を淋しくモーターカーに乘つて走る保線係の人は「馬賊の出沒は毎日のことですよ、きのふ（五日）も三村附近に現はれましたよ」と極めて暢かに而もあつさりと馬賊問題を片づけてしまつた【寫眞は四洮線沿線に野積の特產物】

廣東代表出發　和平會議に參加

【香港八日發】廣東代表孫科、陳友仁、李文範各氏は今夜當地發上海へ向つた、同地で汪精衞胡漢民氏と打ち合せの上南京に赴き和平會議に參加する筈で伍朝樞氏の參加は未定である

八相　投書歡迎　五十行以內　中傷はさらす

餘りの暴言　一中學生

◇私は先日この欄をみて非常に驚いた、大連の中學生の認識不足とはあまりにも暴言でもあるやうに思ふ、問はれた一中學生の答へが不正確であつたからといつてそれを以て全般の中學生に對してかくの如き言を敢てした人の反省を求めたい。

◇こんどの改正によつて二學期が十一月末までとなつたため私共は學期試驗に追はれてこれまで積極的行動は出來なかつたのである。こういへば何故試驗前にそれをなさなかつたかと疑問にするものがあるかも知れないがそれは私共中學生を知らぬものである、私共は中學生であるから中學生たるの本分において時局を注視することを怠らなかつた積りである。

◇私共は最近生徒大會を開いて決議案を作成し着々その實行に着手してゐる、また事變後事變に關する講演會を數回開いた、事變掲示板なるものを作製して生徒の事變に對する智識增加に努めてゐる、あるときは兵士の歸頭への出迎へに、あるときは停車場への見送りに、一々先生の意見にまたず、生徒自身の心から出る愛國心に動かされて言ひ合せて實行してゐる。

◇私共は暴言にみたやうに敢て事變に全然無關心で過ごしてゐるのではない、私共のこの事實を見るために伏見臺の學校を訪ふものがあつたら、私共は欣然として事實を見せてあげやう、暴言の主の反省を待つ、しかしこれはすべて私共生徒の意見であつて先生の意見でないことを明記して置く。

東方賠償條約　審査員近く決定

【東京九日發】東方賠償條約案の樞府審查委員は九日決定し一兩日中に任命され近日中に第一回委員會を開く筈である

柔道昇段者　推薦申請　五十五名

大連講道館有段者會では本年度昇段について審議の結果今回左記の如く五段に二名、四段に四名、三段に十二名、二段に十四名、初段に二十三名を推薦する事に決定、講道館に申請した

▲五段　吉田四一、和田次衛
▲四段　遠山俊矣、永井熊太郎、野崎達雄、高橋戀弘
▲三段　田中虎夫、藤井勇義、川上年雄、伊東久彌、大畑耕平、成松義清、小堺朝一、井崎豐、吉岡正隆、越智政勝、荻野俵一、本田
▲二段　田中保、東試朗、佐藤良吉、山本謙幹、早野萬壽夫、大友薫、西宮正史、加藤登志男、山野三郎、中橋正太郎、福島正次、宇和田源藏、梅野茂人、安達常廣
▲初段　村上正敏、堀部重藏、德永健一、村上千太郎、宮後寅雄、松尾美義、古川彌一郎、根來孝明、大野清、和田進、杉本甚助、金子敏之、三枝善藏、荒木直、伊尾外次郎、小山愼平、伊藤道長、船木武夫、石原田清則、牟田三郎、小山田宇彪、小野兆

郵便貯金增加

滿洲內各郵便局取扱ひに係る十一月中の郵便貯金は預入五萬八千四百二十四口百二十七萬一千三百二十六圓、拂出二萬二千口、百十六萬六百四圓、差引十一萬七百二十二圓の預入超過で前年同月に比し預入は十四萬七千八百九十七圓の增加、拂戾は十四萬三千六百五十三圓の減少である

鱈廻游の狀況を調査　朝鮮から四百匹

朝鮮慶尚南道水產試驗所では鱈の廻游狀況調査のためこの十二月中に鎭海灣より產卵前のもの三百尾明年一月中に鎭海灣內および同附近より產卵後のもの二百尾、計四百尾の標識鱈を放流する事になつた、標識は直徑一、六糎の「セルロイド」製圓板の中央部に小孔を穿つたもので中面を白色とし之に符號「ふ」記號A並に番號一より四〇〇までを刻印し裏面に赤色エナメルを塗抹したものである、右標識は鰓蓋で第一背鰭の前基部に縛付けてゐるからわが州內漁業者に於て捕獲の際はその年月日、場所、捕獲漁具名、鱈重及び體長、放卵の前後、標識の符號、記號並に番號、その他參考事項、ソレに捕獲者の住所氏名を具し關東廳內務局殖產課まで屆け出て貰ひたいと、捕獲屆出者に對しては薄謝を贈呈する事になつてゐる

水災附加稅の免稅品目承認

大連海關水災附加稅の除外品中現行稅率表第十一番、第三十六番の棉製品に對する附加稅は、當然日支關稅協定に基き除外さるゝ筈であるので關東廳では嘗て大連海關を經て中國上海總稅務司宛追加方を要求中であつたが、九日要求通り追加することに決定したる旨海關より通知を受けた

獨短期クレヂツト增加

【バーゼル八日發】國際決濟銀行ドイツ代表メルヒオル氏は八日顧問委員會席上ドイツ短期クレヂツトが夏頃に比すれば約二倍に激增してゐる旨を述べ然し金本位制維持には全力を擧げてこれに當る覺悟であると附言した

田原南洋長官

【東京特電九日發】曩に南洋長官に榮轉した前滿鐵監理官殖產局長田原和男氏は九日朝九時五分東京驛發列車で赴任の途についた、驛頭には菅原東拓總裁、太田臺督、蟻安、堀切拓務次官、郡山、阪谷兩局長、大淵滿鐵支社長、その他貴衆兩院議員、若槻首相夫人等多數の見送りがあつた田原長官は午前十一時横濱發山城丸に搭乘任地に直行した

西山財務部長

【東京特電八日發】東京中の西山關東廳財務部長は市外大森の自邸に靜養中であつたが殆ど健康を恢復したので八日出張所に出勤午後三時拓務省に出頭堀切次官と會見し來年度における警察官增員の俸給豫算の件につき懇談打ち合せを遂ぐるところあり時餘にして退出した

新棉收穫豫想

【紐育八日發】十二月一日現在新棉收穫豫想高千六百九十一萬八千俵で十一月一日に比し更に一萬五千俵を增加したが十二月上旬に於ける民間豫想の千七百二十萬俵に比し三十萬俵程すくなかつた

紐育株式市場　人氣一段と軟弱

【ニューヨーク八日發】當地株式市場は大統領の教書で人氣一段軟弱となり諸株は結局前日より一弗乃至六弗安で大引けた取引はボツボツで出來高も百五十萬株であつた

工業講座開催へ

滿洲技術協會にては來る十五日より同十七日まで三日間（毎日午後四時半より二時間宛）滿鐵鐵道工場製罐職場主任萩原策藏氏を講師に請ひ南滿工專講堂にて「電弧熔接に就て」第十二回工業講座開催すと申込は十四日迄に山縣通同會事務所（電三五三〇番）へ

はるびん丸船客

【門司特電九日發】十一日大連入港豫定のはるびん丸主なる船客諸氏

姫路師團管下の滿洲軍慰問使狩野生彥大佐、福原二一中佐、滿洲慰問使日蓮宗社會課主事加藤通灈、僧正平田壽本、太田一等軍醫、西村一等軍醫、豐橋拓、陸軍教導學校教官山田千二中佐、川原豐大尉、末吉隆吉中尉、吉尾龜藏中尉、鳥羽悟中尉、キリスト矯風會長林歌子、同理事久布白落實、大連特產商瓜谷長造

船不一

人事

▲村上義圓氏（眞言宗總本山醍醐寺滿洲駐屯軍特派慰問使）軍隊及警察官慰問のため護符一萬五千個を持參九日二十二時發列車で奉天、長春へ

大觀小觀

支那各地における學生團の鼻息いよいよ荒し、鐵道を占領し、警備司令部を襲擊し、外交部その他の各官衙を脅威し▲或は各機關の總罷業を煽動し、一方で抗日氣勢を揚げるかと思へば他方では打倒南京政府を叫ぶ▲その暴狀眞に驚くべきものあり、今や支那全土をあげて「學生恐怖時代」を現出す▲而も流石に橫暴な軍閥官憲すら之れには殆ど手がつけられず、拱手傍觀の態は到底近代國家には見られぬ光景である▲「內亂」また「內亂」はいふまでもなく近年における支那の名物今更その內亂沙汰も敢て珍しくはないけれど▲從來のそれは多く軍閥の鬪爭が主なる騷動であつたそれに比し▲今度の學生運動はその軍閥には關係がなく日を逐ふてますます全國にその勢力を擴大する所に特殊性あり、その今後の發展振り注目すべし▲ところでこの學生運動には果して如何なる指導精神ありやが頗る疑問で▲或人は反蔣張軍閥の策動と睨み、他の或人は共產黨系の陰謀を斷じ▲いづれにしても背後に何者かあるらしく一貫した指導精神に依つて動いて居るものとは見られてゐない▲成程然ういへば各地の學生相呼應して起つといふ事實があるにも拘らず▲それ等學生の行動、言論は地方々々に依つて可成り出鱈目である▲抗日運動、國民黨擁護、要人襲擊、打倒將張、國際聯盟反對、馬占山援助、失地恢復、排外宣傳、總罷業煽動、赤化擴大等々、何が何だか判らない▲相變らず、混亂の支那の面目躍如▲[illegible]

市況（九日）

株式　內地變らず　當市も閑散

內地主力株の大引保合を入れて當市も氣配變らず閑散

後場　◇先取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	—	—	—	—
新豆	—	—	—	—
錢鈔	一六三	一六三	一六三	一六三
大新	—	—	—	—
東新	一二八	一二八	一二八	一二八
鐘新	—	—	—	—

特產　人氣引立ず　一般平調

後場の定期は依然として人氣なく大豆は軟調を辿り豆粕は保合豆油は軟弱を入れ高粱は弱保合極度の閑散裡に大引した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　四十四車

▲普通大豆（出來不申）

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　一萬三千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　五千箱

▲高粱（弱保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　六車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

品目	寄付	大引
混保大豆（袋込）	四九七〇	四九六〇
大豆（裸物）	—	—

出來高　三十車

普通大豆（出來不申）

品目	寄付	大引
豆粕	一七四五	一七四〇

出來高　二萬九千枚

品目	寄付	大引
豆油	一二一〇	一二〇五

出來高　三百箱

高粱（出來不申）
包米（出來不申）

商品　綿絲先物　百圓割れ

綿絲　大阪三品大引は期近一圓四五十錢安、中先二圓摑み安と續落し各限共百圓臺割れを入れ當市は氣迷ひ閑散

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	四月限	九九六	一〇

出來高　十梱
麻袋　出來不申

錢鈔　標金保合　當市強含み

上海標金は保合を入れたるも當市は強含み商狀を呈した

◇定期後場（單位錢）

限	寄付	高値	安値	大引
近期	四八〇	四八〇	四八〇	四八〇
遠期	四八〇	四八〇	四八〇	四八〇

出來高　期近七十四萬圓　遠期百五十四萬圓

◇現物後場（單位錢）

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	四八三	一〇〇〇	[illegible]
二時半	—	一〇六〇	—
三時半	—	—	—

出來高　銀對金一千圓　銀對洋二萬一千圓

奧地市況

地	品目	寄	引
現物	▲奉天票	—	一二三、〇〇
現物	▲奉天大洋	四九、二五	—
先限	▲開原大洋	二〇三、五〇	二〇三、一〇
現物		四九、四〇	—
當限	▲安東鎭平銀	六七三	六七三
先限		六八二	六八一
現物	▲哈爾濱大洋	三四、九〇	三五、〇〇
十二月	▲哈爾濱大豆	七六七五	七六七五
一月		七八五〇	七八五〇
二月		八〇二五	八〇〇〇
十二月	▲哈爾濱小麥	一、二九二五	一、二九二五

市場電報

特戶特產

銘柄	寄	引
大豆現物	—	三六〇
先物	—	二六〇
豆粕現物	—	九七
先物	—	二〇四
滿洲小麥	—	三〇〇
豆油現物	—	一五八〇

十二月　▲公主嶺高粱　五四五〇　五四五〇
一月　一、三五七五　一、三五七五

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株	一二五四〇	一二五〇〇
東新	一二〇三〇	一二〇三〇
五品先	不申	八六〇
豆信	不申	不申
豆新	不申	不申

東京株式（短期）

	東新	鐘新	滿鐵新	鐘紡
寄値	一一八八〇	六三六〇	一一六一五〇	二六〇〇
引値	一一七九〇	六三九〇	一一六〇九〇	不申
高値	一一八九〇	六三六〇	一一六一八〇	二六一〇
安値	一一七九〇	六三五〇	一一六〇八〇	二六〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	六六一〇
大新	五七一〇	五七一〇
鐘紡	一五二四〇	一五二三〇
鐘新	六二八〇	六二九〇
東株	不申	不申
東新	一一九六〇	一一八八〇
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
十二月	九二六〇	九一六〇
一月	九四七〇	九三五〇
二月	九六〇〇	九五一〇
三月	九七七〇	九六四〇
四月	九九二〇	九八四〇
五月	一〇〇四〇	九九九〇
六月	一〇〇九〇	九九九〇

横濱生糸

限	後場一節	後場二節
十二月	五三五〇	五三一〇
一月	五五一〇	五五〇〇
二月	五六六〇	五六一〇
三月	五七三〇	五六五〇
四月	五八一〇	五七六〇
五月	五八七〇	五八〇〇

東京期米

限	後場寄	後場引
十二月	一九五四	一九四九
一月	二〇一三	二〇一〇
二月	二〇七〇	二〇六六

大阪期米

限	後場寄	後場引
十二月	一九六三	一九五七
一月	二〇二二	二〇二一
二月	二〇八〇	二〇六六

神戸期米

限	後場寄	後場引
十二月	一九八六	一九七五
一月	二〇三〇	二〇二三
二月	二〇七〇	二〇七〇

新春に相應しい水仙の仕立て方

今すぐに準備を（上）

蟹造り

いつの代にもめでたいお正月がはや二旬のあとに迫つてゐます、床の間に或は洋間のかざりとして水仙の楚々とした姿はいかにも新春にふさはしいものですが、その水仙の美しい花をお正月に咲かせやうためには今すぐ仕立てにかゝらねばなりません、でその各種の仕立方や注意を安東盛氏にうかゞひました

最も大切な球の選び方

仕立てに先立つて最も大切なのは球の選び方です、先づなるべく球の固くて重く形がとゝのつて無きづなのを選ばれねばなりません、芽は四方にひろがつてゐるものより一列に並んで出てゐるものがよくその子球もなるべく大きなのが揃つてついてゐるものがよいのです母球の内部に子球の出來てゐるのも横にまつすぐに出てゐるのを選びます、外からさはつて見て芽の曲つて出てゐるものはいけませんかうしてよい球を選びますと一球から十本以上の蕾が出ますが、惡いのになると二三本の蕾を得る事もむつかしいのです、球の選擇がすんだら

今度は仕立て方ですが

これには水盤仕立と、鉢で土や水苔を補ふて育てる方法があり、鉢に仕立てるのはどうしても花を見るまでに一ケ月以上を要しますしお正月の装飾としては體裁からいつても水盤仕立てにして球を切つて作る早咲法をおすゝめします、これは蟹造り法ですこれは球の外部に附着してゐる不潔な皮やきずのある皮をむしりとり、竹べらか小刀で（彫刻用の幅のせまい小刀ならばなほよし）球底から五分位上の所を横に片側に淺く切目を入れ、芽に傷をつけないやうにして表皮から一枚づゝ丁寧に皮を剝いで行きます、かうして芽に近くなつたら一層氣をつけて蕾を傷つけないやうに淺く切目を入れつゝ剝いで芽の大部分が現はれるやうに四分の一程の肉をのこして剝いでしまひます、この周圍の肉は花や葉の

養分を貯へるところ

ですからこれを除くと發育を妨げられて矮生になります、今度は鋭利なナイフで蕾（これは芽の一ばん内側に包まつてゐますからすぐわかります）にきずをつけぬやうにして斜に芽の葉の部分を半分位削りとります、かうすると削られた方の側は水仙のやにが出て切口を固く覆ふてしまつて發育しなくなり、殘つた方の側ばかりが發育するために自然に葉が彎曲して來て丁度蟹の足のやうに曲り、蕾だけが眞直に上にのびて花ばかりが上の方に美しく固まつて咲くやうになるのです、この際削られない葉のないやうに全部の葉をけづらないと、削り殘された葉ばかりが上に眞直にのびて不格好になります、かうして全部の芽を根元がはなれぬやうに一つ一つ注意深く切り、削り終つたら全部を水に浸して毎日一回宛引あげて切口から出る粘液（水仙糊）を脱脂綿かガーゼで拭きとります、かうして

二三日水につけて置き

ますと三日位で粘液が出なくなりますから淺い水盤に仰向きにして弱い光のあたる所に置き漸次に日光にあてるやうにします。數日のうちに所々から根が出て來ますが上部の根は水があげられませんから脱脂綿かガーゼを覆ふて水をあげさせます、室内の温度は五六十度が適當で七十度以上もある所に晝夜置きますと蕾がのびすぎて却て充分花が咲く事が出來なくて終ひます、多く水仙を栽培して失敗するのは温度の高すぎるのに起因するやうです。

嫌ひな學課も好きになる

斯んな工風で兒童を教育　下藤校の佐賀田先生

小學校へ入學すると先生の熱心な指導により兒童は數學、國語と色々な事を早く覺えて了ひます、先生も一生懸命で、色々研究され如何に兒童を指導したら能率を擧げられるかと苦心慘澹なのです、然し兒童には各特徴があつて數學を得意とするもの、國語を得意とするもの、圖畫、書方などゝ色々特徴を持つてゐて好きな方に力を入れて

勉強 いたします、これも得意で才ある學課をのばす上には大へんいゝ事なのですが、小學校を得て中等學校に進む兒童は一通りの學課を相當修學する必要があるのです、嫌ひだからと放つて了ふわけにはいきません下藤尋常小學校訓導佐賀田乙吉氏は兒童教授法研究に大いに努力されてゐます一年の兒童教科書には相當の漢字が使用されて居り兒童には重荷かも知れぬのですが教科書にある以上兒童も覺える必要があるので氏は色々と

苦心 した結果、今度新らしく國語研究として道具を拵へました、それは國語教科書中の漢字を初めから最後まで全部五寸角のカードに一字一字書き出し各カードの裏側には表漢字をカナで書き現し、この書き出したカードの上部二ヶ所に圓形の針金を通しこの針金は固定した臺にとりつけてあるのです、これでカードは自由に漢字と假名の兩方が見える様になります、これを兒童に見せ、初め漢字を次々に繰つて見せて讀ませます、すると兒童は

興味 をもつて異口同音に讀み上げます、今度はカナの方を見せてその字を讀ませ、讀んだ字は漢字で各兒の帳面に書かせるやうにします、然し記憶力の強い時代の兒童は同じことを繰返してゐる中にチャンと次に出て來る字は機械的に覺えて了つてゐますので同じ事を重ねてゐても効果は擧がりませんから今度はその字を次々に繰らずにあちこちとびぐに繰つて前述した様な事を繰り返しますと嫌ひで覺えなかつた兒童は知らぬ間に興味を以てむづかしい

漢字 も覺え込むのです、數學の方も珠算のやうな機械を用ひて兒童を指導してゐますがこれも入學初期の兒童にはよろしいのですが、後學期頃になりますとはや兒童も加算、減算など易いものはどんどんやつてのけます、この數學の方についても色々研究してゐます、初學期の兒童はカレンダーの數字など馴れてゐないためカレンダーの數字を覺えさせる必要上それら數字を

空箱 などに張りつけて實際的に教授すると知らぬ間に數字を教へ込んでしまふといふのです後學期の兒童のためには圓板を拵へてそれを幾つもに區切つて、區切られた中に色々の數字を書き込みます、この圓板よりも小さい圓板を一枚別に拵へこれも大きい圓板同様に數字を書き込みこの小さい圓板を大きい圓板の上に釘づけにいたします（この釘づけはきつちり打つて了はないでゆつくり打つて小さい方が

自由 に動く様にするのです）これが出來上りましたら小さい圓板の方をグルぐ廻轉させて大きい圓板と小さい圓板の數字を加算させたり或は減算させたりいたします、これも兒童は大へん興味を持つて喜んでいたしますので數字の嫌ひな兒童も自然と練習づけられ効果が擧がつてゐる様です

アサヒノボル

中溝しんいち作　河野むさし画

五

(一) ニイサンハコワイカラニゲヤウトイフタイチヤンハサアオイデトカタナヲフリアゲル

(二) ナニヲナマイキナコドモダオイキルゾトトビコムヘウシニバタントアナニオチル

(三) アナノナカニハオホカミガキバヲナラシテ三ニンニトビツイタウワータタタスケテー

(四) オマヘタチワルイコトスルバチダオホカミニハヤクタベラレテオシマヒトタイチヤンハドナツタ

童話　濱のお家（二）

八木橋ゆじう

「お母さん！あれ、あ、また海が……」

「海がどうしたの？」

「あれ、海が――」

「どうしたつて言ふのさ」

「海がこつちに來る」

「海が來る？おかしな事を！」

「だつて、あれ、あんなに今夜も強くザブンく近よつて來るじやないの」

「あれはれ、夜になると、あたりが靜かになるから、あんなにはつきり聞えてくるのよ」

お床の中で、お母さんとだつこして睡ながら、久はよくそんな事を言ひました。

嵐の夜、お父さんが海に命をとられてから、久はよくそんなことを言つて海の音を恐がる子になりました。

「お母さん！お母さんは僕が一ばん恐いの？」

「久さんは？」

「僕？僕、海が――」

「恐いの？」

「さう」

「久さんのお父さんはね、りつぱな、勇敢な漁師だつたんだよ、久さんも大きくなつたら、お父さんに恥しくない勇敢な漁師になるんですね」

「僕、嫌だ」

「どうして？」

「だつて、海恐いんだも……」

ゴーッ、ザブン

海の音は、おふとんに顔をつゝこんでも聞こえてきました。久さんは、お母さんの胸に顔をピッタリくつゝけてこの音を聞いてゐました。

「お母さん！」

「なーに？」

「海でお父さんが呼んでるよ、あれ、耳をすましてごらん、あれ」

ゴーッ、ゴーッと云ふ音の間から、ヒサシー、ヒサシーと叫んでゐるお父さんの聲らしいかすかな音が聞えてくるやうな氣がしました。

「なんにも聞えないんぢやないの」

「聞えるよ、聞えるよ！あれ、あれ、またあんなに。ねえ母さん！外へ出て見ませう、お父さんが向ふから歸つてくるのかも知れないから」

無理に誘はれて、お母さんは久さんと一しよに外へ出て見ました。

風が空を通つてゐるのでせう月が走つてゐるやうに見えるほど青白い雲がモクモクと流れてゐました。

遠い海邊には誰も居ませんでした。ゴーッ、ゴーッの波の間から、やつぱりホーイ、ヒサシーと聽こえて來るやうにも思はれたが、それは砂濱の砂がくづれてゐるのかも知れません。

雲から月があらはれては又かくれました。その度毎に、海は明るく光り、どす黒く暗くなりました。

お母さんと久はいつまでも海を見てゐました。

滿日各地版

日本軍への報復に昌圖の邦人を鏖殺　卅七馬賊頭目の決議
好意か、脅迫か、無氣味な密告

【鐵嶺】事變前四洮沿線に横行しつゝあつた馬賊頭目は今回の事變に乘じ張海鵬大將が洮南に旗揚げ獨立を宣言したので其麾下に投じて榮達を圖らんとせる者多く總頭目鴻飛以下三十七名の頭目も協議の結果將に好機なりとし張軍に參加すべく行動の途中偶々同地方出動中の日本軍と

衝突　し彼等は忽ち掃蕩せられて四分五裂の悲境に陷つたが武力を以ては到底日本軍に敵し得ざるも何等かの方法によつて此報復を企てんと三十七頭目は鳩首協議し遂に昌圖縣下各地に在住する日本人全部を鏖殺すべしといふ事に決議し若し此秘密を日本軍に通ずる者あれば決議によつて極刑に處すことを申合せて私かに畫策しつゝあつた模樣なるが去る七日右の事情を詳細に書き我八面城領事館出張所に通報し來れる者あり其文面最後には我は三十七頭目の一人なるも素より親日派にして多數日本人の殺害されるを見るに忍びず此書を送るにつき日本人は事前何處にか

避難　せられたしとあり、果して親切より出でたる注意なりや或は馬賊一流の脅迫なりや眞疑不明なるも急報に接して守備隊第五大隊本部は萬一に備ふる準備を整へ鐵嶺領事館警察でも八日朝署員四名を八面城に急行せしめた尙右同樣の書面は八面城商務會にも配付されたるものゝ如く商務會では連合賊團の襲來を恐れ在住日本人の避難を希望してゐるものゝやうである

劉二堡出動部隊目的を達し歸る
村民總出にて出迎へ　わが軍の行動に感激

【鞍山】鞍山守備隊及び憲兵分遣隊では鞍山農商聯合會より劉二堡附近に匪賊横行との報に接し之が掃蕩の爲め味岡中隊長は部下約百名を率ひ吉村憲兵分遣隊長代理と共に七日午前九時二十分出動した十分劉二堡に到着した、同村に於ては村民總出にて日本軍隊を歡迎したが代表者約五十名は村公所に集合し味岡大尉の

挨拶　を受けた、味岡大尉は村民に對し此の部落は三勝の保護を受け安靜であつたが今回遼陽縣の組織改革により三勝と雖匪賊は討伐するから公安隊長劉景和氏の命令に服從して貰ひたい遼陽治安維持會が開催され同會の決議により今後三勝と縁を絶つて公安隊の保護下にあつて安心して業に努め若し公安隊が無力にて不安の際は守備隊及憲兵隊に報告すれば直ちに出動鎭靜すると述べた、之に對し劉二堡農務會長柳國樾は村民を代表して感謝の辭を述べた、夫れより守備隊は河北村に

向ひ　公安隊駐屯兵幹部王步洲以下三名を呼び付け味岡守備隊長、吉村憲兵分遣隊長等は今後の行動に對し充分の注意を與へ一千名の公安隊に對し味岡大尉は馬上より勇ましく訓示を與へたが全く劇的シーンであつたと抑々劉二堡の人心動搖したのは靑地布に黄の丸の日本國旗に類似した旗を押立て、約二十名ばかりの公安隊員が來て自警團の新銃器を公安隊の古銃器と取換へんとして目的を達せず引揚げたが劉二堡の情報は報告以上であつた、吉村憲兵分隊長は公安隊の王步洲大隊長及び白中隊長の態度に

憤慨　し嚴重なる訓戒を與へ午後四時同地を出發し五時十分歸鞍したが劉二堡の村民は非常に日本軍隊の行動に感激し八日午後三時村公所の農務會長柳國樾及び役員十九名來鞍し守備隊及び憲兵分隊を訪問し感謝する處あつた

人質として村長を拉去

【鳳凰城】七日午後八時頃、叉傑高麗門の西方牛里藏家堡子に約五十名よりなる馬賊の一團現はれ、藏村長方を襲ひ小銃八挺を強奪し人質として藏村長を拉致し王家溝方面へ引揚げたが、八日朝に至り小銃三挺、拳銃三挺を身代として強要して來た

海城襲撃計畫說
老北風の一味憤慨し三千名を率ゐて進擊

【大石橋】匪賊頭目老北風及び紫小安は既報の如く張學良より旅長に任命され盤山及び海城縣鴻掌寺（牛莊西方約五十支里）に本據を置き目下各村落に對し軍用金強要中なりしことゝなるが彼等は之より先海城縣崔公安局長に對し本團は最近盤山縣政府當局と妥協成り地方保衞團と改稱し今後良民に對しては毫も危害を加ふる事なく專ら日本帝國主義打倒に全力を傾注するを以て貴縣に於ても地方民團として承認せられ度き旨申し越して來た、崔局長は斷然之れを拒絕したる處老北風等は非常に憤慨し近日中部下三千餘名を率ゐて海城を襲撃すべく既に遼河東方に移動しつゝありといはれてゐる、ならず去る六日部下十二名を從へ騰鰲堡及遼河沿岸地帶を嚴重警備中である

牛心臺に應援

【撫順】既報八日數百名の匪兵に襲はれた牛心臺警察派出所並に驛に於て有馬警部補高木巡查の二名は重傷巡捕三名即死事件の應援の爲め撫順署よりは光增警部補以下五名八日十一時發列車にて應援の爲め現場に急行した

貨車から盜む

【鞍山】六日午後一時二十分遼陽驛より來鞍せる第八二貨車内に馬賊飛び込み草刈鎌を以て麻袋入大豆五袋を竊取したこと鞍山驛にて發見し犯人搜査中

日本人聯合會特別委員會

【奉天】七日奉天ヤマトホテルに於て開かれた全滿日本人聯合會に於て閩資委員を上京せしめることになつた事は既報したが同會で委員附託となつた事項は何れも重要なるもので十一日午後四時より同所に於て特別委員會を開き再協議することゝなつた又政府閩資上京委員については州內から三名、州外から四名（奉天二名、長春、安東各一名）都合七名が十二日出發上京することになつた因に十一日の特別委員會には大連、奉天各五名、安東、撫順、長春各二名その他各一名が出席する筈である

鮮農を督勵して籾の搬出に努力
大半の籾は掠奪さる

【鐵嶺】於保少佐の指揮する鐵嶺守備隊一ケ中隊及び淺澤警部以下の警官隊卅一名は既報の如く施家堡子の鮮人殘留籾搬出救護の任務を帶びて七日朝出動午後一時二十分現地に到着したが賊團は我軍出動の報に恐れてか遠く退却して姿を見せず爲めに於保少佐は尾中尉の一個小隊を現地に駐めて守備隊全部鐵嶺に歸還する事となり八日夜歸營した、現場は出動時機遲れの憾みあり殘留籾の大半は燒却或は掠奪せられ鮮人家屋も半數以上燒き拂はれてゐたと、尙八日午後一時傳書鳩の齎せた情報によると

▲施家堡子北方三里双榻臺には二三百名の馬賊横行せるらしきも現場襲來の形勢なし

▲鮮人は勇躍して七日夜より徹宵籾取作業に從事しつゝあり豫定より早く完了するやも知れず

▲救援隊は全員頗る士氣旺盛、鮮農を督して作業を進めつゝあり

▲警察官十五名公安隊二十名は附近の馬賊搜査及盜難籾調査の爲め八日朝九時半出發す

▲現場は寒氣凜烈水質不良に苦しむ尙夜間の燈火設備なく不便なる爲蠟燭及明礬を送附した

同胞襲はる

【撫順】八日早朝縣下馬牛莊子に三名組匪賊現はれ邦農栢光藏（四〇）外三戶を襲ひ金品強奪逃走せり右報に接するや本署では即

今年は餅が安い
明治四十二三年頃の相場で賃餅が一升四十五錢

【奉天】本年も押し迫り歳末大賣出し聯合景品付大賣出し等時局ながら市內は漸次歲末氣分が漂ふて來たがこの歲の瀨を押し切つて新しい正月を迎へるためになくてならぬ正月餅について聞くに早くもお餅の注文を受けてゐる奉天市民がどれだけのお餅を食べるかについて調べて見ると一人一合二萬人として二百石であるから少くとも二百五十石位食べる譯である今年は不景氣のお蔭で籾が安く明治四十二、三年頃の相場と同樣で昨年は内地米一升餅搗賃共五十五錢であつたものが今年は四十五錢といふ値段で餅好きの人にとつてはこの上もない恵まれてゐる譯である

戰死者の慰靈祭
十日長春で擧行

【長春】長春時局後援會では長春駐剳部隊と共同主催のもとに十日午前十一時より西公園野球グラウンドに於てチチハル、昂々溪方面戰鬪並に滿鐵沿線に於て名譽の戰死を遂げた步兵第四聯隊及獨立守備隊所屬諸勇士の靈を弔ふため慰靈祭を擧行することになつた參列者は

▲各團體は午前十時五十分迄に指定席に集合のこと

▲各所屬並に團體代表は受付に名刺を提出のこと

▲參列者は防寒具着用の儘差支なきこと

等で出來るだけ多數參列されたしとのことである尙當日行はれる戰死者氏名は左の如くである

▲步兵第四聯隊特務曹長川名一郎▲同阿部武▲二等計手佐藤幸一▲步兵上等兵渡邊春雄▲同後藤友吉▲長春守備隊步兵伍長川畑忠三郎▲囑託判任待遇小路市太郎▲同原寬司の八氏

鮮農の避難

【鐵嶺】鐵嶺を安全地帶として避難し來る鮮農は其後も引續き憂ひに滿ちた姿をして一團二團となつて來鐵し八日も柴河溝より四十餘名が到着鮮人民會の溫かい手に收容された、現在鐵嶺に避難中の鮮人は五百名近くありこれ等に對し過般鮮鐵總督府及大阪朝日新聞社より一千四百圓の救恤金が交附されたので鮮人民會では近く衣服を與へる筈であると

工大學生間に航空研究會

【旅順】旅順工科大學生間では近く南滿工專學生と共同の上航空研究會を組織し航空思想の普及を圖る意嚮にて目下之れが準備研究の資料蒐集中なりと

沿線往來

▲太田滿鐵學務課長　七日來奉

▲大坪旅館事務所長　八日過奉長春へ

▲小川神戶商大敎授　七日來奉

▲松田關東廳高等課長　同上

▲松隈滿鐵秘書　七日木村理事代理として奉天各方面を訪問離奉の挨拶を述べた

▲長井功氏（鞍山製鐵所商事課）撫順炭礦に轉勤

▲濱田米吉氏　長井氏の後任として就任の筈

出でては戰ひ歸つては操練
寸暇なき兵隊さん

【營口】事變以來七十日餘營口の治安維持に當つてゐる獨立守備第三大隊は引續き一個中隊を營口に駐屯せしめてゐるが何ぶん營新市街廣いところの重要な地點だけに朝夕に警備に忙しい、目下營市警察所警備に人手は足らぬ有樣、それにやはり日々の教練は一通りやるといふ有樣で兵の緊張をゆるめぬやうに何彼と心を配る森電中隊長の苦勞も一通りでないが又警備の寸暇を割いては中隊長自ら銃劍をとつて銃劍試合をやり嚴冬の寒氣を克服し士氣を鼓舞するに努めてゐる【寫眞は本部廣場における銃劍操練】

出征美談
餞別を斷つて神社の再興に　村民を感動せしめた入營兵を繞る美談

【鞍山】數ある愛國美談のある中に之は亦奇特にも餞別を斷つて氏神の再建を促した出征美談がある即ち十二月二日鞍山第六大隊に入營した靜岡縣駿東郡泉村字茶畑の平吉三男清水文雄（二三）で去る二十二日滿洲守備隊へ入營のため裾野驛を出發したが、その前日自宅の入口に「餞別は一切御受け申さず」と大書して貼出したので、兩親始め近所の者は何故だらうと心配して近所の清水神官に託して清水君の意志を訪れて貰つた所同人は清水氏に對して

貴官も御承知の如く家の前にある淺間神社（村社）が大震災で倒れてゐる、今村では此の復興もしなければなりません、私はお國の御奉公に參りますがこれは日本男子としての義務を果すので別に餞別など皆樣から頂いてはすみません、私に餞別を下さるなら其の金で氏神樣の再興をして下さい

と涙と共に語つたので清水氏も文雄青年の純情に感激したがこの事を傳へ聞き村人は何れも感動し同人の意志をたてるべく「必ず淺間神社は君の歸るまでには再建しておく」と誓つたので文雄君も安心して出發したが村民は一人殘らず同君の見送りをなし目下同神社の再建準備を進めてゐるといふ——この靑年らしい眞情に溢れた出征美談は鞍山にも傳へられ美しい話題の中心となつてゐる。

消費組合撤廢運動

【奉天】滿鐵社員の消費組合撤廢問題については既報の如く七日奉天輸入組合に於て奉天商店協會員を中心に協議會が開催された出席者は各役員十五名で審議の結果之が撤廢に關する決議文及び請願文の作成、運動方法等は九日開催の商店協會臨時總會に於て審議決定することになつた尙商店協會側では滿鐵の消費組合撤廢と共に更に關東廳の職員購買會撤廢をも論議する模樣で漸次猛運動が開始されつゝある

聯合會出席者參謀長訪問

【奉天】七日の全滿日本人聯合大會出席者三十四名は同日午後關東軍司令部に三宅參謀長を訪ひ各種問題につき陳情をなす處あつたがこれに對し三宅參謀長は大要左の如き謝辭を述べた

沿線各地代表の熱誠なる厚意を謝し吾等は今後共その本分を盡し諸氏の熱誠に報いんとす

大石橋在住同胞自警團員を志願
十九名連署で志願書

【大石橋】當地在住同胞等は夙くより時局の重大性に鑑み等しく日本國民として之れを傍觀するに忍びず邦家の爲め幾分なりとも奉公の至誠を盡すべき秋なりと稱し當地陸軍飛行場設置に際しても自發的に勞力奉仕を爲す所あつたが更に六日崔五德外十七名の壯丁は大石橋警察署に對し以て自警團員に採用方左記の如き文面を以て志願書を提出し只管管內警備の爲め貢獻せむことを希望して來た

志願書

去る九月十九日支衝突事件勃發以來當大石橋に於ても軍部及官憲の一方ならざる御配慮は申すも愚なき事ながら自警團及び警備隊の組織成り部民の安寧を圖らるゝ際我々之れを傍觀するに忍びずその幾分なりとも邦家のため御奉公致し度きにつき適宜自警團員として御採用方御詮議被下度此段連署を以つて御願申上候

昭和六年十二月六日

北關夜話

長春の驛！彼も年貢の收めどきだ▲彼の長い長春に於ける記者生活それは長春全市民に聞けば太鼓を叩いたよりも尙判明に叫ばれて來るであらう▲その醜態は新聞記者の利用した惡辣振りは新聞記者が本業か新聞ゆすりが本業か……【長春】

鐵嶺

緊急市民大會

鐵嶺時局後援會では八日夜七時より緊急理事會を開催し紀藤常任理事より七日奉天に開催された全滿日本人聯合大會の經過報告あり右大會の決議に基き錦州東北政府打倒を主題とする市民大會開催の提議あり全滿各地一齊に十日夜開催する筈なるを以て當地に於ても今十日午後七時より演藝館に於て緊急市民大會を開催するに決定した

撫順

後援會に謝電

多門第二師團長と遼陽時局委員長の名を以て撫順時局後援會宛左記の如き感謝狀が八日來た

拜啓十二月四日第二師團及所屬部隊の江橋昂々溪チチハル附近の戰歿者慰靈祭擧行に際しては格別なる御同情を寄せられ深謝仕り候御蔭を以て無事滯りなく極めて莊嚴裡に終了致し候間茲に謹みて御禮申上候敬具

安東

雄辯大會出席

全滿學生雄辯大會は來る十三日大連基督教青年會館に於て本年於尾の大會として開催される事となつたので安東中學校も客月二十五日同校に於て雄辯大會を催し校長を審査長として各教員の審査上五年生小川義直君、同棟元榮次君を大會に送り安東中學代表として獅子吼をさせる事となつた兩君は十二日午前十一時四十分發にて雄辯部長沼田教諭に引率され赴連する筈である

忘年圍碁大會

安東倶樂部會員は忘年圍碁大會を八日午後四時より安東倶樂部大廣間に於て開催する事となつた會費一名金二十錢にして賞品は一等より二十等迄であると

遼陽

傷病兵の慰問

在遼陽宮城縣人會は社會係、遼陽每日社、本社遼陽支局の後援で八日午後六時から小學校講堂に於て衞戍病院入院中の傷病將士慰問資金募集の活動寫眞があつた當夜の映畫は滿日連載の俠艶一代男であつた

婦人會幹事會

遼陽聯合婦人會では八日午後一時から社員倶樂部日本間に於て當番幹事會を開き左記事項に付協議したが代表幹事には多門師團長夫人が推薦中の處承諾され當日挨拶があつたと

▲奉天に於ける全滿婦人聯盟協議會の經過報告▲聯合婦人會幹事役割決定の件▲事業計畫に關する件▲聯合婦人大會開催の件

內地で展覽會

富山縣高岡市下關小學校では十五日から滿蒙展覽會を開催し日本の正義を闡明し且つ日本の生命線としては滿蒙の權益を高調を如實に展覽に供する意味に於て排日侮日のポスター類の寄贈方を警察署に依囑して來たと

地委茶話會

遼陽地方委員會では十日午後二時から地方事務所會議室に於て第一次茶話會を催すと

藤田警部補快癒

遼陽警察署の保安主任藤田警部補はチブスで滿鐵醫院に入院中のところ此の程快癒八日から出勤した吉田巡査も一昨日退院自宅で靜養中

である又司法主任新妻警部補も同病で入院中のところ一時危篤を傳へられてゐたが同氏も追々快方に向ひ遠からず退院の見込みと

西村家慶事

遼陽京町煙草業西村茂方の野並一水氏（二こ）は安達周太郎、內田平三郎兩氏の媒酌で昭和通遼塔ホテル木村常吉氏の愛娘清子さん（二二）と八日午後三時遼陽神社々前に於て燦華の典を擧げた

鞍山

郵便局の業績

鞍山郵便局における十一月中の業績左の如し

△通常郵便

	引受	配達
書留	一、一六五	一、〇七二
價格表記	一九	五五
計	一、一八四	一、一二七

△小包の部

	引受	配達
書留	三三六	一、七一一
代金引換	四一	六〇〇
計	三七七	二、三一一

△爲替貯金の部

▼振出

	口數	金額
爲替	一、〇一〇	一八、四一五
貯金	三、〇〇八	二一、一九三
振貯	二七、八二六	五六二
計	六七、一七二	二、八四四

▼拂渡

	口數	金額
爲替	七、二三三	九三九
貯金	一六、〇四四	七九四
振貯	九、一一一	四一三
計	三三、八五五	一五六四

體育聯盟加盟

滿洲體育團體聯盟設立に就いて鞍山體育協會に勸誘して來たので七日役員會を開き態度を決し大體に於て加盟することになつたが內容は大體に於て時局に鑑み何かの方法によつて軍部に献金するらしいさ

警察の異動

鞍山警察署の幹部の業務移動七日附左の如く發表された

警務係主任兼統計主任　西內貞吉
保安、衞生係主任　山口定次
高等、兵事係主任　山本滕一

大石橋

聯合會支部會

來る十日午後六時より當地公會堂に於て七日奉天に於て開催せられたる全滿日本人聯合會主催時局協議會の結果に基き大石橋支部會を開催することになつた、尙引續き役員並に部長の改選をなし將來の活動計畫をなすと

輸組大賣出し

大石橋輸入組合に於ては來る十日より三十日まで例年の通り歲末大賣出しの計畫あり、石川洋行、濱島商店、大阪屋號、かぎや商店、永井商店、栗本商店、旭商行、みすみや呉服店、石文堂等加盟する筈、景品は一等二十圓十本、二等十圓十本、三等五圓三十本、四等二圓五十本、五等一圓一百本、等外三十錢五百本にして昭和七年一月八日午前十時發表するさ

熊岳城

守備隊を慰問

熊岳城來營口、鞍山、四平街方面に出動して嚴寒の中に匪賊討伐に武勳を輝かし漸く此月歸營した我が熊岳城守備第一中隊の將卒は歸營後も蘆家屯事件等にて昨日も無き有樣であつたが六日の日曜は久方振りに異變もなく陣中小憩を得た形であつたから岡島地方委員一家族は揃つて守備隊に出頭此の日一日を心から兵士の方々の慰問に捧げんものと夫人擔當の演奏前

是會を開いて幾多將兵を慰問した、開會に先だち東海林中隊長は陣中慰問の好意を傳達し先づ細崩師の十八番常陸丸の演奏に始まり中途蓄音機レコードにて教育勅語の眞髓を敷衍し最後に琵琶義士打入りを演じて會を終つたが時局柄武人の胸に高鳴る感激の波は一しほ高く拍手暫く鳴りを靜めざる光景に音樂の精神教育に奏功ある事を今更の如く感ぜしめた

普蘭店

警察官の増員

今回の沿線警察官増員につき當派出所にも村上庄、前田才藏の兩巡查増員となり八日松枝警部補同道各方面に對し着任の挨拶を述べた

婦人團の活動

當地警察署長牧田氏夫人並に民政署總務課長惠利氏夫人等の主唱になる普蘭店婦人團においては時局問題に關し先頃來より寄々協議中のところ今回各方面委員の活動により各家庭より醵出した金百八十六圓並に眞綿若干を第一線に活動中の軍隊、警官及滿鐵社員に對し慰問品として贈呈する事に決定し民政署恤兵係の手を煩はし本庄軍司令官、中谷警務局長並に滿鐵總務部宛慰問狀を添へ夫々發送した

婦人團の祈願

普蘭店婦人團に於ては現下の國難を憂慮し來る十日より十六日迄一週間每日午前九時半普蘭店神社に參拜し護國の爲め熱烈なる祈願をなす由である、尙婦人團に於ては今後出動軍隊遺骨傷病兵其他時局に關し出動の警官等に對しては全員勉めて驛頭に送迎する事に申合せをした

旅順

一中警備演習

旅順第一中學校では七日午後六時五十分四、五年生を基幹とし平田校長生田淺田兩教諭は統監部、山崎、近藤、吉村、兒羽、木村、濱田の各教諭を指導部として警備演習を行ひ

本月十七日午後以來水師營方面の形勢不穩に陷り市街にも若干の不良分子潛入を見るとの想定の下に夫れ〲警備配置に就き統監部員の査閱を爲し同夜一同停車場に集合白玉山を參拜し解散した

十一月の揚高

不景氣風も事變突發で吹き飛ばされたが實質的であり此道ばかりは別物で旅順の料理店も依然十六軒（內六軒鮮人經營）存續し藝妓數が十六名、酌婦數が百十二名、これに吸集された前月の遊興人員二千百四十六名で酒肴料が千五百十一圓、花代が六千三百五十六圓を示し合計揚高九千六百三十六圓で十月から見ると七十八圓の減收であつた

黄金臺

◇

出雲大社教旅順教會所では今回昭和七年度大麻（天照皇大神宮御札）並に暦を目下各戶に配布中であるが不在その他のため配布漏れの向は直接同教會所へ申出られ度いと

◇

在鄕軍人旅順分會海軍班主催旅順市役所後援にて九日午後六時三十分から第一小學校講堂に於て練習艦隊所有の活動フイルム日本八景、時代祭、櫻咲く日本瀨戶內海、大禮特別觀艦式、衣笠進水式、海の怪物潛水艦、里見八犬傳の映畫會を開催學生一般の觀覽に供した

市中の噂

七日夜昭和園に催された非常市民大會は大連からの名士が多數熱辯を揮つたので豫想外の大入は確に大成功▲石本鏆太郎翁往年盛んに日支親善共存共榮に奔走してゐたが今回の事變以來スッカリ宗旨替をした事に就て申譯とする、聽衆稍々氣味の體であつたが更に開口一番「外務當局へは宜敷く我等の熱力を以てトコロテン式に押出すべしッ……」とやつたので人氣回復

▲竹中延太郎氏盛んに幣原外交の軟弱を責め「一縣腰無定見……」と吐いた、その後を承はつた熊田熊三郎翁「前辯護士は縣腰とか何んとか述べられたが、縣腰でも腰が無いので情ない……」と喝破するので聽衆大喜び▲津田元德氏例に依つて論理整然增兵必要を說いてゐたその一節に「チチハル方面に狂暴を振つてゐる馬賊は實に宜く馬賊、然も露國人が居たさうだから正に舶來馬賊もまじつてゐる…」聽衆遂に爆笑……

第二の反抗（99）

三宅やす子
阿部金剛畫

女同士（三）

「誰が擲つたつて同じ事よ。私は持つて居ても要らないんだし——あんたのとこではそれで役に立つんだもの」

「…………」

「云ひ難くければ、無理に、いま云はなくても可いわ——私に任せて頂戴。金ですむことを、人間の命に代へるなんて、そんな勿體ない事があるもんですか」

佐枝子にとつては、金は價値のないものにしか思へないのだ。佐枝子の餓えて居るのは、純眞な愛情である。

「でも」

お靜はやうやく話す勇氣を出して

「私共には、そのお金が、全くいのちなんでございます——お金の

今日東京の實家から歸つて來たのよ。もつと居る筈だつたんだけど、逢ひ度い人に逢へない事情があつて、つまらないからさつさと歸つてしまつたの。そしたら、自分の家だと思つて歸つて來たところが何て氣持の惡い——他人の家よりもつと、もつと住みづらい針のむしろだつてことが判つたの。あたしは、嫁に來た家にも、自分の生れた家にも、どつちにも居られないの。一人で飛び出してしまへばいゝんだけど、さうしたつて、世間はもつと辛いにきまつてるんですものね——飛び出したつて、逢ひ度い人に逢へないことには、つまらなくなつて、ふら〱こゝまで來てしまつたの。あんたは、もしかするさ、私が橋本の者だから

ないためには、貞操も、時によつては生命までも——」

「わかつてるのよ。そんなことはほんとにいけない世の中だと思ふわ。欲ばりな人が居るからなんだわ」

其欲ばりは、あなたの旦那さんつまり、あなたのおうちぢやありませんか、とお靜はつけ〲云ひたかつた。

「あたしは、そんなこといやなのよ。私の自由になるものだけでも困つてる方の役に立てたいのよ」

村の人たちの血と汗をしぼり取つた金を、今更佐枝子の名義だからと云つて、氣持よく受けとられやうか——お靜はむら〱と起る反抗心を、おさへながらだまつて居た。

「ねえ。それで、安心してお父さんを大事に暮して頂戴。あたしは

同じ穴の狐位におもつてるんでしよ。でも違ふわ、私橋本の姓だけ名のつてるけど、橋本の家のものぢやないつもりよ。さうよ。今日からもう、私は、たつた獨りの私なの。あんたと同じ悲しい女よ」

「……まあ、奧樣」

「みんな女は悲しいんだわ」

「奧樣」

「あたしね」

佐枝子は、まるで獨言のやうに話し續ける。

「今度生れて來る時は、何といつても、自分の好きな人と一緒に暮せる女に生れて來るつもりよ。好きでもない男と一緒に暮す位なら死んだ方がよつぽどましなのよ」

「奧樣」

お靜は、何故ともなく泣けて、泣けて、佐枝子にすがりついたのである。

ヒヨツコリ來連した

聖林の人氣者 ロジヤース君と語る

彼氏の觀た『サムライ南大將』『ゲイシヤ』『東京』『朝鮮』『大連』

▼…九日の飛行機でヒヨツコリ大連に現れた米國の人氣者新聞記者でフォックスの映畫俳優のウイルロジヤース君は午後から旅順に赴き、戰跡見物をなし一先づ歸連午後九時三十分發急行列車で奉天に向つたが、出發前大連ヤマトホテルのグリルでノッポの彼を捉へ「ミスター、ロヂヤース」と話しかけて見る

▼…僕に時局の話をしろつて?そりや無理だ、僕は戰爭は嫌ひだ、たゞ僕は滿洲が始めてだから見物に來ただけだ、東京で南陸相に面會したぢやないかつて?そりやしたさ、しかし僕は戰爭に強い日本が、世界に誇る代表的サムライ南大將の顔を見に行つたんだ、さうして心から敬意を表して來たんだ

▼…その他の日本人の印象を問ふと

殘念乍ら殆んど會つてゐない、日米協會が僕達の歡迎會をやつてくれる筈だつたが、僕は都合が惡くつて出席出來なかつた、日本の偉い人にも澤山會へたらうし、又或は時局に關する話が出來たかも知れない、その代り僕は日本人でもつと世界的に有名な人々に會つて來た、それはゲイシヤさんだ、實にキレイだな、米國へのお土産には一番いゝと思つたが、一寸大き過ぎた

▼…「菊五郎に會つたさうだが」と云ふと

イエース、キクゴロも美しいな日本の芝居はとにかく大したものだ、そして少しグロテスクな氣がした、ショーチクの撮影所も「見學」したよ、ハツハツハツ

と、ワケのわからぬ笑ひを漏らす、多分米國のスタヂオと比較して、貧弱な日本撮影所を笑つたのだらう

▼…次に日本の印象を問ふ

東京は自轉車の都だ、實に世界に誇るに足る自轉車の都だ、あんなに自轉車の多いところは一寸と珍らしいよ、次に日本の航空路は實に愉快だな、何時でも海が見える、但しこれは日本が小さいと云ふ意味ぢやないよ、誤解しないでくれたまへ

▼…次に朝鮮はと問ふと

飛行機で飛んだので殆んど何も知るところがない、飛んだところの名前すら記憶してゐない、唯城、城、城と云つたことだけはおぼえてゐる

成程、京城、平壤、開城と云ふ意味なのだらう

▼…最後に大連は如何ですと云ふと

飛行機から見た大連はいゝな、立派な近代都市だ、これは古い街を壞して作り變へたものでなく、初めつから新らしい街として建設されたからだ

有難うといつて立ち上るともう歸るかい、最近の日本の事なら君より僕の方がよく知てゐる筈だから、聞きたい事があつたら聞き給へ、話してやるよと如何にも人を喰つてゐる、そして彼氏はユーモリストらしく頭の上で二三回指先を廻して別れの挨拶に代へた【寫眞はロジヤース君と彼氏が日本が世界に誇る代表的サムライといふ南大將】

水と食料とに惱む 第一線の滿鐵社員

機關車の水が命の親 氣の毒な四洮線の警備兵

滿鐵總裁、社員會、社友會慰問使一行に加はつて社外に働く社員の活動振りを實地に目擊して歸つた總務部木戸久平氏はこの程歸連したが氏は語る

日本軍の占據した鐵道の各驛では夫れ〳〵滿鐵社員が派遣されて軍用列車運輸の事務をとつてゐるが各所とも非常に激務で殆ど休む暇がない、交代が出來ないから夜中でも起きなくてはならぬ、鄭家屯、洮南、チチハル等の主要驛の人はまだよい方だが中間驛で二人乃至三人位で勤めてゐる人は實に淚が出る程氣の毒だ、驛の一室に起居してゐるが水が無いのが一番苦しいらしい、遠い所まで水を汲みに行つて自炊してゐるが全然ない處は機關車のタンクから少し宛貰つて辛抱してゐる、風呂などは到底入れない、四洮線の太平驛では四斗樽を開けて貰つて名許りの風呂を作つたと云つてとても喜こんでゐたが日本人驛員十名もゐる

大驛 でさへこの通りである慰問品が來ることもあるが一番嬉れしいのは食物だそうである新聞やマッチも缺乏してゐるがそれらはどし〳〵送るやう手配した、目下一番缺乏してゐるのは野菜である、慰問袋には果物が一番適當だと思ふ、乘務員の苦勞も言語につくせない程で身を極度に働かしてゐるので辛うじて凍傷にもかゝらないと云ふ程である金線で一番氣の毒でもあり危險でもあるのは洮昂線である、鐵道橋其他要所々々に配置されてゐる兵も隨分氣の毒な狀態で人の顔さへ一日中見られない場にたつた

一人 で立哨してゐる、之等の兵士には一日一回づゝ列車の窓から飯を屆けるが時々忘れられることがある、そんな時には實に心細いそうである

李王妃殿下 御着帶式

【東京九日發】李王妃殿下には今月で御懷妊九ケ月を迎へさせられ九日午前十一時紀尾井町の御邸で目出度く御着帶式を擧行あらせられた

傷病兵や公傷社員の慰問に手藝品を贈る

滿鐵婦人協會と社員會婦人部

滿鐵の婦人協會及び社員會婦人部では傷病兵や公傷社員の慰問方法について研究した結果各自家庭で作つた手藝品を贈つて無聊を慰めるのが一番よからうと云ふので幹事の手で募集したところ、造花や人形、短冊など思ひ〳〵の品が續々集まつたがそれらにはそれ〴〵署名して「早く全快して下さい」「體を大事にして下さい」などと認めてあつた、十三日に分擔を定めて各地に持參するが病室に傷痍の日を送る勇士達がどんなに喜ぶことだらう

慰問金品を 關東廳の警官へ

帝都の街頭で集めて

【東京特電九日發】酷寒の滿洲奧地において軍部と協力よく邦人保護の重任を果しつゝある關東廳警察官に對する慰問の運動はその後猛烈に行はれ大久保護國健兒團の可愛い少年達や各大學の有志學生ダット自動車會社々長佐藤氏、村上監事等が皆街頭に立つて慰問金を募集したが去る廿九日より七日まで九日間に集めた醬油樽數個の慰問金及び南陸相寄贈にかゝるハンカチーフ(協力と記號を染め出したもの)三千枚その他の慰問品を八日午後四時半關東廳出張所に交附した、佐藤社長大學生代表、加藤理事に引率された大久保健兒團員四十名は關東廳出張所前に整列し右の金品を山と積みこれを西山財務部長に傳達し佐藤氏より挨拶あり西山財務部長は

少年團諸君、各大學生諸君が寒風吹荒む街頭に立ち熱誠にお集め下さつた慰問金を有難く頂戴致します我關東廳警察官は御承知の通り酷寒の滿洲に各地において軍部と協力同胞の保護に餘念なく働いて居ります皆樣方の御盡力により東京市民諸君の街頭において捧げて下つた貴重なる金品は確かに私の手から警察官諸君に傳達致します、こゝに御厚意を感謝し諸君の御健康を祈ります

と述べた、かくて別室において少年團一行に茶菓の饗應あり午後五時廿分散會したが、佐藤氏は語る

未だ慰問金は勘定しませんが二千圓以上ありませう、私は太田臺灣總督寄贈の明治神宮の護符三千枚を持つて十三日夜出發滿洲に渡り奧地の警察官を慰問したいと存じて居ります

慰問品九十萬個 慰問金は百萬圓

全國民軍隊への熱誠

【東京特電九日發】事變以來、全國民總立ちとなり滿洲出征軍に對する後援同情は日を逐つて盛んとなり慰問金品の如きは各地聯隊區、師團司令部等に續々と送達されて居るが陸軍省新聞班谷萩大尉の語る所によれば既に慰問金は百萬圓を突破し慰問品は九十萬個以上に達する見込で、昨日まで陸軍省に到着の分のみにて金額四十八萬圓、慰問品七十萬個に及んで居り、いづれも不況の際にも拘らず眞心を籠めて託送して來たもので當局においてもこの全國的の後援には衷心感謝の意を表してゐると

お禮を獻金

事變以來出動軍隊、警官隊への慰問として國民の心盡しは實に涙ぐましいものがある、八日老虎灘春代と記したのみで本社宛に金一圓の爲替に

或るところで財布を拾得してそのお禮として金一圓を貰ひましたが頂くべき筋のものではありませんが御志を無にするも失禮ですから頂戴して奧地に働く兵隊さんに差上げて下さい

この意味の手紙を添へて慰問金取扱ひ方を依賴して來たが本社では直にその手續きをした

續々と獻金

滿鐵大連鐵道工場鑄物職場事務員服部信次氏外八名は最近事局のため連日殘業し十二月以來會社より支給された殘業當料八圓五十七錢を八日沙河口へ軍隊慰問金として寄贈を申し出でた▲沙河口黄金町八二下藤小學校四年生兩角達郎君外三名はお小使が一圓五十錢程溜りましたから兵隊さんにと八日朝沙河口署へ持參した▲埠頭待合所食堂港軒の女給さん甲斐ユキさん外二名は八日午前水上署に出頭「これを兵隊さんへの御見舞の端に加へて下さい」と金一封を獻金した

電信隊員除隊

關東軍司令部に勤務中の坂田上等兵外八名の電信隊員は十二日を以て滿期除隊となり同朝九時三十分旅順驛發十三日はるびん丸にて歸鄕の途に就く

昨夜寺内通りに強盜押入る

沙河口と同一犯人か

九日午後五時三十分ごろ市內寺內通り三十一番地蘭春園總管の支那旅館裕長棧方にトルコ帽を着しマスクをかけ支那服を着した三十歳前後の男入り來り金一圓を交換して呉れと申出でたが同方には小錢なきため一應斷つたところ男は一度外に出て後再び入り來り二三押し問答の後男は矢庭にピストル樣なものを以て店員を脅迫し遂に日本金三十二圓二十六錢小洋十二圓三十錢大洋八圓を強奪逃走した急報に依り大連署より現場に急行し種々取調べの結果犯人は去る八日沙河口秋月町九番地雜貨商文昌茂記方に進入した強盜と同一ではないかと見做され目下犯人嚴探中

中村 伊藤 兩氏の遺骸

きのふ長春着

敎化方面にて遭難死去した中村岩藏、伊東萬次郞氏の遺骸は九日午後一時五分着列車で長春着、直に滿鐵醫院にて死體の手當てをなし同二時三十分より長春祝町太子堂にて告別式を擧行されたが、靈前には滿鐵總裁、鐵道部長、吉長吉敦鐵路管理局長金璧東氏その他より贈られた花環や弔旗に埋まり、中村未亡人、長女とき子さん、伊東氏遺族總代山領工務課長、金管理局長その他關係者多數參列してゐた、式は三時二十分盛儀裡に終つたが、遺骸は二臺のトラックで驛に運ばれ十六時三十分發急行に一輛連結し遺骸を安置、遺族、同僚に守られて南下したが中村氏は遼陽に、伊東氏は大連に歸着後本葬が營まれる筈である【長春電話】

殉職社員は 滿鐵社葬 近く夫々執行

敎化奧地に於て支那側の兇彈に斃れた滿鐵工務課員中村、伊藤兩氏は何れも滿鐵社葬にて葬儀を執行するに決定した葬儀日取は未定であるが遺骸の都合差支なき限り中村氏は十二日遼陽に於て伊東氏は十四日大連に於て執行する豫定であると

同胞被害 約三十三萬圓

今回の事變以來同胞の被害はその範圍が廣いだけに非常な數に上るが今日までに判明した者左の如し

虐殺百七十九名▲重傷百五十名▲行方不明六十九名▲家屋燒失五十五軒▲掠奪を受けたるもの七百五十五軒▲歸農不可能の者千餘戸▲滿鐵附屬地移住者五千六百三十名▲全般の被害三十二萬七千圓【奉天電話】

双城堡自警團 馬賊に豹變

公太堡を去る北方一里半双城堡の自警團三十名は突然八日午後より馬賊に急變し附近部落の襲擊を企てたが、同村長は武器彈藥を押收し自警團の慰撫に努めてゐる【奉天電話】

匪賊團列車を襲擊

乘客から金品を強奪 新民屯附近の椿事

八日午後一時北寧線新民屯溝幇子間に於て數十名の匪賊現はれ進行中の列車を襲ひ乘客の金品を強奪逃走した乘客中には事件以來運輸不良のため終始斡旋していた同鐵路局運輸課長スチール氏あり携帶品全部を掠奪された【奉天電話】

武器の密輸者 徹底的取締

新傾向に躍起の當局

沿線各地に跳梁する馬賊が最近拳銃や長銃の彈丸が盡きるとブローカーを介したり、變裝したりして大連市內へ購入に來る事實を大連署で探知し私服警官に特命警戒してゐるが、これを好機として邦人密輸業者の蠢動も相當旺なものあり、同署では彈丸が匪賊の手に渡れば如何に悲慘な結果を發生するかはいふまでもなく、利益の前に人道を無視した密輸業者の跳梁に對しては徹底的取締ることゝなつた

瓦斯管爆發し 數名重火傷

鞍山製鐵所の椿事

九日午後一時二十五分鞍山製鐵所選鑛工場の五號、六號還元爐の中間瓦斯管不完全のためバルブを締めきり掃除中煤燒爐に使用する本管の中に引火して一大音響と共に爆發し修繕に從業中の主務者還元爐係長中黑義郎(三八)組長代理金屋數布佐一(四〇)中國人數名が顏面に重火傷を負つた、急報に接し各課長、警官驅けつけ負傷者は直に應急手當をなして鞍山醫院に運び加療中であるが生命別狀なし、原因損害は目下取調べ中【鞍山電話】

本年こそは禁止

藝酌婦の年末年始贈答廢止に 本年は規則を制定

年末年始における藝酌婦の贈答習慣は花柳界に殘された惡弊として毎年所轄警察署から組合を通じ廢止するやう注意してゐるが少しの利き目もなく相變らず入質したり前借したりして苦しい中から髮結、仲居、女中、箱丁などに贈物してゐるので大連署では本年から規則を設けて贈答品の禁止を行ひ、これに違反したものは嚴重處罰することゝなり九日この旨を大連三業組合、逢坂町遊廓組合に嚴達した

安樂椅子

八日來連十日沿線に出發する神奈川縣慰問團の一行が齎した同地の慰問品、慰問金に格はる涙ぐましい美談の二ツ三ツ。

◇……

一人の塞ぼらしい勞働者が金一圓を靑年團の慰問係に持つて來た、在滿步兵第三十一聯隊に贈つて呉れとの指定だ、その理由は嘗て同聯隊に在營して居たが今は零落れて何とも致し方がないので紙屑拾ひで得た此金を同聯隊に屆けて貰ひ度いといふのだ、所謂貧者の一燈、居合せた人々はみな感激した。

◇……

巡査派出所へ若い女が一人金一封と書面を持つて來た、書面には「女の身で何の役にも立たない、でも若し戰傷病者で輸血が必要な時は出來るだけわたしの血をお取り下さい」とあつた。

◇……

市役所に十七、八の女學生が訪れたこれも金一封と二通の手紙を置いて行つた。手紙には「これは手袋と靴を買ふため母から頂いた金です、滿洲で働く方のことを思ふとそんな手袋などで温まつてゐる氣はありません、これを慰問金として送りよい事をしたと思ふ方がどんなに温かいかわかりません、血書はしませんが眞心はわかつて下さるでせう」と如何にも乙女らしい心情を述べてゐた。

◇……カットは大連驛の記念スタンプ

老虎尾燈臺を 電力光に改良

海務局においては管內沿岸の航路標識の完全を目標として燈臺の建設燈光度の增加について局員一同大童だが更に徹底を期する意味で旅順港口西側の老虎尾燈臺を從來のランプ制を電力光に變へる計畫が進められてゐるがこれによつて旅順港出入船舶の受ける利便は大きいものと云はれてゐる

懷爐を寄贈 三井物産から

酷寒の下で滿蒙の權益擁護のため奮鬪しつゝある我皇軍の辛勞を慰問するため三井物產會社では今回白金懷爐一萬五千個を陸軍省を經て奉天軍部宛贈呈したがこれと共に右懷爐に使用すべき揮發油二十罐及各兵士の攜帶に適當なる揮發油入小型瓶一萬六千五百個を軍部と打合せの上當地南滿硝子工場にて急造、九日午前十一時の列車便にて軍司令部宛發送した

酩酊自動車 壁に衝突

運轉手等負傷

大和ホテル自動車運轉手谷口幹は九日午後九時四十八分頃僚友小池と同乘七百六十七號のバスを運轉して兒玉町車庫に歸庫の途中日本橋圖書館壁に衝突して壁を突き破り小池は胸部及び膝關節に負傷し直に滿鐵病院に入院したが自動車の損害約千圓尙取調べの結果谷口は規定以外の速力を出し些か酩酊して運轉して居つたことが判明した

故馬場惟明君遺骨到着に付來る十二日午後四時滿鐵天理教關東教會にて追悼會相營可申候間生前御知己諸彦に謹告仕候

昭和六年十二月十日 興亞技術同志會有志 大連鹿兒島靑年會

曙の鐘 (134)

倉田潮

河野想多畵

幸福（一）

春木とたえ子の落ちついた處は利根川の岸にのぞんだ繁宮と云ふ寂しい村だつた。よもぎの知る邊は村はづれの小さい百姓家で、今は乳母だつたと云ふ人は此の世になく、その妹の夫婦が僅かな土地を耕して、細い煙りをあげてゐた。よもぎの添書を見せると、夫婦は喜んで二人を迎へて、母家から鳥渡はなれた六疊の部屋に案内し、親切に二人をもてなした。離合はもと小學校の教師にかしてあつたものださうだが、農家にしては割合にさつぱりした部屋だつた。主人は六十ぐらゐの老人で、農夫と共に漁夫をも業としてゐるとかで家の前には投網やこしごが乾てあつた。

着いた日には二人とも夕方まで我を忘れて眠つてしまつた。家の人が蒲團を出してくれたが、春木もたえ子も帶をとかずに、二枚づつ座蒲團をしいて別々に睡た。そして、夕方眼をさました時、疲勞がや、回復してゐるのを知つた。

二人は手を取り合つて、夕食までの僅かな時間を、川岸の方へ散歩に出た。村はよもぎの云つたやうに「草の中に埋もれて人に氣づかれぬ小石」のやうなところだつた。三面は雜木林や杉の森に深く取りまかれて、たゞ一方だけが利根川に向つてひらいてゐた。二人はなる可く人目にふれぬ野路を傳つて、雜木林に續く土堤にあがつた。

前には廣い利根の河原をへだてゝ、紫の鋼のやうな赤城山が冬空にくつきりと畫がかれてゐた。そして更にその前にはセピア色に枯れた長い林が、お伽話のやうにこんもりした松林をバックにして長々と續いてゐる。

「い、眺めですね」

春木はさう云つて、たえ子をかへり見た。たえ子は返事の代りにしつかりと男の手を握りしめて嬉しげに笑つた。

長い間互に求めてゐた幸福が、その爲には二人とも幾度か危地に立たねばならなかつた幸福が、今完全に二人のものになつたことを思ふと、春木も何物にか感謝したいやうな氣持でたえ子の手を握りしめずにはゐられなかつた。

二人は互に熱烈な思ひを掌に感じながら、暫く默つて土堤に佇んでゐた。碧青の水の上を帆かけ舟が白く帆の影を水に映しながら川下から近づいて來た。

「たえ子さん」とつひに春木は亢奮した調子で云つた「長い間ほんとに二人とも苦しみ合ひましたね」

「でも、かうして最後に二人とも幸福を得られたのは、ほんとに嬉しいわよ。私、今の幸福を思つて所有る危難と戰つて來たんですもの」

「嬉しいです、たえ子さん、感謝します」

「いいえ、感謝は私からするのよ。あなたがなかつたなら、私は私は何うなつてしまつたかしれませんもの」

二人はまた默つて手を握り合つた。靜かな晴れた冬の日だつた。向ふ岸の雜木林で焚く落葉の煙が背ろの紫の赤城山へ一文字に立ちのぼつてゐた。やゝ暫くためらつた後、春木はたえ子の肩を輕く抱いて囁くやうに云つた。

「たえ子さん、では、今夜、約束して下さらない」

「………」

たえ子は恥じて顏を紅らめてうつむいた。

「いやなの」

「………」

「い、でせう」

春木はそつとたえ子の顏を抱きあげて、唇を近づけた。たえ子はめのうのやうな美しい皮膚に夕暮の海のやうな暗い眼をとぢて、春木のするまゝに唇をさゞげた。長い間の苦みもその幸福にとけて行くやうな氣持で、二人は夢見心地に暫く輕く抱き合つたまゝ土堤に彳んでゐた。

けふの放送

大連 JQAK　十二月十日

▲午前七時　ラヂオ體操

▲午後六時十分　ニユース（以下内地中繼六時三十分）

▲時事講座「滿洲事變より見たる兵器」陸軍省兵器局長陸軍少將　植村東彦

▲在支陸海軍々人並同胞慰問音樂會（日比谷公會堂より）慰問の辭　東京市長永田秀次郎

軍歌齊唱「軍歌集其一、其二」陸軍々樂隊編曲「軍艦行進曲」鳥井啓作詞瀨戸口藤吉作曲「獨立守備隊の歌」獨立守備隊作詞陸軍軍樂隊作曲「第○師團の出征を送る歌」土井晩翠作詞陸軍々樂隊作曲、都下各音樂學校合同合唱團吹奏樂伴奏陸軍戸山學校軍樂隊指揮樂長辻順治

吹奏樂「大行進曲正々堂々たる軍容」ヱルガー作曲「ガロップ「攻撃」」山本銈三郎作曲、陸海軍々樂隊合同演奏指揮陸軍樂長辻順治

君ケ代（總員合唱二回）指揮海軍樂長内藤清五

▲連續浪花節「尾花丸第一席」早川辰燕

（以下大連放送局より）

▲職業紹介事項

▲天氣豫報

▲ニユース

▲中國唱「時調大皷」　唱主喜寶、師付王振泉

新年俳句川柳募集

◇俳句　課題「新年雜詠」五句以内、東京市牛込區若松町八一島田青峰氏宛（滿日俳句と朱書の事）

◇川柳　課題「福」五句以内大連市能登町十高橋月南氏宛

◇締切　十二月十五日

◇賞金　俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

滿洲日報

發行人 鈴木　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢　郵税 金十五錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

決議案、宣言審議了り　けふ愈よ公開理事會
きのふの會議で決定

【パリ八日發】起草委員會作成にかゝる理事會決議案の最後的審議をなすため本日午後五時十分から十二ヶ國秘密理事會を開き同六時四十五分散會したが、右會議にて公開理事會を九日午後五時（滿洲時間十日午前一時）同日意見の一致に到達せざる場合は更に十日公開理事會を續會し結末を告げるはずである、なほ九日公開會議に先立ち同日午前十一日より起草委員會開かれることゝなつてゐる、而して本日の理事會で最終的仕上げを了した決議案並に議長宣言については幾分修正を要する點が存在するものと觀られてゐるが日支兩國共に之に反對しないものと期待されてゐる、右決議案及び議長宣言は今後日支兩代表に通告されたが何れも公開會議前には發表されない筈

公開會議延期を要求
けふ日本代表部に訓電す

【東京特電九日發】外務省ではパリの我代表部より九日午後四時公開理事會を開催するに決定したが日本側で延期の希望あらば至急回訓ありたしとの請訓を接受したが同省では我政府の主張は未だ徹底せざる憾みありとして一と先づ公開會議延期の訓電を發すると共に本日正午政府の立場を明らかにするため重要なる訓電を芳澤代表宛に發した

匪賊不良分子討伐權
わが宣言を議事錄に記載

【パリ八日發】理事會決議草案及議長宣言書草案に對する日本及び支那側の最終的受諾は未だないが、十二ヶ國會議は右受諾あると否とにかゝはらず九日公開理事會を開き若し、必要あらば一日延ばし閉會する段取となつてゐるが、いづれにしても本日を以て新たなる決議案及び議長宣言の草案は完了された譯である、而して問題となつてゐた匪賊討伐問題については議長は滿洲における特殊事情に鑑み匪賊又は不良分子に因る危險なる場合は日本は警察的措置を執るの餘儀なきに至ることあるべしとの日本代表の宣言を議事錄に記載せしむることに決定し、また決議草案第五項についてはこれを決議案中に入れず議長宣言に移し大要左の如く議長から宣言することゝなつた、即ち調査委員は現地に到着の上若し九月三十日の理事會決議が未だ實行されざる場合は同委員會はその形勢につき理事會に報告する事を得なほこれ等新草案は日本代表から本國政府に送附され目下その訓令を待つてゐる譯である

日支の受諾確實

【東京九日發】パリ理事會決議案は匪賊討伐權並に支那調査委員會權限問題に關し日本の主張は妥協的なるため日本代表部では八日夜迄には本國政府より右決議案受諾の回答を受取る事が出來るであらうといつてゐる、又施肇基代表も南京政府に對し右決議案により最も滿足する解決が可能なる旨を通告して居るから南京政府が右決議案を受諾する事は最早確實とされてゐる

日支の保留聲明

【パリ八日發】九日の公開理事會の決議案及び議長宣言書に對し支那側は幾多の保留をなすべく施肇基氏は既にその準備をなしてゐる模様である、一方日本も之に應じ幾多の保留をなすべく斯くて決議案は可決されても幾多の保留のため日支兩國の負ふべき義務の範圍如何は頗る曖昧なものとならうと見られてゐる、なほ施肇基氏は會議席上日本の行動に猛烈なる批評を加ふべく意氣込んで居る

中立地帶問題の對策
國際聯盟は一時手を引く

【パリ八日發】錦州の中立地帶に關する問題は議長宣言中に言及されてない事は愈々確實となつたが十二ヶ國會議が右決定を行ふに至つた事情は左の如くである
即ち理事會は秘密裡に提案された日本の中立地帶に關する提案を審議した結果支那側が之を受諾せざる事を發見した、從つて理事會はブリアン議長に對し書翰を寄せ中立國オブザーバーは支那側が積極的準備を行つてゐない事を確めた、理事會は日支兩國が敵對行爲を停止するやうすべての積極的處置を執る事を避け現狀維持を尊重されん事を希望する旨を傳へん事を希望した、然し之は日本が新たに提案を出す事を拒絶したものでなく理事會が中立地帶問題から臨時に手を引き錦州問題については何等正式調停に到達する事なくして散會せんとする用意を有するものであると認められる

日本に不利の二點
聯盟の空氣未だ樂觀を許さず　我代表部の公電到着

【東京九日發】一部のパリ電報によれば聯盟の空氣は好轉が傳へられてゐるが八日夜外務省に到達せる代表部よりの公電によれば代表部の見込では聯盟の空氣は依然樂觀し得るに至らず日本側の主張が通る迄には尚ほ曲折を經ねばならぬ事が判明した、問題は日本の匪賊討伐に關する留保條項と支那調査委員會の權限の二點にして
一、留保條項は日本代表として理事會席上において聲明せしむべきとし、之に對する支那側又は理事會の反抗的又は聲明的留保聲明を強要せざる事について難色あり
一、決議案第五項の支那調査委員會の權限につき日本代表の提出せる草案即ち理事會は調査委員會に對し九月三十日決議の履行狀況の報告を命ずるを得に就てもなほ理事會側の應諾を得ず、理事會側は九月卅日決議の履行權との

滿鐵の時局對策
大連は依然滿蒙經濟の中心地　滿鐵本社の奉天移轉は出來ぬ
江口副總裁の意見

江口滿鐵副總裁は九日午前記者團と會見して次の如き重要な時局談を試みた
今月の二十日過ぎ内田總裁と一緒に上京する筈であるがそれまでに一度奉天に行くつもりである、山西理事がチチハルに行き當分滯在するが軍及黑龍江省新政權との

連絡折衝 に當るためである滿鐵鐵路の石原顧問なども チチハルに行つて居り特に本社から他の社員を派遣することはない〱出てゐる様だが經濟の中心は依然大連に在るのだから本社を移すといふ大ゝ袈なことは出來ないだらう、交渉問題などは自然奉天が中心になるだらうが將來貨物は當分大連に入るとぞ思ふし大連もます〱重要になるそれに奉天には交通委員會も出來たことだし鐵道の仕事は特別

な問題が起れば兎も角一段落片づけば大連で統制して不都合といふことはあるまい、奉天あたりで滿鐵がすべての仕事をモノポリーし過ぎるといふやうな話を聞くが意に介するほどのことでもあるまいが、滿鐵としては決してそんな考へは持つてゐない、私がいつもいふやうに

利益ある 事業だつたら内地の資本家がドシ〱押かけて來る筈だが事實はさうでない、それで滿鐵の地位上事業は當初滿鐵が統制してそれが獨立して行けるやうになれば内地の適當な資本家に讓つて滿鐵は次の方面に進み内地の資本をインバイトしお互らに提携してやるのが滿蒙開發の根本だといふのが私の持論である、滿鐵事業資金について心配する人もあるやうだが首藤理事の話を聞いても年末に押詰つてあれだけの金が得られたのは滿鐵なればこそのことであつたのだ、しかし内地の金融界も緩和される時が來やうしこちらの方の事業も順序が立つやうになれば

資金の事 は決して心配は要らぬと思つてゐる、氣候が暖いので特産の出廻りが遲れたやうだが近頃大分出廻つて來た、時局の最緊要問題は錦州問題の解決だ、これが片つかなければ支那側も安定しないから是非何とか解決しなければならない、政府の腹も決つてゐるやうだ、在滿鮮農の救濟も重要問題で現在外務省の手で五千人の鮮人の生活を維持してゐるがそれも來年三月までゞそれ以後の生活の保障を與へなければならぬ、滿鐵は直接の責任は無いが私共も大いに心配してゐる、それにしてももしつかりした

政權が出 來なければ第二、第三の萬寶山問題が起らぬとも限らぬ、ハルビン事務所長は特産出廻期中は宇佐美君の兼任とすることになつてゐるから、いま後任に就いては考へてゐない、敦化の奧で伊東、中村兩社員が殉職したことはまことに遺憾である、念に念を入れてやつたことだがあんな間違が起つてお氣の毒に堪へない

軍備制限によつて財政難打開が必要
米大統領教書の内容

【ワシントン八日發】米國七十二議會は七日開會フーヴァー大統領は八日上下兩院に對し今會議中に議せらるべき諸政策を闡明せる教書を送つた、右教書中フーヴァー大統領は經濟復興、産業振興を目的とする幾多の提案をなし歳入不足補塡のための増税、金融圓滑、移民法の強化、一般的關税改正の回避等を協調したが特に日支紛爭、豫算、均衡海軍々縮等につき大要左の如く聲明した
日支紛爭はケロッグ條約並に支那領土保全確保諸條約の精神を維持する上にアメリカに異常な懸念を與へたが、此等條約精神を充分支持する如き解決方法を見出すため寄與する事はアメリカの目的とするところである**本年度豫算不足額は二十一億二千三百萬弗で一部借入金に依つて補塡**し得る見込みだが來年度は四十四億弗不足を來すを以つて豫算均衡を得るため増税の要ありと信ずる、主要海軍國間に海軍比率が設定され建艦競爭は停止されたが、尚この上削減を行ふ機會を提供に相違ない、之は懸案の佛、伊兩國海軍交渉の成功に依り一層可能性あらう、**現下の經濟難からの脱却は海軍その他軍備制限を必要**とす【寫眞はフ大統領】

蔣駐日公使から直接交渉進言
南京當局の同意疑問

【上海八日發】確聞するところによれば駐日支那公使蔣作賓氏は昨日附で外交部に電報を寄せ日本の對支態度強硬を詳細に説明し**一日も早く反日行爲を停止し直接交渉を進めることが得策**なりと進言し來つた、但し對日認識不足の蔣介石、顧維鈞兩氏が直にこれを容れて動き得る勇氣ありや否やは未だ全く不明であると

起草委員會
日支代表と交渉

【パリ八日發】決議案起草委員會は本日午前施肇基氏を招き協議した、更に午後四時からの起草委員會には伊藤述史氏が出席交渉を續ける筈

理事會側と、日本代表部との折衝はなほ釋然たる解決を見るに至らず、代表部の見込では空氣は十月二十二日後の理事會のそれよりも惡化するの憂ひ皆無といへずとされて居る、而して理事會側の空氣が斯く俄に惡化せる原因は理事會側としては錦州地方の形勢急迫を憂ひ中立地帶案を依然固執して支那側を壓服せんとして日本側の希望する撤退區域を質したるにつき代表部より小凌河より山海關に至る區域を指定したが之に對し理事會側が日本軍の不可侵線を大凌河に迄擴張せん事を要求して其間折れ合ひ得ざりしによるものである

委員が調査する迄
現狀維持を保持の希望

【パリ八日發】起草委員會は本日午後四時半日本の理事會決議案第五項を議長宣言中に挿入すべきものとする要求につき審議し十二ヶ國會議は午後五時開會錦州の地位を決定せんと努力するはず、なほ中立地帶放棄問題に關しては中立地帶の區域設定に關して各種の困難或は誤解あるに鑑み聯盟側では聯支調査委員支那到着まで公式な中立地帶を設定せず現狀維持を保持せんことを欲してゐるものである

錦州軍撤退區域
聯盟の態度は無理解

【東京九日發】理事會の空氣依然樂觀を許さずとのパリ代表部よりの公電に接し外務當局は左の如く
理事會に對する憤懣を漏らした
日本が錦州軍撤退區域を小凌河山海關間に限定したのは同地における支那軍の集結狀況及馬賊の跳梁狀況から見て必要だと認むるからで撤退區域を更に大凌河まで擴張することはそれだけ馬賊の跳梁區域を擴大するの結果となるのみならず日本軍の不可侵區域を擴大しさへすれば能事終れりとする聯盟の態度は不親切極まるもので日本に對し何等か重壓を加へんとする態度を捨てぬなら日本としても何時までも聯盟に信頼しないが、しかし折角ここまで來た聯盟が今更形勢急變して徒らに醜態を演ずるやうなことはしまいと思はれる

回訓到着後
更に協議

【パリ八日發】日本代表部は問題の二點につき請訓到着せば今一度起草委員會と協議する筈であるが何れにせよ問題は交旬の末に歸着するので最早纏まつたものと觀て良い

決議案の實質

【パリ八日發】當地專門家の意見によれば九日決定を見るべく豫想さるゝ國際聯盟理事會の日支紛爭に關する第二次決議案の實質は九月三十日の第一次決議案を強調確認することゝ、調査委員派遣に關しその機能を漠然決定することだけであると

決議案に
米國同意

【パリ八日發】駐英米大使ドーズ氏は理事會決議案に關し長距離電話で華府政府と協議した後ブリアン議長と會見し華府政府も理事會決議案に異議なき旨を傳達した

ブ議長の
書翰内容

【パリ八日發】七日十二ヶ國會議後ブリアン議長が芳澤代表に發した書翰内容は日本軍が現在の線より前進せず且つ日支兩軍が挑發的行動を避くべきことを希望したもので之によつて敵對行爲防止の責任を該地方の軍司令官に負はせ以て聯盟の關する限り中立問題を除外したものであると解される

支那調査委員
五名と決定

【パリ八日發】本日午後の十二ヶ國會議で支那調査委員の人數は依然五名と決定し、その人選はドラモンド氏が他と協議を行ふ事となつた

支那警備に
佛軍艦增派

【パリ八日發】フランスは支那警備のため巡洋艦プリモーギュ號を出發せしめたが更に砲艦二隻を派遣するであらう

北寧運行指揮に外人を任命
錦州軍の行動を援助

張學良は北寧線の運行を整頓し以て錦州方面の作戰の要求に滿足せしめんがため最近同鐵路局從業員の指揮に外人を任命した【奉天電話】

北寧線列車匪賊に襲はれ被害者の中には英人の北寧鐵路運輸課長も居る、現狀維持の為め治安速復の要を見る。

天津市長代理
周龍光を任命

【北平九日發】天津來電によれば張學銘は事件以來過勞のため病氣となり天津市長の辭職を申出たので張學良は之を許可し前外交部亞細亞司長周龍光を天津市長代理に任命し王一民を公安局長代理に任命する事となつた

軍縮全權一行
十五日東京出發

【東京八日發】重任を帶びてジュネーヴに赴く軍縮全權松井石根中將・永野修身中將以下隨員一行は愈々來る十五日午前九時東京驛發燕號で出發、午後諏訪丸で鹿島立つに決定したが當日時局重大に鑑み我全權の主張貫徹せしむるため軍部では在京陸海軍將校は殆ど全部が東京驛に赴き帝國在郷軍人會でも代表三千を上京せしめ盛大に見送る事となつた

軍縮會議豫算

【東京九日發】大藏省では八日午後省議を開き軍縮會議出席の經費豫算を審議した結果總額百二十萬圓中、四十九萬圓を差當り第二豫備金支出とし殘りを追加豫算として計上するに決定した

滿洲事變費
第二豫備金支出

【東京九日發】井上藏相は勅裁を仰ぎ滿洲事變のため軍隊出動に關する經費の豫算外支出を要し百十三萬八百七十七圓を本年度第二豫備金より支出の件九日發表した

遞信局員を奉天に派遣
時局要務を處理

遞信局では豫てから時局の中心地たる奉天に進出する計畫を樹てて着々その準備を進めてゐたがいよ〱九日午前九時發の急行列車で櫻井遞信局長は八島電話係長、高橋電信係長以下局員六名を引率し奉天に出發時局關係の要務を處理する事になつた

山西滿鐵理事
チチハルへ出張

滿鐵では黑龍江省新政權との聯絡折衝、四洮、洮昂、齊克各線との聯絡その他の關係でチチハルが非常に重要性を増したのでこれ等の事務を處理するため山西理事が十日午前九時發急行でチチハルに赴き當分滯在の筈である

關東廳辭令（七日附）

依願免本官　關東廳遞信書記補　加藤欽生

人事

▲中根信愛氏（滿鐵社會施設係主任）沿線視察中の處七日午後八時着列車で歸連

蛇角

北寧線列車匪賊に襲はれ被害者の中には英人の北寧鐵路運輸課長も居る、現狀維持の為め治安速復の要を見る。
◇
于右任、對日宣戰布告は出來ないと說く、蔣介石より勇氣がある！
◇
蔣作賓公使、直接交涉を國府に勸む、之れも勇氣が無くては云へない話。
◇
汪兆銘、暴力學生團に取卷かれ民衆政治を說く、突込んで學生團の無謀を說諭しないのが物足らぬ
◇
支那各地學生の救國運動猛烈、主張は卽時出兵、此種の空氣は國を誤る、之を抑へて眞勇化するは政治家の任、恐らくは支那に此大政治家無し。
◇
東北各縣不作、浮浪の小學校生徒を休む、是亦重大問題。

東亞の謎（145）
國枝史郎　挿畫 伊藤順三

危機から危機へ（十七）

也速該は寶座から飛び下りて、伯と次郎とを指差しながら、
「人質どもだ！彼奴等だ！……日本の伯爵ともう一人の男だ！」
かう蒙古語で怒號した。
混亂が一層烈しくなつた。
侍女達は堂の隅へ逃げた。
喇嘛僧たちは樂器の傍へ走り、一齊に吹き立て奏し立てた。
神聖な婚禮を寿ぐための、それらの樂器は瞬間に變じ、兵を呼び集める合圖の樂となつた。
轉生堂が搖らぐばかりの、物凄い音樂が鳴り出した。
堂の内陣の奧の方に、非常に備へてゐた十數人の、蒙古兵どもが走り出して來た。
樂の音は堂から堂の外、廣い空地を傳はつて、地の四方へ響いて行つた。
で、この混亂の轉生堂を目がけ城の四方から也速該の部下が、押し寄せて來るに違ひない。
也速該は傷口を押へながら、狂氣のやうに叱立てた。
「二人を捉へろ！二人の日本人を！さらへられなかつたら撃ち殺せ！」
内陣の奧から走り出して來た兵は、伯と次郎とへ襲ひかゝつた。
二發の銃聲が轟いて、二人の古兵がぶつ倒れた。
伯と次郎とが撃つたのである。
ワーッといふ叫び聲が起こり、叫び乍ら伯爵は突き進んだ。
也速該の部下達は後じさりした。
「小夜子さん！次郎君！助けりやア不可ない！」
さうして氣絶して倒れてゐる小夜子の、倒れてゐる處へ走つて行つた。
早くも也速該が見て取つた。
彼も叫びながら其方へ走つた。
死んだやうに倒れてゐる小夜子

その時伯は
「この獸め！」
と、憎惡に充ちた聲で喚鳴つたかと思ふと、銃で也速該の腰を薙いだ。
ウォーッといふやうな吠え聲を立て、也速該は飛び上がつてよろめいた。
その隙に伯は小夜子を抱き上げ左の小脇にかゝへると、右の手で銃を振り廻し、押し寄せて來る何物をも寄せ付けはしないぞ、さう云つたやうな見幕で、出入口の方へ突進した。
一旦後じさつた蒙古兵達が、その伯爵へ追縋つた。
そこを觀雲に次郎が撃つた。二發ばかり撃つたのである。
それから伯の後に從いて走つた。
二人は廊下へ走り出た。
後から大勢が追つかけて來、行手からも何うやら大勢の者が、此方へ走つて來る氣勢がした。
走りながら伯爵は氣を揉んでゐた。
（さつき確に洋子らしい聲で、兄さーんといつたやうな聲が…）
助けてよーツと云つたやうな聲がしたが？）
併し洋子がこんな時刻に、こんな所へ來ようなどとは、如何にしても伯爵には思はれなかつた。
（氣の迷ひだつたのだ、大丈夫だ）
で、一散に廊下を走つた。
洋子は廊下を轉生堂の方へ、夢中のやうにして走つてゐたが、行手から銃聲の音が聞え、暴風のやうな音樂の音が、狂氣的に響いて來、喊聲の聲が起こつたらしく、危險が感ぜられたので、また立ち縮んで躊躇した。
（どうしやう！どうしやう！どうしやう！）

密輸入の麻醉劑は三千キロ二百萬圓
取調べ一段落て廿七名送局
國際密輸團の犯罪

多久島一味が多數外人と共謀、滿洲事變を好機に支那兵匪に武器賣込みを企てた賣國奴的密輸事件の

發覺 を端緒として滿洲を舞臺に多年麻醉藥の國際的密輸を行つてゐた米、佛、露の各國人の大密輸團が大連署の手でいもづる式に檢擧され、對外的に大きいセンセイションを起してゐたが、爾來大連署では千葉司法主任指揮の下に吉富警部補、吉岡、黒岩兩刑事係りで不眠不休の活動を續けた結果、多數各國人の取調べも漸く九日一段落をつげたり銃器及び麻醉藥取締規則違反の一件書類と共に一味二十七名を送局するに至つた、この結果從來滿洲に於ける禁制品は殆ど日本人の手によつて動くが如く國際聯盟方面に於ける

心證 を惡くしてゐたが、今回の檢擧でこれと反對に外人密輸團が堂々と表面に立ち、或は裏面に於て大々的密輸を行つてゐたことが立證され、昭和三年以來外人團の巨頭佛人ヘンリー・パックリー及び日本人側の主魁多久島等の手によつて滿洲を中心に國際的に取引された麻醉藥の數量は實に三千キロ、總額二百萬圓以上に達するものと見られ、その大規模な點では未曾有の大檢擧である、一味二十七名の氏名及びその犯罪内容及び密輸

徑路 を探聞すれば左の如くである

市内山縣通一六六番地　貿易商　多久島六四（四二）
市内沙河口巴町三三番地　洋品雜貨商　溝口　富作（四四）
市内山縣通六十六番地　多久島店員　犬塚　茂（二三）
市内若狹町百五十七番地　無職　原口　龜次（二一）
市内常陸町九番地　米穀商　林田佐登志（二八）
市内東鄕町六十一番地　仲介業　劉　又助（五九）
市内加賀町三十一番地　無職　正木　保雄（六七）
市内山縣通百六十六番地　多久島店員　草野　權次（二三）
市内若狹町八番地　貿易運送業　立石　脩（二六）
市内北崗子一番地　運送業　永尾　五郎（二四）
市内惠比須町四四番地　運送業　佐藤　實（二四）
市内薩摩町三六番地南山寮　滿鐵社員　藤田　末一（二〇）
市内天神町十八番地　滿鐵社員　容員　信雄（二三）
市外西山會香爐礁第二區七九　大連海關傭人　董孝友（二五）
市内山縣通一六六番地　多久島店員　高峰　龍行（二四）
市内山縣通六三番地　運送仲介業　井上　宗二（四二）
佛國西シエルシエール市、當時大連市神明町七〇番地　貿易商　パックリー・ヘンリー（四五）
リスアンヤ・シエナイ市生當時大連市東公園町三番地　パックリー商會事務員　ポリス・ボグダノスキー（四八）
北米合衆國サンフランシスコ市生當時大連市山縣通一三八番地　貿易商　ジョージ・トライブ（二九）
リスアニア・トロツキー市生れ當時大連市寺内通七番地　貿易商　ニーツング・ラネフスキー（三二）
市内西公園町八十九番地　清涼飲料水業　杉本　權次（三九）
舊ロシヤ、クレミンミユク市生當時大連市柳町七七番地　無職　ヤコフ・グレビッケー（四三）
蘇聯チエルニーゴフスカヤ縣生　當時大連市東公園町三番地　貿易商　ヤコフ・レルチッキー（四五）

既に大連檢察局で起訴された分は左の三名である

市内旭町八番地　米穀商　土井眞太郎（四三）
市内聖德街一丁目八番地　洋毛貿易　辻本　茂（三三）
市内近江町二二一番地　雜穀商　小池　幸吉（四一）

フランス人を首魁に活躍
外人關係の密輸者

一方外人關係は佛人ヘンリー・パックリー（四五）が巨頭で彼は世界各地に密輸に關係ある支店を設置し驚くべき大規模の密輸常習者であり、本年五月フランスパリの銀行經由で駐在員たるギリシヤ人ダラント、エリー・エリユーツルス等の手で數回に亘りペンゾイリン約三百キロ價額百八十萬圓を滿洲に密輸したのを初め、同月トルコよりモルヒネ多量を例の天勝式密輸箱でシベリヤ經由大連に輸入、日本人密造業者に精製させてゐた、即ち共犯の辻本茂がヘンリーの依頼で聖德街及び旅順方面で精製、一部を多久島が密賣し共犯ボクダフスキーが店員として共犯ジョーヂ・トライブ及び多數日本人を手先に使ひ賣捌いてゐたものである

ビール箱で拳銃密輸
獨逸から送る

未曾有の國際的麻醉藥密輸團檢擧の端緒を作つた市内山縣通り一六六番地貿易商多久島六四（四二）の賣國奴的武器賣込み事件は去月中旬奉天驛で黒龍江軍に發送途中、モーゼル拳銃一號十三挺、彈丸一萬五千發、モーゼル二號五挺、彈丸九千五百發を差押へられてより暴露したが、銃器輸入系統はドイツ在住のグラネフスキーはハンブルグ在住の叔父に當るシャリヤンスキーと氣脈を通じ多年に亘りハンブルクから直接滿洲へペンゾリン、ベンチールなどを密輸し共犯杉本等を手先に使ひ廣く密賣の手を擴げてゐた、共犯ウレビッチドナッキーは單獨又はヘンリーの手先になり表面貿易商を看板に日支人相手に密輸、密賣しつゝ我警察權内を横行してゐたものである

駐在の某外人が十一月初旬、ハンブルグよりドイツビール百箱のうちに多量拳銃を隱匿して多久島宛發送、共犯の原口、犬塚、草野、高峰等が大連埠頭から陸揚しそのうちから拳銃十八挺、彈丸二萬四千五百發を某地宛の外人宛に發送を取押へられたもので、殘り銃器の大部は既に支那兵匪の手に渡つた模樣であり、この間の事情は某外人逮捕を俟つて鮮明さなるであらう

麻醉劑は各地から
四年間も犯行

銃器賣込みの搜査中、主魁の多久島が多年に亘り多數外人と氣脈を通じ大規模の麻醉藥密輸を行つてゐる新事實が發覺するに至り、俄然大連署で活動を開始、各國人二十七名の檢擧を見た

その犯罪内容及び密輸系統は昭和三年五月から四年三月まで多久島がパリ居住のポーランド人エーチトクプク、佛人アイセンバーグ兩名の手を經てフランスマルセイユから約百キロのペンゾイリンを輸入、昭和四年四月から六年七月までに多久島の手でドイツのタユラ商會、ウルフ商會、ヒユシエ、ヒンリクセン商會等から前後數回に亘り約五百キロ、價額約三十萬圓のペンゾイリン、ペンチールを密輸入してゐる外、當局の目を掠めるためドイツから小包郵便で奉天宛發送し數回に亘り約二百キロのペンゾリンを密輸したこともある

これら麻醉藥は何れも共犯原口、栗田（未逮捕）ジョーヂ、トライブ等の手で密賣させ、またモルヒネは外人側の巨頭ヘンリー等と共謀、大連市旭町旭洋行こと土井眞太郎、三春町昭和洋行に卸し精製密造されてゐた

なほ共犯の草野、高峰、犬塚等は多久島の店員として情を知り輸出入、密賣買、密受授に從事し原口は密賣の手先、溝口は發着の荷物係、井上は天津と大連間の連絡係に活躍してゐたものである

外人記者團が視察中に公太堡に兵匪が來襲
わが警官隊が應戰して擊退
公太堡にて　鹽谷特派員發

五日夜の匪賊來襲以來公太堡農場に危險迫るの報に接した奉天署では軍部と協議の結果八日午前十一時飛行機にて同方面の偵察を行ふと同時に警官隊を組織し、倉迫警部補以下二十二名を同地に派遣することを聞いた記者は在奉外人記者五名と共に一行に加はり午前十時奉天を出發公太堡農場に向つた、途中何等の變りなく、公太堡農場中央事務所に着いたが午後六時頃に到り、**約二百名の匪賊が遼河を渡り公太堡目がけて移動を開始したとの急報** に接したので農場事務所では直に長距離電話で新民府を經て奉天署へ急報すると共に全員防備の位置についた、しかし不氣味な壓迫をうけつつ夜は更けて行つたが、同農場に匪賊の來襲はなく却つて午後十一時頃奉天西方四里の三林子附近に約百名の匪賊が來襲し公安隊と交戰後逃走しその戰ひに於て公安隊員二名が死亡し七名が負傷したとの報に接した、ところが **九日の午前四時頃に至り突然公太堡農場西北方四里の地點に約五十名の賊團が現はれ公太堡農場目がけて盛んに射擊を開始した、わが警官隊は直にこれに應戰し約三十分間機關銃の猛射を浴びせたので賊は西方に逃走暗にまぎれ込んでしまつた**、この賊團は八日午後六時遼河を徒涉して東進して來た約二百名の賊團の斥候部隊と推定された、公太堡農場には目下銃器を多數に收めてゐることを知り武器彈藥に缺乏した賊團がその補充の目的で來襲して來たものと觀られ又その後續部隊は相當優勢の模樣である、聞くところによると勸業公司東北公太堡農場には從來千五百名の鮮農がゐたが近來の馬賊襲來におそれて四日夜以來續々引揚を開始し既に千二百餘名は奉天に引揚げ殘り三百名も男子のみである、本年の收穫は大部分搬出済みで殘つてゐるものは極く少數の來年度の種物のみである、**無人の家は點々として曠野に散在してゐるが何れの家からも一筋の煙も上つてゐない**、公司事務員五名、鮮人二十名がゐるが **何れも決死の覺悟で事務所の警戒に當つてゐた**、わが警官隊が公太堡救援のために來つたことを知つた **附近部落民は一行が持つてゐる日本國旗を歡迎すると** 共に大民屯その他の部落より續々救援隊の派遣方を公司事務所に懇請して來る有樣だ、また沙嶺子を中心とした一帶は警官隊派遣の報に接して早くも人心が安定してゐる、警官隊と同道二十日公司事務所に一夜を明した外人記者ニューヨークヘラルドのキイーン氏、インターナショナルのハンター氏、ロンドンデリーテレグラフのゴールマン氏並に北平英國大使館附武官フレッザー氏等は **來襲し來れる賊との交戰狀態を目のあたり見てわが軍憲の匪賊討伐に對する苦心を知り今回の事變に對する認識を一層新にせるもの** の如く感慨深げに記者に語る

支那の田舍旅行は決して始めてゞないが僅か六里の道を六時間もかゝる程の曠野の中の惡道路に六百町の水田を耕作してゐる鮮人の努力は全く敬服に價する、殊に匪賊の掠奪には絶えず身邊の危險を感じながら尚踏み止まつてゐる苦心の程は察するに餘りがある

なほ外人團記者一行は九日早朝の匪賊の銃火に洗禮され直に身仕度を整へて正午奉天に歸つた

再び襲擊の準備中
遼河の西岸に集結す

九日午前七時春戸屯部落よりの情報により耿紀洲を頭目とする約千名の正規兵を混じへた兵匪團は八日午後より遼河西岸に集結し、遼河を渡り公太堡方面を襲擊すべく準備中で、これに對し鄕團長が引率する五百名の支那自警團は東岸を守り、目下對峙中であるが、形勢の不利を鄕團長は公太堡に報じ我飛行機の應援を懇請して來た【奉天電話】

飛行爆擊要請

公太堡東方鄭公屯に約千名の兵匪集結し、再び農場襲擊のおそれあり奉天署では軍に對し飛行爆擊を要請した【奉天電話】

死を覺悟し封筒に『御布施』
殉職した中村岩藏氏

吉長鐵路局よりの願ひ出によつて敦化東方地區の交通狀況調査中七日支那側より狙擊を受け伊東萬次氏とともに殉職した滿鐵技術員中村岩藏氏は大正十二年滿鐵へ入社し、同十三年奉天より遼陽に轉勤となり、上下の氣受けもよく、人好きのする人であつた、家族はトメ子夫人と、長春西廣場小學校に教鞭をとつてゐる令嬢とき子さんの三人である、中村氏が調査へ出發後トメ子夫人が中村氏の机を開いた處、約三十枚の狀袋に親戚や知人の宛名が書いてあり、又外に「御布施中村家」と書いた一枚の封筒があつたが、今にして思へば中村氏は既に死を決して出發したものであることが知られ、通夜に集つた人々は何れも中村氏の殉職を悼むと同時に、氏が平素職務に忠實であつた事を思ひ、今更ながら感激の涙を流してゐた、なほトメ子夫人は八日午後七時十八分發列車でとりあへず長春に赴き留守宅はとき子嬢によつて守られてゐる

＝寫眞は殉職した中村氏【遼陽電話】

兩氏の遺骸長春着
今夕南下する

殉職滿鐵社員伊東、中村兩氏の遺骸は在長滿鐵社員全部及官民多數の出迎へを受けて九日午前十時五分長春着、直に自動車にて滿鐵醫院に向ひ死體の手當を受け急造の木棺に納められ白木綿を以て蔽はれたが午後四時半發急行にて南下し遼陽にて中村氏の遺族のみを下し一路大連に向ひ十日午前八時着の豫定である、なほ長春驛では當日最初の一般乘客の受付けをなしたが非常に多數の市民が詰めかけ衷心から哀悼の意を表した【長春電話】

殉職に決定

伊東、中村兩氏に對し滿鐵では殉職社員として遇するに決定した

各皇族方が御慰問品を下賜

【東京八日發】秩父宮殿下始め各皇族方には滿洲事變のため出動中の將兵を御慰問遊ばさるゝ思召で全將兵に對し煙草傷病兵には御菓子を下賜の御沙汰あり九日軍部を經て傳達した

御紋章入煙草を下賜

【東京九日發】皇后、皇太后兩陛下初め皇族方より本日派遣軍御慰問のため御紋章入煙草を下賜された

お國のために靴磨き

今日のお晝休みの滿鐵社員俱樂部の玄關で中年の一紳士をまん中にその椅子の下にしやがんで靴を磨いてゐる三人のスウーターの少女、上のボールドには「軍費獻金、お國のために靴を磨かして頂きます、五錢」と大書した紙が無造作に鋲でとめてある、三人の少女はいづれも彌生高女の一年惰組のクラスメート【寫眞は靴を磨く女學生達】

遺骨を迎へて市で慰靈祭
來る十三日甲埠頭で

郡々溪大興戰の戰死者遺骨は十三日出帆はるびん丸で歸國するが大連市役所では十三日午前八時三十分より甲埠頭廣場において慰靈祭を執行する事となつた、當日の定期船出帆時はなるべくテープの交錯或は喧騷に亙らぬ樣一般に注意されたいと、なほ遺骨の内譯は左の如くである

步兵四聯隊川名特務曹長以下四名分、步兵第廿九聯隊陣野特務曹長以下十名、步兵第十六聯隊武者少尉以下四十三名、步兵第三十聯隊井上大尉以下二十九名騎兵第二聯隊吉澤中尉以下五名野砲兵第二聯隊佐々木曹長以下五名、工兵第二大隊一名、自動車隊川野少佐、獨立守備兵第一大隊一名、同第二大隊一名、同第三大隊二名、第五大隊一名

また名譽ある戰傷兵は奉天方面より十二日午前七時大連着、旅順より十三日午前八時十分十四日午前八時十分大連に到着し十三日午前十時出帆はるびん丸にて約三十名、十四日午前十時出帆貴州丸で約五十名それぞれ送還される

ロジャース君飛行機で來連

映畫人であると同時にアメリカが誇るユーモリストであるウイル・ロジャース氏は去る四日東京に着き各方面でその特異なユーモアを發揮してゐたが、滿洲の戰跡視察のため九日下り機にて一時半周水子飛行場に着、直にヤマトホテルに入つたが、同夜急行で沿線へ出發の筈である

新城子附近を騎馬で掠奪
虎石臺の守備隊出動

九日午前三時頃新城子西北方十六支里の大孤家子を山中好を頭目とする約百名の騎馬匪賊襲擊し、掠奪横行、目下朝食中との報に接した虎石臺守備隊は中隊長以下六十名、午前九時四分虎石臺發列車にて新城子經由現場に急行した【奉天電話】

新民中心に約六千

新民を中心に最近では約六千名の匪賊が各地に散在し不逞行動をほしいまゝにしてゐるがその地方別數及頭目は左の通りである【奉天電話】

北方公主屯（頭目老二哥）一二〇〇▲東北方高臺子（梯子、大武、小辨、戰北、大老疙疸、一〇〇〇▲巨流河高力屯（九省）七〇〇▲東方三棵樹（恨子）六〇〇▲長溝沿（東洋）六〇〇▲白旗堡（桂國）六〇〇▲其の他右地方一帶を浮動しつゝあるもの（江字）七〇〇（山字、南使）九〇〇

矯風會代表慰問に來滿

婦人矯風會の全國百五十一支部では滿洲出動軍隊に對して最も有意義な慰問をするために林歌子、久布白落實兩理事を實地視察に派遣することゝなり兩女史は八日神戸發はるびん丸で渡滿、十一日來連する、なほ林歌子女史は大連で講演すると

練習艦隊旅順へ
今村司令官、白玉山に參拜

帝國練習艦隊磐手、淺間の兩艦は豫定の如く九日午前八時旅順港外着黄金山鼻に投錨

これより先警城丸にて出迎へたる大谷要塞司令官、關東軍留守司令官高野中佐、松下要塞參謀關東廳より竹内、田邊兩課長、齋藤民政署長代理、永山市長等は旗艦磐手に今村司令官を訪問これに對し今村司令官は淺間艦長粕谷大佐、磐手艦長岡田大佐以下幕僚を隨へ同九時三十分上陸、佐藤旅順無線電信所長の案内にて白玉山參拜の後關東廳に塚本長官其他各方面を訪問答禮した、また候補生は海軍關係の案内にて白玉山參拜、乘組員一同は各艦毎に上陸し隨意に白玉山參拜、戰跡市中の見學をなした

婦人連と共に市中は國旗を揭揚して歡迎の意を表し第一小學校生徒は海務局前に整列、各町内旗を海岸に樹立歡迎した、なほ船渠工場、旅順驛の浴場を開放して隨時入浴せしめ旅順案内繪葉書などを贈呈した

塚本長官答禮

塚本關東長官は三浦、中谷兩局長室田祕書を隨へ九日午前十一時十五分旗艦磐手に今村司令官を訪問答禮した

滿鐵主要驛に記念スタンプ

近來の滿洲視察團體旅行者は單に名所見物と云ふ氣分ではなく各觀察地で可なり熱心に見學するやうになつたがこれに伴つて旅行記念觀を携帶して主な箇所で記念スタンプを需める向がめつきり殖へたので其の希望に副ふために滿鐵では主要十五驛を選んで記念スタンプを備へつけることゝなり外紙來鐵道部官傳係で意匠圖案を考究してゐたがこの程各地の風物を取入れた優秀なものが出來上り近く實行する筈であるから旅行者に大いに歡迎されやう【カットは記念スタンプ】

軍人後援會で留守宅を慰問

大連軍人後援會では八日午後三時から民政署會議室に於て評議員會を開き今回の事變に鑑み既報事業遂行に關し協議したが異議なく原案を可決した外役員は大連市より出動してゐる十八名の軍人の留守宅を慰問する事とし更に事業遂行のため豫算一千圓を追加し同四時三十分閉會した

常盤青訓所

大連常盤青年訓練所の第五回修了式は十日午後七時より同所において擧行する

天氣豫報　十日

北西の風（晴）

各地溫度　九日午前十一時

		最	低
大連	零下一、八	〇、四	
旅順	〇、八	〇、九	
營口	零下四、六	零下五、五	
奉天	同六、九	同七、二	
長春	同九、八	同一三、五	

けふの小洋相場（正午）　金百圓は二二五圓四五錢

暗流阿修羅館 (267)

生田蝶介

挿畫　藤井耕達

傾く大樹（二）

その時、忠徳は厠の中で、頭がくらくらとして斃れさうになつたのをやつと堪へた。

（惡いことは出來ないものだな。やつぱりそれでは、その怨みで連れて行かれたんだな、おゝ寒い！身顫ひが出らア）

（何でもそれをきつかけに、田沼の父子の惡事がみんなばれたさかばれるさかいふ話だ、上樣を……）

あとはひそひそ。

（ふーん）

（何さおそろしいことをするぢやないか）

（何でもこんどはうちの殿樣と松平樣とが田沼に代つてお城をすつかり組織をお改めになるさいふことだよ」

（すると、若殿の立場はどうなるだらうな……）

その時、そのやうな話が聞えてゐたのだつた。忠徳は息をひそめて、割れるやうな頭痛を押えてきいてゐたが、あとはひそくと聞えなかつた。

あのやうな下郎たちでさへ、自分の身の動靜について興味の目を向けてゐる。築地の兄意知の屋敷の門に一人の男が首をくゝつたさいふことも秘密にしてあつたが、自分たちよりもむしろこのやうな下々の者は何もかも知つてゐた。

（殿中で殺された惡人の弟だ）

云ふと云はぬと、十人が十人、二十人が二十人、自分を見る度にさう思つてゐるに相違ない。

まして、養父水野忠友は、そのことに心を勞さないでゐられようか。

忠徳それ自身にも養父の立場の苦さはよくわかつてゐた。

が、自分は武士だ、この水野家をよそにして、どこに他に歸るべき家があらう。と心を心を確固ともつてゐた。

が、忠友は

「では、思ひ切つて云はうか」

と、急にむづかしい顏をした。

「はい」

忠徳はまつすぐに養父を見た。

忠友は、云ひかけて、云ひしぶつた。が、しかし口を切つた。

「其方はいま、育ての恩といつたな」

「はい、海山にも代へがたい大恩でござります」

「それなれば、わしからその恩を押賣をする樣だが……」

また云ひ澁つた。

「仰有つて下さりませ」

「その大恩ある松平の家名に……」

「よくわかりました。松平の家名に疵がつくから、身を退くのが當り前だと仰せあるのでござりませう」

「……」

答へない忠友の目には淚が光つてゐた。

忠徳はそれをたしかに見た。そして、がつくりと俯向いた。

「よくわかりました」

「それに、あゝして意知どのが亡くなられたからは、田沼殿のお家は其方が嗣ぐより他はあるまい」

「まだ他に澤山居ります」

「いや、この人たちは、まだ小さい上に、みな腹が異つてゐる」

「……」

「それさ、田沼殿も元氣なやうでも、もうお年ぢや、お心細いであらう」

云はれて忠徳は洟をすゝつてゐた。

忠友も目をこすつて

「それには其方は丁度よい相談合手ぢや、戻つて孝行をつくされる方がよいであらう」

が、忠徳は返辭をしなかつた。そして襟から紙を出して洟をかんだ。

映畫界の總決算（三）昭和六年度

（天方館へ交渉に行つてゐる）

▲十月　大衆文藝映畫へ續々東活スター參加、松竹山本營業部長支配人に榮轉、惡麗之助監督死去、元マキノの內藤常務獨立プロの旗擧げ、ユーナイトの平田社長渡米、不二映畫を日活が配給する說起る、東和商事BIPと配給契約

▲十一月　櫻富士子死去、不二映畫當山本發聲のスタヂオ使用さ決定、赤澤キネマ製作に乘り出す、新興キネマと大衆文藝映畫の提携、東活が滿洲事變の實情を映畫で全世界に紹介すべく製作、月形龍之介淺草で實演、帝劇一日より映畫興行館となる

▲十二月　ウイル・ロヂャース來る、內務省檢閱室社會局分室に移轉、山本馬之助氏により大阪に勞資協調による協立映畫プロ出現、高田、岡田松竹復歸の說喧傳さる

獻金舞踊會　楢木氏演し物

大連舞踊研究所主催の獻金舞踊大會は既報の如く來る十二日夜協和會館にて開催するが、楢木鑑二郎氏の出演番組はドルドラ作のスーベニヤ、トンキノイズ、シャルダス及び吉井正子孃を相手役さしたショパンのノクターンの四種であるなほ前景氣が頗るよいから座席券はなるべく當日午前中に引換へられたいさ

後一時から織明、女子商業、羽衣同六時から商業その他である

東活で慰問の夕

東活が總出動して來る十日午後五時より京都公會堂において滿洲派遣軍慰問の夕を開催當日は特に京都在鄕軍人會長陸軍少將杉村勇次郎氏も出場講演し當日の入場料は全部滿洲駐屯軍に贈る慰問袋の基金として慰問袋は十二月下旬再び渡滿する、東活撮影隊に託することになつてゐる

大劇の家庭劇

目先の變つた演出を以て各地で好評の家庭劇曾我廼家一郎一座は十一日から大連劇場に出演するが、初日狂言は左の如くである

▲第一　トランク（一場）▲第二　剛情さ我儘（三場）▲第三　一夜の情（一場）▲第四、濱の兄弟（一場）▲第五　心の脫線（二場）

噂話

「日本廿六聖人」の初日は天候に祟られて協和會館約八百さいふ成績だつたが▲基督教婦人矯風會の手だけでも四千以上の前賣券が捌いてゐるから▲今夜の協和會館は勿論滿員だらうし、二千以上の前賣券が帝國館に利用されるもの見られてゐる▲既にきのふ初日早々から帝國館へ約二百枚の前賣券が通つてゐるさのことら▲結局帝國館の揚り高からも約二百圓獻金されることになり婦人矯風會を合すれば相當の額に上るだらう▲それに學生デーも半額獻金するさいふから「日本廿六聖人」らしい興行である▲長大日活館主は東活實演隊の要件を帶びて長春

新棋戰（其六）

本社特選

平手　香交　七段△溝呂木光治
平手　番　六段▲山北孫三郎

【圖は二三金迄の局面】

△溝呂木氏「持駒」銀歩歩

▲山北氏「持駒」銀歩歩

▲二四歩●　△同　金
▲二三歩　△二七歩
△同　飛　▲二六歩
△同　飛　▲二五歩
△二九　飛　▲二三金

【土居八段講評】△圖面の場合山北君は一旦七九角さ引いて敵の二筋を狙ふ手段あれど二六歩同飛、三四桂さ手順に跳られて豫防さるゝ憂へあれば、本譜の如く直に二四歩と突き捨て二三歩と打捨て、烈しく攻勢を繼續したのは頗る活氣ある良策である。

【荻原六段解說】山北氏の二四歩は次に二三歩打にて、以下先手を取る意味であつて飛車の活用を圖つてゐる。溝呂木氏の二七歩以下の應手は二二桂を助ける手段である。山北氏の二九飛は手順に敵の七三角出を避けたのである

羽根フトン專門　勝山洋行　連鎖街京極　電三三二八番

キネマと演藝

學生デー獻金　日本廿六聖人

大連社員倶樂部主催の大連中等學生映畫デーは來る十、十一日の兩日協和會館に於て日活超特作品時代劇「日本廿六聖人」十九卷を上映、今回は特に特別デーさして戰死者遺族慰問のため會費を二十錢となし、そのうち十錢を獻金し費用不足分は倶樂部にて負擔することになつた、各學校の割當は十日午後一時から彌生、技藝、家政、同六時から一中、二中、十一日午

ダイナマイト　セシル・B・デミル監督のメトロ社部分トーキー十三卷で炭坑爆破の音響効果が期待される、俳優はコンラッド・ネーゲルとケイジョンソン孃とチャールス・ビックフォードの三人が共演してゐる【映樂館開館興行に上映】

滿鐵社員消費組合の撤廢運動再燃す

奉天商店協會がけふ總會を開き全滿商人の注意喚起

過日大連商工會議所より軍部に具申せる滿蒙産業確立策のうち對內的希望の一項として滿鐵社員消費組合改廢問題を加へてより多年滿洲商人の目途としてゐた滿鐵社員消費組合撤廢問題は各商人間に再燃し奉天商店協會においては擧て該問題について寄々

協議中 のところ七日委員會を開催、滿鐵社員消費組合撤廢運動に就いて協議をしたが、九日に再び臨時總會を開き組合撤廢問題に就いて全滿商人の決意を喚起し徹底的運動を起すべく、七日の委員會で決定した左の如き要旨の勸誘文を

各方面 に發送し九日大連商議にも同文を送り撤廢運動に就いて支持を求めて來た、右大要は左の如くである

滿鐵社員消費組合改廢問題に關しては客年滿洲經濟聯盟に於て目的を達成すべく鋭意努力を續つたが遂に效果を果さなかつた今日の滿蒙新産業政策確立に當つて其の原動力たる在滿商人振興に就いては必要缺くべからざるものであり、この際軍部の支援を得て目的貫徹に努めたく思ふが軍部においても今日までの軍事行動を以て滿蒙政策の一段落さする模樣であるからこの機會に各關係方面においてこの運動に合流目的貫徹に努められたい

歐洲航路への社外船進出

ポンドの慘落により早くも拔差しならず

ポンド爲替は歐洲大陸市場の賣物續出のため連日崩落の一途を辿つてゐるが九日入電の英米クロスは三弗二十五仙八分の七に暴落、十年來の安値を現出した、これがため正金では對英建値を八分の五方引上げ三シル零ペンス四分の一に引上げたが右建値は我國幣制確立以來の

最高値 であるといはれてゐる、かくの如くポンド爲替の異常なる慘落により、貨客運賃にポンド建を使用する內外の各船會社は何れもその運賃收入に於て採算が立たず困窮の深淵に彷徨するのやむなきに至つた、就中最も顯著なる實例は世界的一般財界の打續く不況による荷動き激減のため必然的に生じた過剩船腹を消化する窮餘の一策として、滿洲特産物の歐洲船輸出を企てた郵船、商船を除く一般社外船主である、山下三井、國際、大汽を始めこれ等社外船主は何れも近海大型船の遠洋進出を以て海運界不況打開の一途となしてゐたが、滿洲事變直後の銀價の

奔騰や ポンド爲替の激落等で一時買見送りの姿にあつた歐洲筋が、十月中旬より十一月初旬にかけて反動的に滿洲大豆の買進みに轉じ、一時的ながら多量の成約をみたのに好機逸すべからずとして、或は大連に或は浦鹽に於て、それぞれ大豆滿船物の積取りを行ひ郵船商船を壓倒して異例的な活況を呈してゐた、然るに一時安定したかに見えたポンド爲替はその後逐日軟弱步調に轉じ落潮沿々として、崩落また崩落遂に三弗二十五仙臺に墜落したので運賃收入の上よりみれば全く採算點の外にあり、かくて社外船主の歐洲航路への配船は全く手も足も出ぬ窮境に陷り

僅かに 獨逸船、諾威船が鬮當り十六志を以て五百噸乃至千噸といつた小口物を積取り居るに過ぎない有樣であり、浦鹽積も略同樣の狀態である

印度で莫大小製造計畫

【東京九日發】印度國産工業發展組合はボンベイ工場內にメリヤス製造計畫を樹て機械購入を申込んで來た

大連會屯金融組合の業績

十一月中における大連會屯金融組合の業績左の如し(單位圓)

▲預り金

項目	金額
本月中預入金	六、五三九
同拂戻金	六、一三二
月末現在高	九、一五八七
前月末比較	增 四〇八
本月中預入洋	一八、〇七三
同拂戻洋	六、三四六
月末現在高	二二四、二八二
前月末比較	增 一一、七三八

▲貸付回收

項目	金額
本月中貸出金	一四、一一〇
同回收金	四、七二〇
月末現在高	九二、二五〇
前月末比較	增 九、九九〇
本月中貸出洋	一〇、七二〇
同回收洋	一二、三〇〇
月末現在高	一二三四、〇五〇
前月末比較	減 一、五八〇

米棉繰上高

【ワシントン八日發】アメリカ國務省調査によれば十二月一日現在新綿繰上高は千五百二萬三千四百五十一俵である

獨逸の年末經濟難局切拔緊急令

【ベルリン八日發】ドイツ政府の年末經濟難局切拔けの新緊急令は八日大統領の署名を受けた、右は各種物價、俸給、家賃、一般債務等に强制引下を要求し廣範圍に亘つて一種の經濟國家管理を行ふさ同時に國內の不安動搖を防止する治安機關の非常活動を規定するものである

內容

【ベルリン八日發】ドイツ政府緊急令の內容左の如し

一、鐵石炭等組合協定値段あるものは七月の時價を基礎としその一割を減じて公定市價とす
一、電氣瓦斯水道運送等公益的諸事業料金は二割五步減額
一、家賃一割乃至一割五步引下ぐ
一、他の一般小賣物價は物價委員會の決定により引下ぐ
一、公私の債務は其の三分一乃至二分の一を減ず
一、雇傭者賃銀は一千九百二十七年一月を基準として其の一割を減す
一、官吏の俸給は九步減俸
一、營業稅は引き上げて二步とす
一、外國逃避資本を嚴重に取締り租稅回避の爲外國に滯在すと認めらるゝものは四ケ月以內に歸國せざれば所有財産に二割五步を課稅し且つそれより遲れて歸國せるものは懲役に處す
一、個人所有武器軍用品を沒收す
一、警官の權限を臨時擴大す
一、定まりたる正服着用者多數の集會を禁ず

獨外相の言明

【ベルリン八日發】ドイツ首相は八日ドイツの經濟難局につき左の如く言明した

ドイツは國難に際會してゐるが余は飽くまで憲法の秩序維持に邁進せんとす。若し國內に動搖起る場合は嚴令布告も辭せぬ最近國粹社會黨の行動は目に餘るものあり、ヒットラーの補佐役達の間に氣儘な政治的企てをなしてゐるは眞に心外である、吾人はこの際各國の爲政當局へも賠償金問題に關し妥當ならざる方策を見合せられ度き旨切望す

宋子文氏の豪語

關稅に手を觸るゝ者あらば全滿稅關を閉鎖せよ

【パリ八日發】支那代表部は宋子文の聲明として左の如く發表した

國府財政部は若し關稅收入に手を觸れんとする者あらば在滿稅關を總て閉鎖せよと命令した、若し日本がこれに支障を與へる如きことあらばそれより起る廣汎な影響は日本がその全責任を負ふべきものである

卸賣市場 十一月中の賣上高

市設中央卸賣市場の十一月中における賣上高は點數一萬六百四十六點・金額七萬六千二百十圓にして前月に比し點數六千二百七十二點金額一萬三千八百四十七圓を減少した、これ內地より果實類の輸入增加を示したが、州內製産品が愈々終末期に入りて入荷急減した結果にして前年同期に比し點數二千二百四十七點、金額六萬一千二百二十圓を

入荷量 も減少を示しつゝある、その他地物の減少に代りて內地より大根、蕪、水菜、青葱などの入荷あるも是また安値は免れずして大根、蕪は一貫目十五錢水菜、青葱は二十錢乃至二十五錢どころの相場を示し市況は各部に亘りて頗る軟弱裡に越月した、今各部による賣上高及び前年同期との比較を示せば左の如し(單位圓)

部	賣上高	前年比較
日本物 蔬菜	一〇、一九五	減 八、〇二一
日本物 果實	二七、六六八	減六、四一四
臺灣物 蔬菜	一、七六六	減 二三九
臺灣物 果實	三、二一四	減 六六四
支那物 蔬菜	—	—
支那物 果實	一三、三三三	減 三、三七九
朝鮮物 蔬菜	—	減 一
朝鮮物 果實	二、四三三	增 九、〇二三
滿洲物 蔬菜	一一、四三	增 七、一〇
滿洲物 果實	二〇、〇四八	
合計	七六、二一〇	減六一、二二〇

大連の卸賣物價

平均一分二厘の騰貴

十一月=大連商議調べ

大連商議調査による十一月平均大連卸賣物價は左の如く調査品目七十八種中前月に比し騰貴二十二種、低落八種、保合十八種にして平均一分二厘の騰貴を示して居り、從來の漸落傾向を覆つて斷然騰貴の模樣を示したがこの騰貴は最近の一般的傾向である、これを前年同月に對比するに一割一分八厘の低落となり更に同所基準昭和五年一月に比較するに二割八分八厘の低落である、卽ち前月に比し騰落品種左の如くである

▲騰貴 白米(滿洲特等、同一等)大豆、小豆、高粱、粟、麥粉(外國粉、日本粉)砂糖 YRO級 YP級)干瓢、鷄卵、綿糸、綿布、晒木綿、モスリン、蒲團綿煉瓦、木材(紅松)麻袋、豆油、豆粕

▲低落 白米(朝鮮特等)毛糸、セメント瓦、木材(白松)丸鐵洋釘、コークス、木炭

▲保合 押麥、馬鈴薯、味噌、醬油、食鹽、清酒、麥酒、煙草、茶、鰹節、梅干、澤庵、椎茸、昆布、筍、牛肉、豚肉、鷄肉、ハム、牛乳、煉乳、鮮魚(カレイ)鹽鮭、ネル、羅紗、木綿糸

激減

したのは泉州蜜柑が荷受組合の組織により輸入の統制を圖り該組合の擬ひとなつた結果當市場への入荷を見ざりしと地物林檎の貯藏品多くして朝鮮物の入荷運延したのに基因する、而して商況は一般財界の不況に追隨し依然軟弱を極め漸く需要期に入りたる內地生産品、就中柑橘類は時局の影響を受けて奧地取引杜絕の傾向にあるため一般に荷閊へ滯貨の商狀を辿り、從つて生産者の多數は出荷の調節上送荷を手控へつゝあるも伊豫の美津ケ濱、大分の津久見地方の

生産者 は安値にも拘らず比較的多量の送荷を示し專ら販路の開拓に努めつゝあるやうである、相場は上等品一箱三圓、下等品一圓五十錢にして昨年よりも約二割方の安値に當る、富有柿は安價品たる山東柿に押れて需要不振なりしも月末は山東柿の終末により賣行稍良好にして一箱三圓五十錢どころを示した、蔬菜部にありては泉州物に代りて入荷したる北海道玉葱、冬期向貯藏用の馬鈴薯の如きは大部分の顧客が奧地なる關係上同方面の取引逼塞せる昨今の狀態にては自然相場も低落を餘儀なくし從つて

セメント、石灰、板硝子、亞鉛引平板、銅塊、銑鐵、疊表、塗料、石炭、薪、石油、ガソリン燐寸、酒精、石炭酸、苛性曹達牛紙、洋紙、塵紙

更に類別にする騰落を示せば左の如し(對比一〇〇)

類別	前月	前年同月
穀菽及蔬菜類(十一品)	一〇五、六	八三、三
調味及嗜好品(十三品)	一〇〇、六	八六、三
雜食料品(七品)	一〇〇、四	一〇八、一
肉類及魚類(九種)	一〇一、二	八六、九
衣料品(九種)	一〇一、五	八九、六
建築材料(十三種)	九九、七	八五、三
燃料(七種)	九六、〇	八〇、三
雜品(九種)	一〇三、〇	八八、三
總平均	一〇一、二	八八、二

輸入品目の分類と稅率

上海總稅務司で決定

八日在上海橫竹商務參事官より當地商議に達せる報告によれば上海總稅務司は左記輸入品目分類並に稅率について左の如く決定した

一、金屬クラウン、コルククラウン、コルクにしてコルク付完成品として輸入されたるものは輸入稅番六百四十七號を適用す、但し牛製品(卽ちコルクを附せざるもの)として輸入せられるものは輸入稅番百七十二號を適用す

二、鐵付箱、鐵付小型ブリキ箱は輸入稅番二百十五號を適用す

三、鐵削屑は細粗の列なく輸入稅番五百六十五(J)を適用す

四、石油罐のみにて輸入さるゝ石油に對しては各罐五米カロン(箱なし)二罐に付輸入稅金單位一、四一を課す

五、護謨浮標、水泳用直徑二十二吋の圓型浮標は輸入稅番六百四十號を適用す

六、ハンケチ、拔きかゞり細工あり輸入アイリッシュリンネル製婦人用ハンケチは輸出稅番百九十六號を適用す

金本位制の惱と金爲替準備

(二) 金爲替の意義と性質

舊い意味における金本位制度に對して新しき金本位制度たる金爲替準備が、貨幣制度史上、大戰後に現れた大きな現象なること並にその成立理由は前回に指摘したが、一體金爲替準備とはどんなものであらうか?

◇

先づ在來の金本位制度が、金の一定量を貨幣價値の單位と定め、國內に對しては紙幣と金との兌換又は國外に對しては金の自由な流出入を認める見地において、それが國際金融の中心市場に存在し、而も國內正貨の

ところで茲に金爲替といふのは單に金によつて請求權を授受される爲替なら何でも差支へないかといへば決してそうではない、通貨政策的見地において、それが國際金融の中心市場に存在し、而も國內正貨の代用たるべき主旨によ

◇

替を以て充てやうといふのであるが、この金準備の代りに金爲替準備が必要となるが金爲替準備においては、從つて金準備卽ち金貨の準備を原則としてゐることいふまでもない、從つて金準備卽ち金貨の準備を原則としてゐることいふまでもない

に代つて通貨發行準備にあてらるべきものでなければならぬ、されば一般的の在外殘高や在外資金とは性質を異にし、政府資金でも通貨政策上、通貨準備に充てられないものは金爲替とはならない

◇

さて中央銀行は、この金爲替を正貨と同樣に取扱ひ、これを正當に爲替を通じて通貨の對外價値を維持することが出來る、これがあるために假令對內的には金の流通や金の兌換が行はれなくとも、よく貨幣價値の單位を常に一定分量に依存せしめ金本位制度の機能を保持することが出來るのである、かくて金爲替は對外關係において

れることゝ、並に政府又は中央銀行の所有管理に屬することを條件とせねばならねといふことが容易に理解出來るであらう

◇

ところで金爲替の保有形式はどうしたらよいか、今日之に關する種々の陰影は恐いて金爲替準備にも及ぼされてゐるが茲では今日迄における保有形式を述べるに止める

◇

總括的にいへば金爲替準備における金爲替の保有形式は一樣ではない、元來金爲替は旣に述べたやうに一定の金分量の單位によつて評價され授受される爲替であつて金たることを必要としない、たゞそ

のであり金に對する請求權を有するものであればよい、そこでかくの如きものとして保有されれば凡てこれを金爲替と認むべきださされ、從來の所ではこれ以上更に積極的に規定されてゐないのである

◇

これを實際についてみれば或は外國爲替手形、外國中央銀行又は外國普通銀行における金や當座預金や特別預金、外國銀行兌換券の外國際金融市場におけるコール、大藏省證券などの如き形式にて保有され得るのである、これを要するに確實に金を受領し得る權利を內容とするものであれば十分だといはれる、ジエノア會議では一九二二年に金爲替準備問題を取扱つた

かくの如く金爲替準備における金爲替には今日までのところ、その保有形式においては殆ど規定されるところがない、そして金爲替準備では金爲替たる限り無制限に一般發行準備に繰入れられるものではなく、また從つてその反面においては外國爲替買入のために通貨は無制限に發行されることを原則とする、又は外國發券銀行又は外國普通銀行に利附預金として預託することが出來、必要に應じてはその移轉も行ひ得られるものであることを

中心市場において保有される優良資産と謂すほか特定な規定はないといふことである

寒塵

◇…市內では早くも歲末大賣出しを開始したが市中商人は金融の逼迫と手持品の賣行き不振で四苦八苦の態である。

◇…加之賣掛金の回收成績はまつく惡く足を棒にして集金に廻つても得るところは極僅かだとこぼしてゐる。

◇…隨つて仕入代金の支拂ひにも事を缺ぐやうになりこの狀態で行つたら年の瀨をどうして越すかと頭痛に病んでゐる店も多い

◇…ところが一面今次の事變で內地の問屋側も滿洲方面に對する賣掛金の回收については非常に同情と理解を持つて吳れるので割合に樂だとの話もある。

◇…今度のやうな非常時に際し權利義務だけを楯にとつて爭ふことは人間味のない話だが日滿商人間に斯うした相互扶助的な措置が講ぜられるのは喜ばしいことである。

市場電報

銀塊及爲替

(相場表 — 倫敦銀塊、紐育銀塊、孟買銀塊、スチール、アナコンダ、英米爲替、米日爲替、米支爲替)

棉花

●米棉 現物 十二月 一月 三月 五月 七月 十月
●印棉 ベンゴール ブローチ

市況(九日)

特産 銀安を移し大豆强調

今朝の定期は銀安を移して大豆油、豆粕、豆油は一齊强調を呈したのみは添はず軟調を追

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强調)單位 ▲豆粕(强調)單位 ▲豆油(强調)單位 ▲高粱(軟調)單位

◇現物前場(銀建)

錢鈔 弱人氣のため當市緩む

今朝海外銀塊は倫敦近物二十六分の十一(十六分の三高)紐育二十九仙八分の五(八分の一安)孟買六十三留比十六分の三高)と區々なる海標金も軟弱な傳へたが、弱人氣にて一圓擱み落した七十三兩九二五、大洋百一圓八十錢、米米スニ十五仙八分の七(八分の一安)米日四十九弗五十六分の十一

◇定期前場(單位錢)

定期喰合高(八日)

品目	數量
大豆	三八三六車
高粱	一〇〇八車
豆粕	四三四五千枚
豆油	四五六五五百箱

株式 內地株軟弱當市保合

商品 麻袋變らず綿糸弱保合

物貨在高頭埠

(十二月二日現在、本年ノ本日・昨年ノ本日 對照表 — 大豆、豆粕、豆油、高粱、粟、小麥、麥粉、セメント、鐵、石炭ほか)

上海爲替情報

上海標金

爲替相場

手形交換高(九日)

奧地市況

特産各地特産發送高

大連埠頭到着高

（明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可）　昭和六年十二月十日

號外

この號外は本紙に再錄しませぬ

理事會公開會議

今曉一時（滿洲時間）開かる

ブ議長決議、宣言兩案を朗讀

討議はけふ午後行ふ

（パリ九日發至急報）理事會公開會議は本日午前十二個國會議の結果午後五時（滿洲時間十日午前一時）佛外務省時計の間にて開會ブリアン議長決議案及び議長宣言案を讀みあげ芳澤代表は訓令未着を理由に決議と宣言との討議を明日に延ばすことを提議、本日の公開會議は同五十五分散會、直ちに秘密會議に入り理事會經費問題を討議した、明十日の公開會議は午後四時卅分開會の筈

支那代表の聲明方針

【パリ九日發】公開理事會で支那代表は左の如き聲明をなすと傳へらる

一、日本軍の速かなる撤退を要する聲明をなす

一、聯盟規約第十五條又はケロッグ不戰條約、九國條約の適用を求める權利保留を聲明をなす、なほ若し議長宣言にして匪賊討伐に關して言及せば日本の支那領土内における警察行爲行使の國際法違反を聲明する權利を保留す

理事會決議案の全文

【パリ九日發至急報】十一月十六日第三回理事會議がパリに開かれて以來四週間に及んで居るので一般興味も大分薄らぎ本日の公開會議も大として人氣がない、施肇基代表は會場たる佛外務省時計の間の次の控室にて芳澤代表と仲よく握手を交し更にドイツ代表フオン、ムチウス氏と共に控室に入り定刻五時まで何事か話を續けて居た、芳澤代表は會場で唯だ一人悠々と煙草をふかすので有名となつた葉卷を今日は口にして居ないのが人目をひいた、ブリアン議長は定刻着席、イタリー代表シヤロヤ氏その右に、ドラモンド氏その左に日支代表着席、三分後ブリアン議長は愈々開會を宣し、先づ今朝逝去したイタリー元首相サラントラン氏に對し深甚なる弔意を表したサラントラン氏は聯盟成立に大いに貢獻した人物だ、ついでブリアン議長は理事會決議草案を朗讀したが、全文左の如くである

一、聯盟理事會は當事國が嚴肅に遵守すべきことを宣言したる一九三一年九月三十日理事會全會員一致可決の決議を再び確言す

二、理事會は其故に日支兩國政府に對し該決議の履行を確保し、日本軍の鐵道地帶への撤退が該決議に示されたる條件に從ひ可及的迅速に實行され得る上に必要なる總ての手段をとるべきことを要請す

三、十月廿四日の理事會々議以來事態が更に惡化せるに鑑み兩當事國に對し此上更に事態を惡化せしむべきことを避くるに必要なる一切の方策を執り且つ更に兩當事國は互に能動的行動（イニシアテイヴ）即ち戰鬪に導き及び人命を損傷するが如き如何なる積極的行動をも執らざるべきを約せる事實を認む

四、理事會は兩當事國に對し事態發展に關し理事會に絶えず報告することを要請す

五、理事會は他の理事國に對しその代表が現場で得た情報を理事會に提出すべきことを要請す

六、理事會は如上の諸方策の實行に關係各方面の特殊なる事情に鑑み兩當事國間の紛爭問題と兩國政府が最終的に且つ根本的に解決すべきことに貢獻すべきことを希望し委員五名の委員會を任命して現地を調査せしめ且つ國際關係に影響し日支兩國間の平和に基く兩國間の良好なる諒解を破壞する虞あるが如き總ての事情を理事會に報告せしむ

七、來る一月二十五日開會の次回理事會迄理事會議長は日支問題の進展に注意し必要なる場合には理事會を召集す

議長ブ氏の宣言内容

右聯盟終つてブリアン議長は議長宣言として左の如く聲明した

決議案第一項に關しては理事會は九月三十日の理事會決議に最大の重要性を帶ばしむるものなり、第二項に就ては日本政府は日本軍が撤退せんとする南滿洲鐵道附近のみならず現に日本軍の駐在する地點近接せる地區における日本國民の生命財産の保護を確實にする決意を有するものと思考してゐる、蓋し日本軍は速かに撤退すべくそれと同時に日本軍に依る保護は終了するものである、第四項に就ては中立オブザーバーは常に兩當事國と接觸を保つべきものである、第六項調査委員會の權限に就ては理事國には何等制限はない、然し右調査委員は軍事行動、又は日支兩國の直接交渉に一切干與するものではない

匪賊討伐權には言及せず

【パリ九日發】本日公開會議席上ブリアン議長が朗讀した議長宣言草案中匪賊討伐權の留保に關しては何等言及されなかつた、右は問題未決定のためである、而して右留保の部分を芳澤代表が受諾すれば十日の會議にてブリアン議長が讀み上げ日本が受諾出來ざる場合は右の個所は葬り去らるる筈

滿洲日報
發行所 株式會社滿洲日報社 大連市東公園町

和平交涉により根本的に解決したい
わが軍使との會見以前に馬占山と語る

【海倫特電八日發】馬占山と胸襟を開き黑省問題を平和裡に解決のため身に寸鐵をも帶びず馬占山の本據地海倫訪問の我軍使その他一行十九名は準備その他のため四時間を遲れ七日夜八時二十分目的地海倫到着、謝黑軍參謀長、劉民政廳長等の出迎へをうけ物凄い戒嚴令下を通過、會見場所廣場に落ついた、午前零時馬占山は十數名の親兵を隨へ應接室に現はれた 彼は一見四十五、六身長五尺足らずの小男、黑色の粗末な支那服を身につけチチハル以來の心痛に面やつれ我軍使その他に挨拶記者の請ひを入れ快よく語る

日支兩軍は非常な誤解から事端を起したがこれは戰爭ではない、黑軍は日本側との衝突を決して欲しては居なかつた、大興、三間房方面の衝突は余の命令が部下に徹底せず黑省の不幸を招來した、東四省は日支共存共榮飽まで平和裡に收めて行かねばならぬ、現在のまゝ放任出來ぬ、和平交涉により平和に解決したい、日本新聞通信社の力により日支兩國民の敵視感情を和らげ、誤解原因を追究、黑省のみならず滿洲問題を根本的に解決し度い、張景惠氏は余に使者を送り平和解決を希望して居る、余も贊成だ、余は日本と敵對するを好まぬ、一兩日來風邪で遠來の客を出迎へなかつた點は幾重にも御詫びする

記者との會見を終へ別室に我軍使と膝を交へ胸襟を開き同零時三十分より黑省解決の大問題を討議した、圓滿妥協か、物別れか、三時間に亘る重要會見は終つた、馬占山は所信を遺憾なく打ちあけ意思の疏通出來た模樣で同三時會見は終りを告げたがわが軍使は語る

馬は物判りのよい男だ、黑龍江省の反抗態度は本人の意思ではない、會見の內容は滿足だといふ外に語れぬ

馬は今回の會見により滿足な意思の疏通を見たので二週間內にチチハル入城の決意を固め八日朝秘書謝康を張景惠の許に送り具體的の打合せ中、圓滿解決の日は近い【寫眞は馬占山】

支那に學生恐怖時代
學生の襲擊を恐れて各官廳全部がら空き
南京市內の空氣險惡

【南京特電八日發】南京は今や學生恐怖時代を現出し市內は空氣險惡で學生襲擊の噂に怯え各官廳の高官連も窃に難を避けてゐるので各官廳はがら空の狀態で襲擊を避けるにはこれが最上の手段とされてゐるが昨日も學生團數百名は警備司令部を襲擊包圍したが司令部が餘りひつそりしてゐるので門を破りて內部に侵入して見れば騷擾を警備する任にある司令部は猫の子一匹ゐない空家となつてゐるのに學生も啞然として引揚げた、一方これ等學生は組織統一完備し集會場所は自分等の手で嚴重警戒し見張りを立て、絕對外來者を入れず水も洩らさぬ警戒振で會合は一切秘密にし昨日も數名の巡捕が會合に臨檢せんとしたところ却つてこれを逮捕し將にリンチを加へんとしたが穩和な學生の仲裁で難を免れた程で支那全國を擧げて全く學生の手に歸し學生恐怖時代である

政府、學生へ告ぐる書發表

【上海特電九日發】國民政府は八日次の如き全國學生に告ぐるの書を發表した

國家は今危急存亡の時にある全國一致して之に當らなければならぬ而るに近來靑年學生は敵陣の逆宣傳に中傷され常軌を逸した擧動に出てゐる所謂中日直接交涉、錦州中立說、天津共同管理說等政府は未だ主張したことがない、而るに敵方の宣傳を集め我愛國靑年を惑し靑年は感情に激しこれ等の反宣傳を根據として政府を疑ふことは痛心に堪へない、靑年が學業を放棄しこれ等の犧牲とならん、この國難時機に當り社會秩序を武力準備交通機關等を破壞するは敵國及び共產黨に漁利を占めさすものである、最近學生は停車場を占領する等色々暴行を働き甚だしきに至つては三民主義打倒、國民打倒の反動傳單を公然撒き共產黨の標語を叫んでゐる、斯る行爲は遂に國を亡すであらう、政府は斯る危急になつては政權に基き安寧秩序を維持し反動行爲ある者を絕滅する、願くば靑年は規律を嚴守し共に外部を防ぎ救國の目的に達せられたし

各地における狀況
濟南でも停車場占領

【上海特電九日發】特に支那全土を擧げ學生恐怖時代を現出せんとしてゐるが各地の主なる狀況左の如し

廣東 廈門大學生團は二日夜廣東着以來中山大學生と合併し四日市全大會に「東三省に出兵し、失地回復すべし」「對日宣戰布告」「張發奎を馬占山援助の爲め北上せしめよ」等請願したがこれに對する大會の回答を不滿とし總罷業をなり六日學生團は連名を以て蔣介石に直ちに北上せよと打電した、七日は廣東市內で示威遊行を大々的に擧行の豫定であつたが官憲の取締嚴重の爲めお流れとなつた

濟南 學生團は五日朝以來停車場を占領し津浦線列車の運行を妨害したので津浦線は全く不通の狀態にあるが學生は

一、國民を代表せざる政府を除け
二、無抵抗主義は亡國主義なり
三、政府に失地回復を督勵せよ

等の標語を稱へ居り漸次反政府の色彩濃厚となりつゝあり

北平 では昨日二千餘名に赴京を許し列車を出したが殘りの學生は各地の代表と合して屢々張學良邸に押掛け請願をなし形勢益々惡化の兆がある

濟南學生團
南下に成功す

【北平特電九日發】濟南來電に依れば濟南學生請願團十四校二千餘名は七日も終日停車場を占領してゐたが八日は全省各學校に通電を發して應諾を求めると共に再び代表を韓復榘の許に派して發車を請願した結果遂に目的を達成午後六時三十輛を連結列車に乘込み漸く三晝夜と十三時間目に濟南出發南下した

蔣顧兩氏協議

【南京八日發】學生襲擊の恐怖に依り本日も外交部はガラ空で靜まり返つてゐる、雲隱れしてゐた顧維鈞氏は本日午後何處からともなく飄然と蔣介石氏のもとに姿を現し蔣氏と種々學生對策を協議の結果一層警戒を嚴にし九日から空家の外交部に姿を見せるらしいが顧氏は自己の辭職の故は學生の威嚇に依るものでなく全く事務重任に堪えぬ爲めだと聲明した

黑龍江軍の主戰派
我軍と一戰を企圖
軍費を馬占山に提供

さきに馬占山は主戰論者たる徐寶珍及び田魁陞を免職せしめたとの報あつたが徐寶珍は免職せられざるが如く、又一部の移動を見るに至りしは黑龍江軍の人心を新にして更に我軍と一戰を期すべき企圖あるが如し、又ハルビンの中國銀行は張學良の强要によりハルビン保管の鹽稅を二回に亘り合計四十五萬元を馬占山に提供した【奉天電話】

上海抗日民衆會
總罷業計畫
共產黨の活躍熾烈

【上海八日發】抗日救國會が反日を擴大して國民政府要人攻擊に轉換しつゝある機會を利用する共產黨の躍進が近來頓に著るしくなつて來た、彼等は抗日會に對し上海國民抗日民衆會なる名稱を用ひ對日民衆運動の假面の下に國民黨攪亂、要人襲擊等の陰謀を進め直接行動をモットーとしてゐるもので基督敎靑年會と郵務工會の急激分子が中心となり共同租界の支那基督敎靑年會館を根城とし連日極端激越なる反日宣傳をなしてゐるので、本日日本總領事館より工部局の注意を喚起したが、工部局でも靑年會館內の策動とて手をつけ兼ね取締困難だといつてゐる、なほ彼等は左の過激な決議を通過した

一、蔣介石が本月五日南京で逮捕した學生を銃殺したことを暴露して徹底的反省の烽火を上げる
一、來る十一日より學生勞働者商人の反日總罷業を開始し十三日運動擴大のため民衆大會を開くこと

對日戰備を充實して錦州に依然大兵集結
正規兵別働隊八萬を擁す

【北平八日發】錦州方面の支那軍は逐次對日戰備を充實し錦州を以て東北軍最後の防禦地として愈々開戰の場合は打通線と北寧線は溝帮子以東を放棄し大凌河間の最堅固な陣地により項羽の破釜沈船の故智にならひ錦州の集結を固むる事とし榮臻麾下の正規兵三萬と別働隊五萬の大軍を擁し居り正面衝突は免れぬ形勢である

張學良愈々下野か
某國公使に泣き付く

【天津九日發】我軍の錦州攻擊の決意固く形勢愈々切迫したので張學良は全く進退に迷ひ某々國公使に泣き付き活路を拓かんとしてゐるが或は錦州衝突前に下野するに非ずやとも見られるに至つた

錦州へ武器彈藥を輸送

【天津九日發】張學良は愈々錦州の一戰を決意せるらしく昨日來武器彈藥を十三貨車に滿載して輸送し現金六十萬元を錦州へ送つた

山海關方面形勢惡化

【天津九日發】山海關方面の反日空氣險惡化し我が守備隊出入支那人五十名は支那側に監禁さる

馬軍の戰死者

第〇旅團の調査によれば大興の戰鬪に於ける馬占山軍戰死傷者は千百四名そのうち將校六十五名、下士五十名である、別報によれば馬占山軍の損傷は莫大にして目下敗殘兵收容中なるも范崇穀旅團は僅に三千程志遠旅團四千吳松山旅團三千衞隊旅、補充旅團合せて千名足らずであると【奉天電話】

天津租界の戒嚴令を解く
桑島總領事から布告

【天津八日發】支那町は謠言依然流布され租界內居住民にも影響あるため桑島總領事は七日左の布告を發し人心の安定に努めてゐる

十一月二十六日來租界に戒嚴令施行され居りしところ十二月五日午前零時これが解かれるについては商民徒らに恐慌することなくその業に專念されんことを望む

排日から反學良へ
北平學生運動の動向
未だ結束鞏固ならぬ反張各派

我帝國政府の代表機關たる海軍武官室に爆彈が投下されて以來、東城一帶における邦人區の警戒は益々嚴重となり、目をつけられさうな邦人住宅は少くも二人多きは十餘人の巡警保安隊が晝夜の別なく張番して水も洩らさぬ嚴戒振りであるが、いふ迄もなくこれは邦人保護は表看板で、若し邦人に對する不祥事件が起れば御大のお膝下がぐらつき、最後の地をも失ふことになる危險を防ぐためなのだ牛町又は一丁每位に必ず數名乃至十數名の武裝巡警が警戒の眼を光らしその他に騎馬隊、自動車隊等が幾十組となく市街各地を飛び廻つてゐる有樣は無氣味だ、第二の爆彈、第三の爆彈が何時何人に用意されてゐるか分らないのだから

×

滿洲事變以來、暴動の起るを恐れた公安局は市中の排日挑發的宣傳ビラ標語等一切を剝ぎ取つてゐたが、一日から目拔の街路を走る電車の側面に相當露骨なビラが張られてゐる。公安局が餘りに邦人保護?に夢中になつたため此方面の取締が閑却されたのか、或は公安局の手の及ばぬ程に反日運動又は反張運動が勢ひを得て來たのかは判別出來ない。いづれにしても排日の鋒先たる[illegible]を中心に動く靑年學生の鼻息は日々荒くなり、若しこれに給料不渡の不平、軍隊の一部でも加擔するとになれば大變である。學良の牙城が崩れるのは言ふ迄もないが在留邦人の犧牲も相當大きな數に上ることにならう

×

學生運動といへば先般來既に幾組かの團體が蔣介石に對日宣戰を請願すべく南下してゐるが、最近は排日よりも漸次反張に變色しつゝあるのが看取される。南北和平會議の分裂と共產黨の魔手とに驚されたこと勿論であるが、天津における各派の新政權運動の一表現でもある。即ち今のところ、山西派にしろ、馮玉祥派にしろ、韓復榘派にしろ、急にものになりさうなものは見當らぬが、孫傳芳を中心とする舊直隸派の活動はちよいと注目に値する。吳佩孚なんて古い所は別とするも、于學忠が舊直隸派の流れを汲み、東北軍に不滿ある王樹常も滿更色氣のないともないやうな樣子、それに資金も多少融通がつきさうだといはれる

×

が何しろ各派が萬字巴の大混戰であるから、全部を集めれば相當な努力と成り得るものを各派勝手な算盤を立て、暗中飛躍し、互に牽制し合ふ現狀であるから、如何に落ちぶれた張學良と雖もまだ急には倒れない。殊に各派の代表は各自の功名と利得とに目がくれてゐるか、又はこの運動を餌の種にしやうといふ連中が多いのだから全體の空氣としてはかなりの所まで進んでゐながら容易に表面に現はれて來ない。猫の首に鈴をつける中心人物の居ないことも該運動の進展せぬ一理由であるが、蔣介石の態度にはなほ一縷の希望を繫いでゐる學良が、衰へたりともなほ鼠輩のなすがまゝに鈴を首につけさせないといふのが眞相である。【一二、二北平特信】

ベーカー氏
日本を攻擊

【クリーブランド八日發】次期アメリカ大統領に擬せられてゐる國際法學者元陸軍長官ベーカー氏は滿洲事變に關しアメリカの執つてゐる態度を生溫いとし日本攻擊の左のステートメントを發表し九國條約發動の必要を强調した

一國の貪慾を條約に依つて抑制するは國際間に無政府狀態に代ゆるに法規と秩序を以てするものである、然して若し斯る條約が遵守せられざるに於ては世界平和は幻影の上に立つものとなる日本は九國條約に調印し支那の政治的主權尊重保全を誓つた、今や日本政府は軍部の力を阻止する能力なく日本には二個の勢力が對立して居り條約も二個の政府と別に締結する事となり實際上拘束力を有しない事となるこれが正當にあらざれば斷然日本に問はねばならぬ

北寧線列車を匪賊が襲擊
全乘客の金品を掠奪
運輸課長ス氏も遭難

八日午後一時ごろ北寧線新民と柳家濤の中間において北平行き列車が十二名よりなる匪賊團の襲擊を受け乘客全部金品を掠奪された、その際北寧鐵路運輸課長スチイル氏も赤裸にされた【奉天電話】

西部沿線に兵變續發

【ハルビン八日發】海拉爾駐屯の蘇炳文の部下二百五十名は突如兵變を起し片ツ端から掠奪を行ひ武裝の儘何れかへ逃走したがハルビンの西の滿溝方面でも隊長を殺害して荒狂ひ東鐵西部沿線は今や馬賊と敗兵の跋扈の巷と化さんとしてゐる

臨時艦艇の支那派遣費支出

【東京八日發】井上藏相は支那臨時艦艇派遣費補足(十一月分)十七萬千二百十五圓の第二豫備金支出の勅裁を經て八日官報で布告した

增援隊着平

【北平八日發】天津駐屯軍の增援隊〇〇名は八日午後一時十分着列車で着平居留民の熱誠な歡迎を受けた

增稅問題を協議
臨時行財政審議會

【東京八日發】臨時行財政審議會劈頭井上藏相より稅制整理案は收入の增減なしないで整理案を樹てるつもりであつたが、その後ドイツ經濟界の變化滿洲事變英國の金輸禁止により歲入が著るしく減じたので公債だけでは支辨する事不可能となり一時的增稅の止むなきに至つたと說明し賴母木、片岡、加藤氏らの質問あり午後は一時半再開審議の結果

一、酒釀稅の部で味醂の原料として淸酒を使用する事を原則として認めず若し淸酒として釀造した時は之れを混合酒として課稅す
二、今回の非常時特別稅(三年期限附增稅)はこれに地方附加稅を課せざる事
三、左の項を原案より撤回す
イ、所得稅原案中の所得稅調查委員會の市部郡部別制を廢止一稅務署一調查會とす
ロ、小笠原伊豆七島に所得稅法を施行す

其の他原案通り可決し午後三時散會

我軍縮全權任命
きのふの閣議で決定

【東京九日發】本日の閣議で軍縮會議全權を左の如く任命した

全權大使 松平恒雄
全權大使 佐藤尙武
陸軍中將 松井石根
海軍中將 永野修身

昭和七年二月ジュネーブに開催の軍縮會議帝國全權被仰付(各通)

會九日の閣議に附して正式決定をなす筈である

昨日定例閣議

【東京九日發】九日の定例閣議は午前十時開會昨八日行財政審議會で可決した增稅案及び同整理案を承認し軍縮會議訓令案を可決午後一時散會した

陸軍首腦部對策協議
二宮次長報告

【東京八日發】二宮次長は八日午前十時南陸相を訪ひ報告をなしたる後十一時から首腦部會議を開き對滿政策につき協議した

天津外紙正論

天津よりの來電によれば本月一日來天津英字新聞は時局に關し論說を揭載してゐるが七日B、Tタイムスは左の要旨の論說を揭げた

國際聯盟施代表及び顧維鈞は日を同じうして辭職を申出で聯盟も支那現狀を看破せるもの如く、こゝにおいて支那側は一日も早く「面子」を維持し能はざることを自覺すればこれに過ぎたる幸福はない、この際支那のとるべき手段としては猶豫せず日本と直接交涉をなすか、錦州を固守するかの法あるのみで若し後者をとらんか北支那一帶をして戰時の狀態に陷いらしめるであらう【奉天電話】

軍部見舞ひに塚本長官北行

塚本長官は本庄軍司令官及び多門第二師團長、獨立守備隊司令官以下湖北の原野に奮鬪せる在滿將兵見舞ひのため十一日朝大連驛發急行にて室田秘書官、關東廳警務部巡査各一名を隨行北行の筈であるが、十二日遼陽に多門師團長以下を見舞ひ更に奉天に引返して一泊、十三日四平街に森守備隊司令官を訪問十四日午後一時二十七分奉天發同夜歸任するさ

民政黨の陣容

【東京九日發】民政黨は第六十議會に議長として富田幸次郎氏を推すに決定した、尙院內役員には筆頭總務に俵孫一氏、院內筆頭松田源治氏、幹事長に永井柳太郎氏を推すに決定したが二十日正式に決定する筈である

十河理事また入院

【大阪特電八日發】十河滿鐵理事は夫人同伴七日神戶上陸多數の出迎へを受け小憩の後神戶市葺合衞生病院に入院した、大體全快してゐるが人々の切なる勸告に應じ四五日の間同病院で靜養することになつたのであるさ

社說 支那學生運動の危險 日支國交恢復の害物

[illegible]……密外交反對、中立地帶設置反對、調査委員派遣反對、顧維鈞氏の免黜、抗日運動壓迫反對、即時出兵、對日宣戰、蔣介石北上、張學良免職、日支直接交涉反對、國民を代表せざる政府に反對、無抵抗主義に反對、失地回復等が請願の標目である。此等の題目に對しては今更めて評論するまでもない。世界の大勢を知らず、支那の國力を知らず、現在の事件の成行を知らず、而して極めて空疎な理由によりてヒステリー的感情の上に立つ愚論である事は云ふまでもない。吾人は青年學生が、貴重な熱血を、斯くの如き愚擧の爲めに空費して、而も之れを救國愛國と信ずる無邪氣な心情に對して、眞に同情の念なき能はざるものである。若し支那に偉大な政治家があるならば、學生の此の至情熱意を正當な方向に指導して、眞正な救國事業に從事せしめねばならない筈である。然るに現在の支那には、斯かる事を望むに足るべき偉人は一人も居ない。

◇要路の大官は恐れて逃げ隱れして居る。蔣介石氏の如きすら難を避けて河北に退却せんとして居ると傳へられる。只僅に國民政府から、八日全國學生に告……[illegible]……發表して其實を塞い……容は甚だなまぬるい……生が敵方の逆宣傳に……を疑ふのはよくない……にかぶれたのがある……利し共產黨を利する……の始めであるから反……は、政府は彈壓を加……は宜しく規律を嚴守し、政府と共に外侮を防ぎ、救國の目的を達するに努めよ。といふのである。斯くの如きお座なりの慰撫的聲明が何等の効果を生むべきでない事は云ふまでもない。此際最も必要なのは、世界の大勢と支那の國力との眞實を率直に說き明かして國民的內省を深くする事を勸める外に救國の途はない。支那の知識者は學生を適當に指導する熱意なく、政府は軌外の行動を抑制する力なく、只其の客氣の奔放に任せておく、實に、學生本人の爲めにも支那國家の爲めにも危險千萬な事である。而して之れが日支兩國の國交回復を益々遲れしむる原因である。

直譯的自治を廢し 現實的改善を企圖 東北に實施さるべき自治に關し 自治指導部の具體案

[illegible]……部于冲漢氏は八日布……下各縣並に奉天省城……表し自治指導精神の……示したが更に左記の……號を以て政治運用の……表した

……善政指示により各縣……完全なる地方自治制……せしむるものである……地方行政權の範圍を……し其權限を可及的に……とは從來の中央權主……中央官廳たる省政府……は縣を完全なる地方……するものである、故……する最少限度に止め……これを……して、軍閥と關係あ……一掃し、所謂縣民自……の全き運營を圖らん……り、而して今本指導……會に適用せんとする……は、近來法治國家の……採用せられつゝある……譯的適用を意味する……中國社會の文化的……件を前提として現實……目標は都市及び農村……して傳統的自治體たる……公祠－土地廟制－同……に宗教的外被を冠す……衆團體の傳統を基調……の文化的 經濟的發展……民生の向上に資せん……である、隨つて指導……面的に指導の重點を……部門は……維持……盜匪の殲滅……の改善……搾取機關の……稅廢止、負擔輕減……遇改善……贈收賄の……振興……學校の復活……交通の暢達……生產……組織の改善、殊に農……ける合作運動……るが更に施制方針の大……すれば左の如くである

一、民心を悅服せしむることゝ……およそ民衆の緣慈すべき事柄は行はない

二、民力の培養……民力休養に妨害となる事柄はことごとくこれを除去する

三、一視同仁實行すること……この土地に居るものは相互尊重し斷じて彼我輕護することを許さず、務めて信義を以て相交はり些かたりとも詐欺的行爲あるべからざること

四、廉潔政治を實行すること……各行政公吏は國家のため服務する者なれば務めてその身家を養ひその廉潔を保たしむべし、今後は必ず充分に俸給を與へ所謂優遇して法を嚴さすべきなり

五、盜匪の殲滅……盜匪の瀕々として跋扈するは各種事業が廢止されたためなり、務めて嚴重にこれが討伐を行ふべし

六、財政の公開……會計檢査をなすべき機關を設け豫算 決算の制度を敢行すること

七、經費の節約……多年の間毎年の收入は軍費に消費し民衆は眞に水火の苦しみに陷たり今後は斷じて兵を養はず、民衆をして休息せしむること【奉天電話】

邪惡を掃蕩し 極樂土建立 自治指導部令と布告

奉天自治指導部では八日省城各縣に對し左記部令第一號並に布告第一號を以て自治指導部の根本精神は過去一切の惡を除き邪惡の思想の一掃を期するにある旨通達した

部令第一號

自治指導部組織成立しこゝに自治指導部條令並に自治指導部評議會章程を制定し爾今縣知事執行を指導監督することゝせり各縣にこれを令す

民國廿年十一月十日

地方維持委員會委員長 袁金鎧

自治指導部々長 于冲漢

布告

自治指導部の至誠天日の下に過去一切の苛政誤解迷想紛糾等を掃蕩し盡して極樂土の建立を志すにありこゝに盜吏あるべからず民心の離反又は反感不信等もさよりあらしむべからず、住民の何國人たるを問はず胸奧の大慈悲心を喚發せしめて信義を重じ共敬相愛以てこの劃時代的天業を完成すべく至誠事に當るの襟懷と覺悟あるべし、謂ふところのアジア不安はやがて東亞の光となり全世界を光被し全人類間に至誠の大唱和を齎すべき瑞兆なり、こゝ大乘相應の地に史上未だ見ざる理想鄕を創建すべく全努力を傾くるは即ち興亞の大浪となり人種的偏見を是正し中外に悖らざる世界正義の確立を目差す既に三千萬民衆の吸血鬼は斃る、更に進一步して盜匪の影を沒せしめ暴政の殘黨を排除し惡稅を廢止せしめ贈收賄の惡弊を打破し產業交通の暢達を畫し宗教、教育を振興する等一々公明正大裡に運營せざる可らず

指導部は前途幾重の難關を前に大理想の實行者として無我の一道を邁進す、大眼目は善政の實施にありと雖も焦燥は避く可し古來の制度および地方的事業などを好く究め風俗民情を尊重し革む可きは革め存す可きは存し仁風靄氣、民心の歸投、火を睹るよりも瞭かなり、本部より漸次各縣に指導員を派し善政を行ふ縣民は安んじて其の指導を受く可し茲に布告す

因に自治指導部は九日同澤女子中學校跡に移轉し十日より事務開始の筈である

獨短期クレヂツト增加

【バーゼル八日發】國際決濟銀行ドイツ代表メルヒオル氏は八日顧問委員會席上ドイツ短期クレヂツトが夏頃に比すれば約二倍に激增してゐる旨を述べ然し金本位制維持には全力を擧げて之れに當る覺悟であると附言した

第一線に立つ 滿鐵社員 (2)……

不斷に襲ふ馬賊 銃を執つて警備

六日夜鄭家屯にて 五百旗頭佐一

六日四平街から鄭家屯へ！意氣一地のない話だが同車の客に兵隊さんが二名乘込んだことは、日本人に非常な力强さを與へてくれた、本社から託された二百部の新聞を汽車の停る毎に滿鐵派遣員と守備隊の兵隊さんに贈る、汽車が八面城を過ぎるころから小雨が降り出した「十二月に雨なんて珍しいことですね」から始まつた、日本人乘客の話は結局時局に進んで行き增兵決行で落つく、四平街から乘込んだ滿鐵社員が慰問品を驛毎に配布して行く、旅客列車の平常運轉で各驛共平和に仕事が進められてゐる、二時二十分漸く列車は鄭家屯に着く、新聞を抱へ込んだ記者は、驛二階の滿鐵現業員詰所を訪問した「毎日の御活動でお疲れでせう」と問ひかけた記者に、宇佐川氏は快よく答へ「いやけふから一寸一息です、遠い所を御苦勞樣でした」と煙草を記者に奬めた、それは奧地へ奧地へと入込む新聞記者の誰もが常に感ずる同胞の限りない溫情だ。

◇

軍隊が撤退したこの頃ではそれ程でもないが戰時狀態にあつたときの現業員の忙しさは想像もつかぬ程だつた、不完全なホームで何十輛といふ永い軍用列車を編成する、これ等現業員諸氏は三日、四日の徹夜は決して珍しいことではなかつたといふ「でもその時は極度に緊張してゐたし辛いなんてことは一度も感じなかつたが、漸く落ちついて來たけふこの頃始めて疲れを感じて來たね」と宇佐川氏は率直に語つてくれた、兎に角最初にこの鄭家屯に送られた人が一番困つたことは飮料水の不潔であつた、毎日の麥飯は砂が交つてヂヤリ〳〵であり、出來上る飯は勿論泥臭、しかも連日徹夜に等しい勤務をつゞけながら、時に公所の合宿に一息すれば「馬賊襲來」の報に鐵砲片手に警備につかねばならなかつたことも度々であつた、髭は伸ばしつぱなしで文字通り連日連夜の活動であつた「馬賊も良く知つてゐるんだね、軍隊の駐屯してゐる時は姿を見せないが一日でも居ないと知るとすぐ押かけて來るのだ、今だつて合宿と驛の中程にあるお寺に三十人ばかりと、村の後方に數百名の馬賊がゐるので全く油斷は出來ないよ」合宿を訪れた記者に一現業員君はかく語つた。

◇

然し今鄭家屯に居るこれ等の人々はもう馬賊の出沒に平氣になつてゐる、蒙古に近い平原を淋しくモーターカーに乘つて走る保線係の人は「馬賊の出沒は毎日のことですよ、きのふ（五日）も三村附近に現はれましたしね」と極めて暢氣に而もあつさりと馬賊問題を片つけてしまつた【寫眞は四洮線沿線に野積の特產物】

慰問金殺到に 軍部で感激 年內に百萬圓を突破

【東京八日發】在滿部隊に對する國民の感謝と同情は夥だしき慰問品と慰問金となつて陸軍省に屆けられてゐるが、東京實業家團體の第一回慰問金は三井、三菱の五萬圓口を筆頭に總計七十口十三萬五千圓が八日陸軍省に屆けられ、事變突發以來の慰問金は總額六十萬圓に達し年內には百萬圓を超えるだらうといはれてゐるが、陸軍側では前後二ケ年に亘る日露役當時の總慰問金額百二十萬圓に比し格段の相違なるに頗る感激してゐる

全滿一齊に 市民大會を開催 時局後援會が主催

在滿日本人時局後援會では八日午後四時三十分から市役所會議室において常任及び實行委員會を開催し相川委員より奉天で開催された時局聯合大會の報告あり、仙波委員これを敷衍し時局聯合大會で決議された特別委員五名、政府問責委員滿州內より三名各決定の件は九日午後三時より更に常任委員會を開いて協議する事とし尙みぎ時局聯合大會の決議に基き十日全滿各都市一齊に開く市民大會には大連においても同樣市民大會を開催に決定し同五時三十分閉會した

安東で時局後援演說會開催

全滿一齊に擧行される時局後援演說會に際し安東に於てもこれと行動を共にして十日午後六時より青年聯盟安東支部主催、安東時局民會後援にて安東劇場にて擧行する事となつた、同日は各方面を網羅した辯士の出場のため大盛況を呈するであらう【安東電話】

田原南洋長官 東京發赴任

【東京特電九日發】曩に南洋長官に榮轉した前滿鐵監理官殖產局長田原和男氏は九日朝九時五分東京驛發列車で赴任の途についた、驛頭には當原東拓總裁、太田臺灣總督、紫安、堀切拓務次官、郡山、阪谷兩局長、大淵滿鐵支社長、その他貴衆兩院議員、若槻首相夫人等多數の見送りがあつた田原長官は午前十一時橫濱發山城丸に搭乘任地に直行した

八相 投書歡迎 五十行以內

餘りの暴言 一中學生

◇私は先日この欄をみて非常に驚いた、大連の中學生の認識不足さはあまりにも暴言でもあるやうに思ふ、問はれた一中學生の答へが不正確であつたからといつてそれを以て全般の中學生に對してかくの如き言を敢てした人の反省を求めたい。

◇こんどの改正によつて二學期が十一月末までとなつたため私共は學期試驗に追はれてこれまで積極的行動は出來なかつたのである、こういへば何故試驗前にそれをなさなかつたかと疑問にするものがあるかも知れないがそれは私共中學生を知らぬものである、私共は中學生であるから中學生たるの本分において時局を注視することを怠らなかつた積りである。

◇私共は最近生徒大會を開いて決議を作成し着々その實行に着手してゐる、また事變後事變に關する講演會を數回開いた、事變掲示板なるものを作製して生徒の事變に對する智識增加に努めてゐる、あるときは兵士の歸還への出迎へに、あるときは停車場への見送りに、一々先生の意見にまたず、生徒自身の心から出る愛國心に動かされて言ひ合せて實行してゐる。

◇私共は暴言にみたやうに敢て事變に全然無關心で過ごしてゐるのではない、私共のこの事實を見るために伏見臺の學校を訪ふものがあつたら、私共は欣然として事實を見せてあげやう、暴言の主の反省を待つ、しかしこれはすべて私共生徒の意見であつて先生の意見でないことを明記して置く。

廣東代表出發 和平會議に參加

【香港八日發】廣東代表孫科、陳友仁、李文範各氏は今夜當地發上海へ向つた、同地で汪精衛等諸氏らと打ち合せの上南京に赴き和平會議に參加する筈で伍朝樞氏の參加は未定である

前助役退職金 五千圓可決 修正案が出て一紛糾 喧噪裡に市會遂ひに流會

大連第六十二回市會は八日午後二時四十分より議員三十二名の出席を得て開會された、直に日程に入り

▲第一號 區長代理者辭任の件 ▲第二號 區長辭任の件を一括して上程、小川市長登壇 日出町區長代理者濱野重雄は市外へ轉居のため十一月十五日、明治町區長高橋利吉は病氣のため十二月四日各辭職の儀願出がありました と報告次いで

▲第三號 退職給與金支給の件を上程、小川市長再び登壇 前大連市助役永井準一郎は十一月十日退職したが昭和五年四月就任以來在職一年八箇月間、その功勞に酬ゆる爲め有給吏員退職死亡給與金規則により退職給與金五千圓を支給したいと思ひます、何卒御贊成の上御決定を願ひます と說明、これに對し

仙波議員 五千圓の算出基礎をお訊ねいたします

眞鍋總務課長 助役の退職給與金は從來市長の半額となつてゐます、前田中市長の退職慰勞金は一萬五千圓でしたがその半額とすれば七千五百圓になります、併し永井助役は病氣その他の事故が多かつたのでそれ等を斟酌し五千圓として提案した次第であります

芦刈議員 眞鍋總務課長は七千五百圓が至當であるも五千圓にしたと云はれてゐます、それは病氣その他で休んだが功勞を認めたいと云ふ結果になります、私は助役も市吏員である、市吏員なれば普通市吏員並に取扱つたが好いではないかと思ふ、病氣で休んだ者を何故功勞者と認めるか

小川市長 助役は市長並に取扱つてゐます、その前例もあり功勞を認めて五千圓とした次第であります

芦刈議員 前例ありと市長は言はれるが石本前市長は三千圓で瀬谷前助役は一千圓で各追拂はれた、此點特に小川市長に考慮して頂きたい、永井助役位恐らく遊んで仕事をしなかつた人はなかつたであらう、算定の基礎が前例によるならば市の財政窮迫の今日考慮の餘地はなきものか

小川市長 事にもそれぞれ理由がある、石本前市長、瀬谷前助役の場合にもそれぞれ理由があつたので御決定になつたものと思ふ、永井君に對してはその功勞に對して五千圓が適當と思つて算定した

芦刈議員は繰返し執拗に肉薄し仙波議員また共同戰線を張り鋭く追及したが小川市長巧に應酬し敢然原案を主張するので鈴木議員は皮肉まじりに三千圓の修正說を主張する

小川市長 功勞のあるか無しは仲々むつかしい問題である、人には各々觀方があります、私は永井前助役が相當長い間勤めたのであるから功勞あると思ひます

大內議長 本案を續會に移したいと思ひますが如何ですか

宮崎議員 本案は協議會に於て相當練つた案でありますから讀會を省略して可決確定あらん事を望みます

この時「贊成」と叫ぶ者「否々」と怒號する者で議場漸く騷然となり芦刈議員は稍昂奮し乍ら三千圓の修正案、高塚議員は四千圓の修正案を各提出したが、議長採決の結果、三千圓修正案に贊成するものは芦刈、仙波の兩議員のみ大多數を以て五千圓の原案は通過した 芦刈議員餘憤醒めず「私は原案に絶對反對であります」と絶叫し紛爭裡に

▲第四號 基本財產繰入に關する件を上程する、小川市長登壇 市財政の運用上基本財產蓄積金現在高金十萬八千九百六十六圓五十九錢の內金五千圓也を吏員退職死亡給與金特別會計に繰入る可く關東州市制第十條第六號に依り本案を提出します

岡野議員と大久保財務課長の間に問答あつた後宮崎議員の動議により大內議長採決に入らんとしたが芦刈議員「議長々々」と連呼し發言を求めて登壇し議長に對し議事進行に就いて質問せんとするに宮崎議員の動議により本議員の質問を封じ無理に原案を通過させんとするは怪しからぬと一矢を酬ゐ原案に反對の意思を表示したが議長採決の結果大多數を以て可決確定し

▲第五號 昭和六年度大連市特別會計吏員退職死亡給與金歲入歲出追加豫算の件 これは永井前助役に支給すべき退職給與金に豫算の不足を生じた爲め提出したものでこれも可決確定し次いで

▲第六號 昭和六年度大連市歲入歲出豫算追加更正の件を上程、小川市長登壇 滿洲事變に關し時局後援會に補助三千圓、戰役者慰靈祭軍人慰問費に二千圓、屎尿拂下代未納金請求その他訴訟に訴訟費用として三千圓、合計八千圓を要するので六年度本市一般會計歲出豫算に追加更正の必要生じ本案を提出した次第であります

仙波議員 屎尿拂下未納の訴訟費用に三千圓を要すと云ふが現在未納高は如何程になつてゐるか

眞鍋總務課長 二萬九千四百七十一圓六十三錢になつてゐます

仙波議員 約三萬圓の未納金に對し三千圓の訴訟費用を計上し何れ丈け回收出來ると思はれるか

眞鍋總務課長 三千圓は全部屎尿拂下代未納金の訴訟費用ではありません、その他市營住宅の家賃請求訴訟費用や屎尿運搬車の小兒轢殺事件で一萬圓の慰藉料請求訴訟を受けてゐる、この費用なども含まれてゐます、何程回收出來るかの御質問に對しては訴訟の性質上豫斷が出來ません

仙波議員 訴訟を依賴してゐる辯護士は何人であるか、費用は渡して居るのか

眞鍋總務課長 五人の辯護士に依賴してゐます、費用の一部は既に支出してゐます

仙波議員 今まで渡してゐる外に更らに三千圓を渡さうとするのか

眞鍋總務課長 今まで着手料として八百三十一圓九十六錢、供託金一千百圓、訴訟印紙代二百十圓四十錢、合計二千百四十二圓三十六錢を支出してゐますがこれは豫備費の中から支出してゐます

仙波議員 訴訟は御承知の通り依賴したからとて直に効果が現はれるものでなく目下進行中しようと云ふ理由を承りたい

眞鍋總務課長 現に二千百四十二圓三十六錢をかけて効果を齎らさなかつたのにこの上三千圓を支出で結果は申上げ兼ねるのであります

▲第七號 市參事會委任事項中改正の件 この時大內議長は議員に諮り採決したが滿場一致で可決確定し更に本案を上程、大內議長より 本案は私よりの提案であります 即ち市參事會委任事項第十一號中「訴訟」を「訴訟及和解」に改正したいからなのであります と說明、木原、仙波兩議員からの質問あつた後仙波議員から修正動議出で採決の結果修正案通過、更に仙波議員の動議で議長指名左記七名の委員附託となり二讀會に移し一般質問に入つたが質問通告により鈴木議員登壇と見るや議員は總立ちとなり定員に足らぬ十三名を殘し全部退場したので鈴木議員は壇上に立往生となり遂に第六十二回市會は喧噪裡に流會となる、時に同四時

西山財務部長 健康を恢復

【東京特電八日發】滯京中の西山關東廳財務部長は市外大森の自邸に歸養中であつたが殆ど健康を恢復したので八日出張所に出動午後三時拓務省に出頭堀切次官と會見し來年度における警察官增員の俸給豫算の件につき懇談打ち合せを遂ぐるところあり時餘にして退出した

新棉收穫豫想

【紐育八日發】十二月一日現在新棉收穫豫想高千六百九十一萬八千俵で十一月一日に比し更に一萬五千俵を增加したが十二月上旬における民間豫想の千七百二十萬俵に比し三十萬俵程すくなかつた

大觀小觀

滿鐵社員またも殉職、敦化東方地區における中村、伊東兩社員一行の遭難とその最期が如何に壯烈なものであつたか▲われ等はその尊い犧牲に對して衷心よりの感謝と痛惜の意を表せざるを得ない▲と共にわれ等はまた惡鬼羅刹の如き兵匪、馬賊の跳梁に對して今更乍ら湧きあがる憎惡の感を禁じ難い▲それにつけてもこの事變勃發以來、わが國がこの滿蒙各地において拂つた犧牲の如何に大きいことさか▲忠勇義烈なる皇軍將卒の尊い鮮血が各地に彩られたことはいふも更なり、沿線各地において活躍しつゝある警官諸氏の辛勞さその犧牲も亦多さとせざるを得ない▲更に武裝せざる第一線の勇士、滿鐵社員その他の活動とその勞苦も亦銘記すべく▲その仕事が地味であり地味であるだけに一入の同情と敬意を表すべきであらう▲「霜解や蟻の巣除けて通りけり」▲聯盟理事會の印象は「日本勝てり」とある▲またその反面「われ〳〵の失敗は事實だ」と述懷した某國代表がある▲日本が果して勝つたか敗けたか、それは見る人の立場によつて違ふだらうが若し「日本勝てり」が事實とするならば▲それは「正義」の勝ちであり同時に「偏頗」の敗であると解すべきだらう▲「策多き者の敗る夜ながかな＝邪道句子」

市況（九日）

株式 內地變らず 當市も閑散

內地主力株の大引保合を入れて當市も氣配變らず閑散

後場 ◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	―	―	―	―
新豆	一〇五	一〇五	一〇五	一〇五
錢鈔	―	―	―	―
大新	一六三	一六三	一六三	一六三
東新	―	―	―	―
鐘新	二八二	二八二	二八二	二八二

特產 人氣引立ず 一般平調

後場の定期は依然として人氣なく大豆は軟調を辿り豆粕は保合豆油は軟弱を入れ高粱は弱保合極度の閑散裡に大引した

◇定期後場(銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	四九七〇	四九七〇	四九四〇	四九三〇
一月末	五〇八〇	五〇八〇	五〇三〇	五〇三〇
二月末	五一八〇	五一八〇	五一三〇	五一三〇
三月末	五二一〇	五二一〇	五二一〇	五二一〇
四月末	五三〇〇	五三〇〇	五三〇〇	五三〇〇

出來高 四十四車

▲普通大豆(出來不申)

▲豆粕(保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一七四五	一七四五	一七四〇	一七四五
一月限	一七七五	一七八〇	一七七五	一七七五

出來高 一萬二千枚

▲豆油(軟調)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
三月限	三三五	三三五	三三五	三三五
四月限	三三〇	三三五	三三〇	三三五

出來高 五千箱

▲高粱(弱保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	二七五	二八〇	二七五	二八〇
四月末	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇

出來高 六車

▲包米(出來不申)

◇現物後場(銀建)

銘柄	寄付	大引
混保(袋込四九七〇)	四九六〇	
大豆(裸物)		

出來高 三十車

銘柄	寄付	大引
普通大豆(出來不申)		
豆粕	一七四五	一七四〇

出來高 二萬九千枚

銘柄	寄付	大引
豆油	一二一〇	一二〇五

出來高 三百箱

高粱(出來不申) 包米(出來不申)

商品 綿絲先物 百圓割れ

綿絲● 大阪三品大引は期近一圓四五十錢安、中先二圓瀕み安と續落し各限共百圓臺割れを入れ當市は氣迷ひ閑散

銘柄	約定期	值段	梱數
福助	四月限	九九六	一〇

出來高 十梱

麻袋● 出來不申

錢鈔 標金保合 當市强含み

上海標金は保合を入れたるも當市は强含み商狀を呈した

◇定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	四八五〇	四八七〇	四八四〇	四八五〇
遠期	四八八〇	四九〇〇	四八七〇	四八八〇

出來高 期近七十四萬圓 遠期百五十四萬圓

◇現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	四八四〇	一一〇〇〇	一三五一〇
二時半	―	―	一〇八〇
三時半	―	―	

出來高 銀對金一千圓 銀對洋二萬一千圓

奧地市況

▲奉天票	現物	一一三一〇〇	
▲奉天大洋	現物	四九、二五	
▲開原大洋	先限	二〇三、五〇	二〇二、一〇
	現物	四九、四〇	
▲安東鎭平銀	當限	六七三	六七三
▲哈爾濱大洋	先限	六八二	六八一
	現物	三四、九〇	三五、〇〇
▲哈爾濱大豆	十一月	七六七五	七六七五
	十二月	七八五〇	七八五〇
	一月	八〇二五	八〇〇〇
▲哈爾濱小麥	十二月	一、二九二五	一、二九[illegible]

市場電報

特產

銘柄	十二月	二月
▲公主嶺高粱	五四五〇	五四五〇

銘柄		
大豆現物	三一六〇	
先物	二九七	
豆粕現物	一二〇四	
先物	三〇〇	
滿洲小麥	一五八〇	
豆油現物		

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株新	一二五四〇	一二五三〇
鐘紡新	一二〇三〇	一二〇三〇
五品先	不申	八六〇
豆信	不申	不申
豆新	不申	不申

東京株式(短期)

銘柄	東新	鐘紡
寄値	一一八八〇	一一六五〇
引値	一一七九〇	一一六九〇
高値	一一八九〇	一一六八〇
安値	一一七九〇	一一六〇〇

	鐘新	滿鐵新
寄値	二六三〇	二六〇〇
引値	二六九〇	二六一〇
高値	二六三五	二六一〇
安値	二六三五	二六〇〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	不申	六六一〇
大新	五七一〇	五七一〇
鐘紡	不申	不申
鐘新	一五二四〇	一五二三〇
東新	一六二八〇	一六二九〇
東株	不申	不申
日糖	一一九六〇	一一八八〇
郵船	不申	不申

大阪綿絲

限月	後場寄	後場引
十二月	九二六〇	九一六〇
一月	九四七〇	九三五〇
二月	九六〇〇	九五一〇
三月	九七二〇	九六四〇
四月	九八四〇	九八四〇
五月	一〇〇四〇	九九九〇
六月	一〇〇九〇	九九九〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
十二月	五三五〇	五三〇〇
一月	五五三〇	五五一〇
二月	五六六〇	五六一〇
三月	五七三〇	五七六〇
四月	五八一〇	五八六〇
五月	五八七〇	五八八〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
十二月	一九五四	一九四九
一月	二〇一三	二〇一〇
二月	二〇七〇	二〇六六

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	一九六三	一九五七
一月	二〇二二	二〇二一
二月	二〇八〇	二〇六六

神戶期米

限月	後場寄	後場引
十二月	一九八六	一九七五
一月	二〇三〇	二〇二二
二月	二〇七〇	二〇七〇

新春に相應しい水仙の仕立て方

蟹造り

今すぐに準備を（上）

いつの代にもめでたいお正月がはや二旬のあとに迫つてゐます、床の間に或は洋間のかざりとして水仙の楚々とした姿はいかにも新春にふさはしいものですが、その水仙の美しい花をお正月に咲かせやうためには今すぐ仕立てにかゝらればなりません、でその各種の仕立方や注意を安東盛氏にうかゞひました

最も大切な球の選び方

仕立てに先立つて最も大切なのは球の選び方です、先づなるべく球の固くて重く形がとゝのつて無きづなのを選ばればなりません、芽は四方にひろがつてゐるものより一列に並んで出てゐるものがよくその子球もなるべく大きなのが揃つてついてゐるものがよいのです母球の内部に子球の出來てゐるのも横にまつすぐに出てゐるのを選びます、外からさはつて見て芽の曲つて出てゐるものはいけませんかうしてよい球を選びますと一球から十本以上の蕾が出ますが、悪いのになると二三本の蕾を得る事もむつかしいのです、球の選擇がすんだら

今度は仕立て方ですが

これには水盤仕立と、鉢で土や水苔を補ふて育てる方法があり、鉢に仕立てるのはどうしても花を見るまでに一ケ月以上を要しますしお正月の裝飾としては體裁からいつても水盤仕立てにして球を切つて作る早咲法をおすゝめします、早く花を咲かせる方法として一般に行はれてゐるのは蟹造り法ですこれは球の外部に附着してゐる不潔な皮やきづのある皮をむしりとり、竹べらか小刀で（彫刻用の幅のせまい小刀ならばなほよし）球底から五分位上の所を横に片側に淺く切目を入れ、芽に傷をつけないやうにして表皮から一枚づゝ丁寧に皮を剝いで行きます、かうして芽に近くなつたら一層氣をつけて蕾を傷つけないやうに淺く切目を入れつゝ剝いで芽の大部分が現はれるやうに四分の一程の肉をのこして剝いでしまひます、この周圍の肉は花や葉の

養分を貯へるところ

ですからこれを除くと發育を妨げられて矮生になります、今度は鋭利なナイフで蕾（これは芽の一ばん内側に包まつてゐますからすぐわかります）にきづをつけぬやうにして斜に芽の葉の部分を半分位削りとります、かうすると削られた方の側は水仙のやにが出て切口を固く覆ふてしまつて發育しなくなり、殘つた方の側ばかりが發育するために自然に葉が彎曲して來て丁度蟹の足のやうに曲り、蕾だけが眞直に上にのびて花ばかりが上の方に美しく固まつて咲くやうになるのです、この際削られない葉のないやうに全部の葉をけづらないと、削り殘された葉ばかりが上に眞直にのびて不格好になります、かうして全部の芽を根元がはなれぬやうに一つ一つ注意深く切り、削り終つたら全部を水に浸して毎日一回宛引あげて切口から出る粘液（水仙糊）を脱脂綿かガーゼで拭きとります、かうして

二三日水につけて置き

ますと三日位で粘液が出なくなりますから淺い水盤に仰向きにして弱い光のあたる所に置き漸次に日光にあてるやうにします。數日のうちに所々から根が出て來ますが上部の根は水があげられませんから脱脂綿かガーゼを覆ふて水をあげさせます、室内の溫度は五六十度が適當で七十度以上もある所に晝夜置きますと蕾がのびすぎて却て充分花が咲く事が出來なくて終ひます、多く水仙を栽培して失敗するのは溫度の高すぎるのに起因するやうです。

嫌ひな學課も好きになる

斯んな工風で兒童を教育　下藤校の佐賀田先生

小學校へ入學すると先生の熱心な指導により兒童は數學、國語と色々な事を早く覺えて了ひます、先生も一生懸命で、色々研究され如何に兒童を指導したら能率を舉げられるかと苦心懐澹なのです、然し兒童には各特徴があつて數學を得意とするもの、國語を得意とするもの、圖畫、書方など、色々特徴を持つてゐて好きな方に力を入れて

勉强 いたします、これも得意で才ある學課をのばす上には大へんいゝ事なのですが、小學校を得て中等學校に進む兒童は一通りの學課を相當修學する必要があるのです、嫌ひだからと放つて了ふわけには行きません下藤尋常小學校訓導佐賀田乙吉氏は兒童教授法研究に大いに努力されてゐます一年の兒童教科書には相當の漢字が使用されて居り兒童には重荷かも知れぬのですが教科書にある以上兒童も覺える必要があるので氏は色々と

苦心 した結果、今度新らしく國語研究として道具を拵へました、それは國語教科書中の漢字を初めから最後まで全部五寸角のカードに一字一字書き出し各カードの裏側には表漢字をカナで書き現し、この書き出したカードの上部二ケ所に圓形の針金を通しこの針金は固定した臺にとりつけてあるのです、これでカードは自由に漢字と假名の兩方が見える様になります、これを兒童に見せ、初め漢字を次々に繰つて見せて讀ませます、すると兒童は

興味 をもつて異口同音に讀み上げます、今度はカナの方を見せてその字を讀ませ、讀んだ字は漢字で各兒の帳面に書かせるやうにします、然し記憶力の強い時代の兒童は同じことを繰返してゐる中にチャンと次に出て來る字は機械的に覺えて了つてゐますので同じ事を重ねてゐても効果は擧がりませんから今度はその字を次々に繰らずにあちこちとびとびに繰つて前述した様な事を繰り返しますと嫌ひで覺えなかつた兒童は知らぬ間に興味を以てむづかしい

漢字 も覺え込むのです、數學の方も珠算のやうな機械を用ひて兒童を指導してゐますがこれも入學初期の兒童にはよろしいのですが、後學期頃になりますと、はや兒童も加算、減算など易いものはどんどんやつてのけます、この數學の方についても色々研究してゐます、初學期の兒童はカレンダーの數字など馴れてゐないためカレンダーの數字を覺えさせる必要上それら數字を

空箱 などに張りつけて實際的に教授すると知らぬ間に數字を教へ込んでしまふといふのです後學期の兒童のためには圓板を拵へてそれを幾つもに區切つて、區切られた中に色々の數字を書き込みます、この圓板よりも小さい圓板を一枚別に拵へこれも大きい圓板同様に數字を書き込みこの小さい圓板を大きい圓板の上に釘づけにいたします（この釘づけはきつちり打つて了はないでゆつくり打つて小さい方が

自由 に動く様にするのです）これが出來上りましたら小さい圓板の方をグルグル廻轉させて大きい圓板と小さい圓板の數字を加算させたり或は減算させたりいたします、これも兒童は大へん興味を持つて喜んでいたしますので數學の嫌ひな兒童も自然と練習づけられ効果が擧がつてゐる様です

アサヒノボルのボーケン

中溝しんいち作　河野さとし画　（五）

（一）ニイサン ハ コワイ カラニゲヤウ トイフ タイチヤン ハ サアオイデ トカタナ ヲ フリアゲル

（二）ナニ ヲ ナマイキナ コドモ ダ オイ キルゾ ト イトビコム ヘウシ ニ バタン ト アナ ニ オチル

（三）アナ ノ ナカ ニ ハ オホカミ ガ キバ ヲ ナラシテ 三ニン ニ トビツイタ ウワータタタ スケテー

（四）オマヘタチ ワルイ コトスル バチ ダ オホカミ ニ ハヤ クタベラレテ オシマヒ ト タイチヤン ハ ドナツタ

童話　濱のお家（二）

八木橋ゆじう

「お母さん！あれ、あ、また海が……」

「海がどうしたの？」

「あれ、海が――」

「どうしたつて言ふのさ」

「海がこつちに來る」

「海が來る？おかしな事を！」

「だつて、あれ、あんなに今夜も強くザブンザブン近よつて來るじやないの」

「あれはね、夜になると、あたりが靜かになるから、あんなにはつきり聞えてくるのよ」

お床の中で、お母さんとだつこして寢ながら、久はよくそんな事を言ひました。

嵐の夜、お父さんが海に命をとられてから、久はよくそんなことを言つて海の音を恐がる子になりました。

「お母さん！お母さんは何が一ばん恐いの？」

「久さんは？」

「僕？僕、海が――」

「恐いの？」

「さう」

「久さんのお父さんはね、りつぱな、勇敢な漁師だつたんだよ、久さんも大きくなつたら、お父さんに恥しくない勇敢な漁師になるんですよ」

「僕、嫌だ」

「どうして？」

「だつて、海恐いんだもん……」

ゴーッ、ザブン

海の音は、おふとんに顔をつゝこんでも聞こえてきました。久さんは、お母さんの胸に顔をピツタリくつゝけてこの音を聞いてゐました。

「お母さん！」

「なーに？」

「海でお父さんが呼んでるよ、あれ、耳をすましてごらん、あれ」

ゴーッ、ゴーッと云ふ音の間から、ヒサシー、ヒサシーと叫んでゐるお父さんの聲らしいかすかな音が聞えてくるやうな氣がしました。

「なんにも聞えないんじやないの」

「聞えるよ、聞えるよ！あれ、あれ、またあんなに。ねえ母さん！外へ出て見ませう、お父さんが向ふから歸つてくるのかも知れないから」

無理に誘はれて、お母さんは久と一しよに外へ出て見ました。

風が空を通つてゐるのでせう月が走つてゐるやうに見えるほど青白い雲がモクモクと流れてゐました。

遠い海邊には誰も居ませんでした、ゴーッ、ゴーッの波の間からやつぱりホーイ、ヒサシーと聽こえて來るやうにも思はれたが、それは砂濱の砂がくづれてゐるのかも知れません。

雲から月があらはれては又かくれました。その度毎に、海は明るく光り、どす黒く暗くなりました

お母さんと久はいつまでも海を見てゐました。

滿日各地版

日本軍への報復に 昌圖の邦人を鏖殺 卅七馬賊頭目の決議

好意か、脅迫か、無氣味な密告

【鐵嶺】事變前四洮沿線に橫行しつゝあつた馬賊頭目は今回の事變に乘じ張海鵬大將が洮南に旗揚げ獨立を宣言したので其麾下に投じて榮達を圖らんとせる者多く總頭目鶴飛以下三十七名の頭目も協議の結果將に好機なりと張軍に參加すべく行動の途中偶々同地方出動中の日本軍と

衝突 し彼等は忽ち掃蕩せられて四分五裂の悲境に陷つたが武力を以ては到底日本軍に敵し得ざるも何等かの方法によつて此報復を企てんと三十七頭目は鳩首協議し遂に昌圖縣下各地に在住する日本人全部を鏖殺すべしといふ事に決議し若し此秘密を日本軍に通ずる者あれば決議によつて極刑に處すことを申合せて私かに畫策しつゝあつた模樣なるが去る七日右の事情を詳細に書き我八面城領事館出張所に通報し來れる者あり其文面最後には我は三十七頭目の一人なるも素より親日派にして多數日本人の殺害されるを見るに忍びず此書を送るにつき日本人は事前何處にか

避難 せられたしとあり、果して親切より出でたる注意なりや或は馬賊一流の脅迫なりや眞疑不明なるも急報に接して守備隊第五大隊本部は萬一に備ふる準備を整へ鐵嶺領事館警察でも八日朝署員四名を八面城に急行せしめた尚右同樣の書面は八面城商務會にも配付されたるもの〻如く商務會では連合賊團の襲來を恐れ在住日本人の避難を希望してゐるもの〻やうである

劉二堡出動部隊 目的を達し歸る

村民總出にて出迎へ わが軍の行動に感激

【鞍山】鞍山守備隊及び憲兵分遣隊では鞍山農商務會より劉二堡附近に匪賊橫行との報に接し之が掃蕩の爲め味岡中隊長は部下約百名を率ひ吉村憲兵分遣隊長代理と共に七日午前九時二十分出動した宋家子及煙臺を經て午後零時二十分劉二堡に到着した、同村に於ては村民總出にて日本軍隊を歡迎したが代表者約五十名は村公所に集合し味岡大尉の

挨拶 を受けた、味岡大尉は村民に對し

此の部落は三勝の保護を受け安靜であつたが今回遼陽縣の組織改革により三勝と雖匪賊は討伐するから公安隊長劉景和氏の命令に服從して貰ひたい遼陽治安維持會が開催され同會の決議により今後三勝と緣を絕つて公安隊の保護下にあつて安心して業に努め若し公安隊が無力にて不安の際は守備隊及憲兵隊に報告すれば直ちに出動鎭靜する

と述べた、之に對し劉二堡農務會長柳國權は村民を代表して感謝の辭を述べた、夫れより守備隊は河北村に

向ひ 公安隊駐屯兵幹部王步洲以下三名を呼び付け味岡守備隊長、吉村憲兵分遣隊長等は今後の行動に對し充分の注意を與へ一千名の公安隊に對し味岡大尉は馬上より勇ましく訓示を與へたが全く劇的シーンであつたと抑々劉二堡の人心動搖したのは背地布に黃の丸の日本國旗に類似した旗を押立て、約二十名ばかりの公安隊員が來て自警團の新銃器と公安隊の古銃器と取換へんとして目的を達せず引揚げたが劉二堡の情報は報告以上であつた、吉村憲兵分隊長は公安隊の王步洲大隊長及び白中隊長の態度に

憤慨 し嚴重なる訓戒を與へ午後四時同地を出發し五時十分歸鞍したが劉二堡の村民は非常に日本軍隊の行動に感激し八日午後三時村公所の農務會長柳國權及び役員十九名來鞍し守備隊及び憲兵分隊を訪問し感謝する處あつた

人質として 村長を拉去

【鳳凰城】七日午後八時頃、又復高麗門の西方牛里藏家堡子に約五十名よりなる馬賊の一團現はれ、藏村長方を襲ひ小銃八挺を强奪し人質として藏村長を拉致し王家溝方面へ引揚げたが、八日朝に至り小銃三挺、拳銃三挺を身代として强要して來た

海城襲擊計畫說

老北風の一味憤慨し 三千名を率ゐて進擊

【大石橋】匪賊頭目老北風及び蔡小老は既報の如く張學良より旅長に任命され盤山及び海城縣羅家寺(牛莊西方約五十支里)に本據を置き目下各村落に對し軍用金强要中なりしとのことなるが彼等は之れより先海城縣崔公安局長に對し本團は最近盤山縣政府當局と妥協成り地方保衞團と改稱し今後良民に對しては毫も危害を加ふる事なく專ら日本帝國主義打倒に全力を傾注するを以て貴縣に於ても地方民團として承認せられ度き旨申し越して來た、崔局長は斷然之れを拒絕したる處老北風等は非常に憤慨し近日中部下三千餘名を率ゐて海城を襲擊すべく既に遼河東方に移動しつゝありといはれてゐる、之れがため崔公安局長の狼狽一方ならず去る六日部下十二名を從へ騰鰲堡及遼河沿岸地帶を嚴重警備中である

牛心臺に應援

【撫順】既報八日數百名の匪兵に襲はれた牛心臺警察派出所並に驛に於て有馬警部補高木巡查の二名は重傷巡捕三名即死事件の應援の爲め撫順署よりは光增警部補以下五名八日十一時發列車にて應援の爲現場に急行した

貨車から盜む

【鞍山】六日午後一時二十分遼陽驛より來鞍せる第八二貨車內に馬賊飛び込み草刈鎌を以て麻袋入大豆五袋を竊取したこと鞍山驛にて發見し犯人搜查中

日本人聯合會 特別委員會

【奉天】七日奉天ヤマトホテルに於て開かれた全滿日本人聯合會に於て問責委員を上京せしめることになつた事は既報したが同會で委員附託となつた事項は何れも重要なるもので十一日午後四時より同所に於て特別委員會を開き再審議することゝなつた又政府問責上京委員については州內から三名、州外から四名(奉天二名、長春、安東各一名)都合七名が十二日出發上京することになつた因に十一日の特別委員會には大連、奉天各五名、安東、撫順、長春各二名その他各一名が出席する筈である

鮮農を督勵して 籾の搬出に努力

大半の籾は掠奪さる

【鐵嶺】於保少佐の指揮する鐵嶺守備隊一ケ中隊及び渡邊警部以下の警官隊卅一名は既報の如く施家堡子の鮮人殘留籾搬出救護の任務を帶びて七日朝出動午後一時二十分現地に到着したが賊團は我軍出動の報に恐れてか遠く退却して姿を見せず爲めに於保少佐は尾中尉の一個小隊を現地に駐めて守備隊の全部鐵嶺に歸還する事となり八日夜歸營した、現場は出動時機遲れの感みあり殘留籾の大半は燒却或は掠奪せられ鮮人家屋も半數以上燒き拂はれてゐたと、尚八日午後一時傳書鳩の齎せた情報によると施家堡子北方三里双樓臺には二三百名の馬賊橫行せるらしきも現場襲來の形勢なし

▲鮮人は勇躍して七日夜より徹宵籾取作業に從事しつゝあり豫定より早く完了するやも知れず

▲救援隊は全員頗る士氣旺盛、鮮農を督して作業を進めつゝあり

▲警察官十五名公安隊二十名は附近の馬賊狀況調査及盜難籾調査の爲め八日朝九時半出發す

▲現場は寒氣凜烈水質不良に苦しむ尚夜間の燈火設備なく不便を感ず

とあり右報に接するや本署では即時蠟燭及明礬を送附した

同胞襲はる

【撫順】八日早朝撫順縣下馬牛庄子に三名組の匪賊現はれ邦農趙光寬(四〇)外三戶を襲ひ金品强奪逃走

鮮農の避難

【鐵嶺】鐵嶺を安全地帶として避難し來る鮮農は其後も引續き憂ひに滿ちた姿をして一團二團となつて來鐵し八日も柴河溝より四十餘名が到着鮮人民會の溫かい手に收容された、現在鐵嶺に避難中の鮮人は五百名近くありこれ等に對し過般滿鐵鮮總督府及大阪朝日新聞社より一千四百圓の救護金が交附されたので鮮人民會では近く衣服を與へる筈であると

戰死者の 慰靈祭

十日長春で擧行

【長春】長春時局後援會では長春駐箚部隊と共同主催のもとに十日午前十一時より西公園野球グラウンドに於てチチハル、昂々溪方面戰鬪並に滿鐵沿線に於て名譽の戰死を遂げた步兵第四聯隊及獨立守備隊所屬諸勇士の靈を弔ふため慰靈祭を擧行することになつた參列者は

▲各團體は午前十時五十分迄に指定席に集合のこと

▲各所屬並に團體代表は受付に名刺を提出のこと

▲參列者は防寒具着用の儘差支なきこと

等で出來るだけ多數參列されたしとのことである尚當日行はれる戰死者氏名は左の如くである

▲步兵第四聯隊特務曹長川名一郞▲同岡部武▲二等計手佐藤幸一▲步兵上等兵渡邊春雄▲同後藤友吉▲長春守備隊步兵伍長川畑忠三郞▲囑託判任待遇小路市太郞▲同原專司の八氏

今年は餅が安い

明治四十二三年頃の相場で 賃餅が一升四十五錢

【奉天】本年も押し迫り歲末大賣出し聯合景品付大賣出し等時局ながら市內は漸次歲末氣分が漂ふて來たがこの歲の瀨を押し切つて新しい正月を迎へるためになくてならぬ正月餅について聞くに早くもお餅の注文を受けてゐる奉天市民がどれだけのお餅を食べるかについて調べて見ると一人一合二萬人として二百石であるから少くとも二百五十石位食べる譯である今年は不景氣のお蔭で籾が安く明治四十二、三年頃の相場と同樣で昨年は內地米一升餅搗賃共五十五錢であつたものが今年は四十五錢といふ値段で餅好きの人にとつてはこの上もない惠まれてゐる譯である

工大學生間に 航空研究會

【旅順】旅順工科大學生間では近く南滿工專學生と共同の上航空研究會を組織し航空思想の普及を圖る意嚮にて目下之れが準備研究の資料蒐集中なりと

沿線往來

▲太田滿鐵學務課長 七日來奉

▲大坪旅館事務所長 八日過奉長春へ

▲小川神戶商大教授 七日來奉

▲松田關東廳高等課長 同上

▲松隈滿鐵秘書 七日木村理事代理として奉天各方面を訪問着任の挨拶を述べた

▲長井功氏(鞍山製鐵所商事課)撫順炭礦に轉勤

▲濱田米吉氏 長井氏の後任として就任の筈

北關夜話

長春の弊!彼等も年貢の收めどきだと一般の同情もないのが懲役八ケ月の判決を受けて控訴した惡德記者泉繁治に對する聲だ▲彼の長い長春に於ける記者生活それは長春全市民に嫌はれたよりも尚ほ太鼓を叩いたよりも明に叫ばれて來るであらう▲その醜態はもう言語に絕するものがある新聞の利用した其辣腕振りは新聞記者が副業か强者いぢめが本業か判斷に苦むとはさる人の話▲軍部を惡用したことが彼の運の盡きで所謂年貢の納めどきに至つた譯だが本人はまだく夢が醒めぬらしい▲斯る惡性の新聞記者には憤慨の醜獸など一點もなからうが惡德新聞記者覺醒のため裁判所は法の命ずる處によつて秋霜烈日的にやつて貰ひたい▲墮落した新聞記者の跋扈した例を不幸にして聞かないものはない▲百害あつて一利なき惡性惡德記者はご社會に害毒を流す所る手製はビシく片付けないと社會も新聞界も亂れるだけだ▲社會の百相を報ずる新聞が新聞人の惡性惡德振りを報ぜないのは甚だ以て不愉快である、武士は相見互などと泣きを入れる奴もあるが惡性惡德記者と相見互呼ばはりだ以て迷惑千萬だ【長春】

出では戰ひ 歸つては操練

寸暇なき兵隊さん

【營口】事變以來七十日餘營口の治安維持に當つてゐる獨立守備第三大隊は引續き一個中隊を營口に駐屯せしめてゐるが何ぶん廣い新市街、廣いところの而も重要な地點だけに朝夕に警備に忙しい、目下舊市街正金銀行支店跡に中隊本部を置いてあるが市內巡察に、河向ふの河北驛、又練軍營、市の外部等要所警備に人手は足らぬ有樣、それにやはり日々の教練は一通りやるといふ有樣で兵の緊張をゆるめぬやうに何彼と心を配る總動中隊長の苦勞も一通りでないが又警備の寸暇を割いては中隊長自ら銃劍をとつて銃劍試合をやり嚴冬の寒氣を克服し士氣を鼓舞するに努めてゐる【寫眞は本部廣場における銃劍操練】

出征美談

餞別を斷つて 神社の再興に

村民を感動せしめた 入營兵を繞る美談

【鞍山】數ある愛國美談のある中に之は亦奇特にも餞別を斷つて氏神の再建を促した出征美談がある即ち十二月二日鞍山第六大隊に入營した靜岡縣駿東郡泉村字茶畑の平吉三男清水文雄(二三)で去る二十二日滿洲守備隊へ入營のため裾野驛を出發したが、その前日自宅の入口に「餞別は一切御受け申さず」と大書して貼出したので、兩親始め近所の者は何故だらうと心配して近所の清水神官に託して清水君の意志を訪れて貰つた所同人は清水氏に對して

貴官も御承知の如く家の前にある淺間神社(村社)が大震災で倒れてゐる、今村では此の復興もしなければなりません、私はお國の御奉公に參りますがこれは日本男子としての義務を果すので別に餞別などを皆樣から頂いてはすみません、私に餞別を下さるなら其の金で氏神樣の再興をなして下さい

と涙と共に語つたので清水氏も文雄君年の純情に感激したがこの事を傳へ聞き村人は何れも感動し同人の意志をたてるべく「必ず淺間神社は君の歸るまでには再建しておく」と誓つたので文雄君も安心して出發したが村民は一人殘らず同君の見送りをなし目下同神社の再建準備を進めてゐるといふ此の青年らしい眞情に溢れた出征美談は鞍山にも傳へられ美しい話題の中心となつてゐる。

消費組合 撤廢運動

【奉天】滿鐵社員の消費組合撤廢問題については既報の如く七日奉天輸入組合に於て奉天商店協會員を中心に協議會が開催された出席者は各役員十五名で審議の結果之が撤廢に關する決議文及び請願文の作成、運動方法等は九日開催の商店協會臨時總會に於て審議決定することになつた尚商店協會側では滿鐵の消費組合撤廢と共に更に關東廳の職員購買會撤廢をも論議する模樣で漸次猛運動が開始されつゝある

聯合會出席者 參謀長訪問

【奉天】七日の全滿日本人聯合大會出席者三十四名は同日午後關東軍司令部に三宅參謀長を訪ひ各種問題につき陳情をなす處あつたがこれに對し三宅參謀長は大要左の如き謝辭を述べた

沿線各地代表の熱誠なる厚意を謝し吾等は今後共その本分を盡し諸氏の熱誠に報いんとす

大石橋在住同胞 自警團員を志願

十九名連署で志願書

【大石橋】當地在住同胞等は漸く時局の重大性に鑑み等しく日本國民として之れを傍觀するに忍びず邦家の爲め幾分なりとも奉公の至誠を盡すべく發起し特に般滿地陸軍假飛行場設置に際しても自發的に勞力奉仕を爲す所あつたが更に六日在五縣外十七名の壯丁は大石橋警察署に對し連署を以て自警團員に採用方左記の如き文面を以て志願書を提出し只管管內警備の爲め貢獻せむことを希望してゐた

志願書

去る九月十九日日支衝突事件勃發以來當大石橋に於ても軍部及官憲の一方ならざる御盡瘁は申す迄もなき事ながら自警團及び警備隊の組織成り部民の安寧を圖らるゝ際我々之れを傍觀するに忍びずその幾分なりとも邦家のため御奉公致し度きにつき適宜自警團員として御採用方御詮議被下度此段連署を以て御願申上候

昭和六年十二月六日

鐵嶺
緊急市民大會

鐵嶺時局後援會では八日夜七時より緊急理事會を開催し兒藤常任理事より七日奉天に開催された全滿日本人聯合大會の經過報告あり右大會の決議に基き滿洲東北政府打倒を主題とする市民大會開催の提案あり全滿各地一齊に十日夜開催する筈なるを以て當地に於て今十日午後七時より演藝館に於て緊急市民大會を開催するに決定した

撫順
後援會に謝電

多門第二師團長と遼陽時局委員長の名を以て撫順時局後援會宛左記の如き感謝狀が八日來た

拜啓十二月四日第二師團及所屬部隊の江橋昂々溪チチハル附近の戰歿者慰靈祭執行に際しては格別なる御同感を蒙り深謝仕り候御陰を以て無事滯りなく極めて莊嚴裡に終了致し候間茲に謹みて御禮申上候敬具

安東
雄辯大會出席

全滿學生雄辯大會は來る十三日大連基督教青年會館に於て本年度の大會として開催される事となつたので安東中學校も客月二十五日同校に於て雄辯大會を催し校長を審査長として各教員の審査上五年生小川義直君、同棟元榮次君を大會に送り安東中學代表として獅子吼をさせる事となつた兩君は十二日午前十一時四十分發にて雄辯部長沼田教諭に引率され赴連する筈である

忘年圍碁大會

安東倶樂部會員は忘年圍碁大會を八日午後四時より安東倶樂部大廣間に於て開催する事となつた會費一名金二十錢にして賞品は一等より二十等迄であると

遼陽
傷病兵の慰問

在遼陽宮城縣人會は社會係、遼鞍毎日社、本社遼陽支局の後援で八日午後六時から小學校講堂に於て衛戍病院入院中の傷病將士慰問資金蒐集の活動寫眞があつた當夜の映畫は滿日連載の俠艷一代男であつた

婦人會幹事會

遼陽聯合婦人會では八日午後一時から社員倶樂部日本間に於て當番幹事會を開き左記事項に付協議したが代表幹事には多門師團長夫人を推薦中の處承諾され當日挨拶があつたと

▲奉天に於ける全滿婦人聯盟協議會の經過報告▲聯合婦人會幹事役割決定の件▲事業計畫に關する件▲聯合婦人大會開催の件

內地で展覽會

富山縣高岡市下關小學校では十五日から滿蒙展覽會を開催し日本の正義を闡明し且つ日本の生命線としては滿蒙の權益と富源を如實に展覽に供する意味に於て排日侮日のポスター類の寄贈方を警察署に依頼して來たと

地委茶話會

遼陽地方委員會では十日午後二時から地方事務所會議室に於て第一次茶話會を催すと

藤田警部補快癒

遼陽警察署の保安主任藤田警部補はチブスで滿鐵醫院に入院中のところ此の程快癒八日から出勤した吉田[illegible]

鞍山
西村家慶事

遼陽京町燒鍋業西村茂方の野並一水氏(二七)は安達周太郎、內田平三郎兩氏の媒酌で昭和通遼塔ホテル木村常吉氏の愛娘清子さん(二二)と八日午後三時遼陽神社々前に於て燭華の典を擧げた

である又司法主任新妻警部補も同病で入院中のところ一時危篤を傳へられてゐたが同氏も追々快方に向ひ遠からず退院の見込みと

郵便局の業績

鞍山郵便局における十一月中の業績左の如し

△通常郵便

	引受	配達
書留	一、一六五	一、〇七二
價格表記	一九	五五
計	一、一八四	一、一二七

△小包の部

書留	三三六	一、七一一
代金引換	四一	六〇〇
計	三七七	二、三一一

△爲替貯金の部

▼振出

爲替	口數	一、〇一〇
	金額	一八、四一五〇
貯金	口數	二一、〇〇八
	金額	二一、〇九三
振替	口數	八二六
	金額	二七、五六二
計	口數	二、八四四
	金額	六七、一七二

▼拂渡

爲替	口數	三三九
	金額	七、二九三
貯金	口數	四〇四
	金額	一六、〇七九
振替	口數	一一三
	金額	九、一四一
計	口數	八五六
	金額	三一、五一四

體育聯盟加盟

滿洲體育協會に於て體育聯盟設立に就いて鞍山體育協會に慫慂して來たので七日役員會を開き態度を決し大體に於て加盟することになつたが內容は大體に於て時局に鑑み何かの方法によつて軍部に獻金するらしいと

警察の異動

鞍山警察署の幹部の業務移動七日附左の如く發表された

警務係主任兼統計主任　西內貞吉
保安、衛生係主任　山口定次
高等、兵事係主任　山本藤一

大石橋
聯合會支部會

來る十日午後六時より當地公會堂に於て七日奉天に於て開催せられたる全滿日本人聯合會主催時局協議會の結果に基き大石橋支部會を開催することになつた、尚引續き大石橋青年聯盟會開催時局に處し役員並に部長の改選をなし將來の活動計畫をなすと

輸組大賣出し

大石橋輸入組合に於ては來る十日より三十日まで例年の通り歲末大賣出しの計畫あり、石川洋行、濱島商店、大阪屋號、かぎや商店、永井商店、栗本商店、旭商行、みすみや吳服店、不文堂等加盟する筈、賞品は一等二十圓十本、二等十四圓十本、三等五圓三十本、四等二圓五十本、五等一圓一百本、等外三十錢五百本にして昭和七年一月八日午前十時發表すると

熊岳城
守備隊を慰問

鮮般來營口、鞍山、四平街方面に出動して嚴寒の中に再三匪賊討伐に武勲を輝かし漸く先日歸營した我が熊岳城守備第一中隊の將卒は歸營後も庶務屯事件等にて一日も無き有様であつたが六日の日曜は久方振りに其慰もなく陣中小憩を得た形であつたから岡島地方委員一家族は挙つて守備隊に出頭此の日一日を心から兵士の方々の慰問に盡さんものと夫人操[illegible]

營口
市中の噂

七日夜昭和館に催された非常市民大會は大連からの名士が多數熱辯を揮つたので豫想外の大入は確に大成功▲石本鏆太郎翁往年盛んに日支親善、共存共榮に奔走してゐたが今回の事變以來スッカリ宗旨替えをした事に就て由譯?なする、聽衆稍ダレ氣味の體であつたが更に開口一番「外務當局へは宜敷く我等の熱ある力を以てトコロテン式に押出すべしッ……」とやつたので人氣回復

▲竹中延太郎氏盛んに幣原外交の軟弱を責め「逃腰無定見……」と吐いた、その後を承はつた恩田熊三郎氏「前辯護士は逃腰とか何んとか述べられたか、逃腰でも腰が無いので憚ない……」と喝破するので聽衆大喜び▲津田元德氏例に依つて論理整然增兵必要を說いてゐたその一節に「チチハル方面に狂暴を擅ってゐる馬賊は實に官製馬賊、然も露國人が居たそうだから正に舶來馬賊もまじつてゐる……」聽衆遂に爆笑……

普蘭店
警察官の增員

今回の沿線警察官增員につき當派出所にも村上庄、前田才藏の兩巡查增員となり八日松枝警部補同道各方面に對し着任の挨拶を述べた

[illegible]琵琶會を開いて幾多將兵を慰問した、開會に先だち東海林中隊長は陣中時間の好意を傳達し先づ加藤師の十八番常陸丸の演奏に始まり中途蓄音機レコードにて教育勅語の眞髓を敷衍し最後に琵琶義士打入りを演じて會を終つたが時局柄武人の胸に高鳴る感激の波は一しほ高く拍手暫く鳴りを靜めざる光景に音樂の精神教育に奏功ある事を今更の如く感ぜしめた

婦人團の活動

當地警察署長牧田氏夫人並に民政署總務課長黒利氏夫人等の主唱になる普蘭店婦人團においては時局問題に關し先頃來より寄々協議中のところ今回各方面委員の活動により各家庭より醵出した金百八十六圓並に眞綿若干を第一線に活動中の軍隊、警官及滿鐵社員に對し慰問品として贈呈する事に決定し民政署恤兵係の手を煩はし本庄軍司令官、中谷警務局長並に滿鐵總務部宛慰問狀を添へ夫々發送した

婦人團の祈願

普蘭店婦人團に於ては現下の國難を憂慮し來る十日より十六日迄一週間毎日午前九時半普蘭店神社に參拜し國難の爲め熱烈なる祈願をなす由である、尚婦人團に於ては今後出動軍隊遺骨傷病兵其他時局に關し出動の警官等に對しては全員勉めて驛頭に送迎する事に申合せをした

旅順
一中警備演習

旅順第一中學校では七日午後六時五十分四・五年生を基幹とし平田校長生田淺田兩教諭は統監部、山崎、近藤、吉村、足羽、木村、瀧田の各教諭を指導部として警備演習を行ひ

本月十七日午後以來永師警方面の形勢不穩に陷り市街にも若干の不良分子潛入を見るとの想定の下に夫れ〳〵警備配置に就き統監部員の査閲を爲し同夜一同停車場に集合白玉山を參拜し解散した

十一月の揚高

不景氣風も事變突發で吹き飛ばされたが實質的であり此道ばかりは別物で旅順の料理店も依然十六軒(內六軒鮮人經營)存續し藝妓數が十六名、酌婦數が百十二名、これに吸集された前月の遊興人員二千百四十六名で酒肴料が千五百十一圓、花代が六千三百五十六圓を示し合計揚高九千六百三十六圓で十月から見ると七十八圓の減收であつた

黃金臺
◇

出雲大社教旅順教會所では今回昭和七年度大麻(天照皇大神宮御札)並に曆を目下各戶に配布中であるが不在その他のため配布漏れの向は直接同教會所へ申出られ度いと

◇

在鄉軍人旅順分會海軍班主催旅順市役所後援にて九日午後六時三十分から第一小學校講堂に於て練習艦隊所有の活動フィルム日本八景、時代祭、櫻咲く日本瀨戶內海、大禮特別觀艦式、衣笠進水式、海の怪物滑水艇、里見八犬傳の映畫會を開催學生一般の觀覽に供した

第二の反抗 (99)

三宅やす子
阿部金剛畫

女同士 (三)

「誰が拂つたつて同じ事よ。私は持つて居ても要らないんだし——あんたのとこではそれで役に立つんだもの」

「……………」

「云ひ難くければ、無理に、いま云はなくても可いわ——私に任せて頂戴。金ですむことなら、人間の命に代へるなんて、そんな勿體ない事があるもんですか」

佐枝子にとつては、金は價値のないものにしか思へないのだ。佐枝子の餓えて居るのは、純眞な愛情である。

「でも」

お靜はやうやく話す勇氣を出して

「私共には、そのお金が、全くいのちなんでございます——お金の

今日東京の實家から歸つて來たのよ。もつと居る筈だつたんだけど、逢ひ度い人に逢へない事情があつて、つまらないからさつさと歸つてしまつたの。そしたら、自分の家だと思つて歸つて來たところが何て氣持の惡い——他人の家よりもつと、もつと住みづらい針のむしろだつてことが判つたの。あたしは、嫁に來た家にも、自分の生れた家にも、どつちにも居られないの。一人で飛び出してしまへばいゝんだけど、さうしたつて、世間はもつと辛いにきまつてるんですもの——飛び出したつて、逢ひ度い人に逢へないことには、つまらなくなつて、ふら〳〵こゝまで來てしまつたの。あんたは、もしかすると、私が橋本の者だから

同じ穴の狐位におもつてるんでしよ。でも違ふわ、私は橋本の姓だけ名のつてるけど、橋本の家のものぢやないつもりよ。さうよ。今日からもう、私は、たつた獨りの私なの。あんたと同じ悲しい女よ」

「……まあ、奧樣」

「みんな女は悲しいんだわ」

「奧樣」

「あたしね」

佐枝子は、まるで獨言のやうに話し續ける。

「今度生れて來る時は、何といつても、自分の好きな人と一緒に暮せる女に生れて來るつもりよ。好きでもない男と一緒に暮す位なら死んだ方がよつぽどましなのよ」

「奧樣」

お靜は、何故ともなく泣けて、泣けて、佐枝子にすがりついたのである。

ないためには、貞操も、時によつては生命までも——」

「わかつてるのよ。そんなことはほんとにいけない世の中だと思ふわ。欲ばりな人が居るからなんだわ」

其欲ばりは、あなたの旦那さんつまり、あなたのおうちぢやありませんか、とお靜はつけ〳〵云ひたかつた。

「あたしは、そんなこといやなのよ。私の自由になるものだけでも困つてる方の役に立てたいのよ」

村の人たちの血と汗をしぼり取つた金を、今更佐枝子の名義だからと云つて、氣持よく受けとられやうか——お靜はむら〳〵と起る反抗心を、おさへながらだまつて居た。

「ねえ。それで、安心してお父さんと幸福に暮して頂戴。あたしは

SANTE

肺結核の革命的治療藥

醫學博士 藤澤好雄氏創見
臨床大家四十餘博士實驗推奬

サンテ

「サンテ」を實驗推奬せられたる

臨床諸大家

醫學博士 岩井登門氏
醫學博士 生地憲氏
醫學博士 石山暢昂氏
醫學博士 飯島近治氏
醫學博士 濱田良輔氏
醫學博士 牛田久雄氏
醫學博士 西田宗一氏
醫學博士 豐田正達氏
醫學博士 大國二郎氏
醫學博士 渡邊貞惠氏
醫學博士 川上理作氏
醫學博士 川村六郎氏
醫學博士 高橋三千彦氏
醫學博士 高島俊治氏
醫學博士 竹島光藏氏
醫學博士 竹森啓祐氏
醫學博士 內藤業太郎氏
醫學博士 中村和雄氏
醫學博士 內田謙益氏
醫學博士 內野淺次郎氏
醫學博士 上森虎之助氏
醫學博士 黑岩文一氏
醫學博士 栗原基氏
醫學博士 松崎香住氏
醫學博士 增田貞一氏
醫學博士 小竹政吉氏
醫學博士 小松原謙三氏
醫學博士 蘆名泰氏
醫學博士 齋藤齊氏
醫學博士 佐藤弘氏
醫學博士 澤田四郎作氏
醫學博士 木崎正美氏
醫學博士 木許寛氏
醫學博士 百合野順太郎氏
醫學博士 三好毅一氏
醫學博士 宮井茂吉氏
醫學博士 宮崎正一氏
醫學博士 宮本博人氏
醫學博士 志賀費氏
醫學博士 弘田茂富氏
醫學博士 森本正好氏
醫學博士 勝呂悌氏
醫學博士 杉田貞之氏

何が故に革命的治療藥と云ふか？

結核は、決して症狀を抑へたからとて治る病氣ではない。

勿論、熱が高く、食慾進まず、盜汗甚だしく、下痢を伴ふ、などといふ場合には、患者の疲勞を救ひ、不快感を除く爲めに、此等症狀に對する對症的處置を講ずべきであるが、此等の症狀は何に因つて起るかと云へば、結核菌の產生する結核毒素の中毒に因つて起るものであるから、單に症狀だけ輕減せしめ得たとて結核治癒の上には何等の効を爲さないのである。又、一時的に藥で抑へた症狀は、原因たる結核が治らぬ限り、何回でも繰返して發現し來るは當然である。

それよりも、根本的に結核菌を絕滅し、結核毒素を排除し、結核病竈の本質的治癒を計る事の方が、どれ程重要であるか解らない。斯くして病氣そのものが治癒に赴きさへすれば、區々たる症狀などは、何等の處置を施さずとも、自然に消失して行つて、再び起る事はない。これこそ本當の治り方である。

新發見藥「サンテ」は、この見地より、結核菌に對する殺菌と排毒兩作用を徹底せしめ治療界に一新生面を開拓すべく、醫學博士藤澤好雄氏の多年苦心研究に成れるものであつて、舊套依然たる結核治療に正に革命的の斷案を下したるものと云ふべきである。

世には往々にして、理論上效果あるべしと稱せられたもので、臨床上の効果擧がらず、期待の裏切られるものがあるが、「サンテ」に至つては、理論上はもとより、臨床上に應用して實に素晴らしい効果を示す事は、實驗者が總て驚嘆を以て報告せらるる所である。

藤澤博士は、その報告書の中に於て、結核に對する自己の信念を述べ、本藥發見の苦心を多大の滿足を以て回顧せられてゐる。

其他四十餘氏の著名なる諸博士が「サンテ」を臨床に應用して、如何にその驚異的偉効を讃嘆して居られるか、如何にその効驗に滿足して居られるか、委しくは各博士の報告書に依つて知る事が出來るが、斯くまでに知名の諸博士が口を揃へて賞讃せられてゐる事は他に全く例のない事である。

◎「サンテ」には、應用の適切を期する爲め、一號（有熱用）、二號（無熱用）、三號（虛弱質用）、の三種がある。これも藤澤博士の苦心の現はれであつて、ピッタリ病狀に當てはまる藥を選ぶ事が治癒の促進にどれほど有効に働く事か云ふ迄もない事である。

◎「サンテ」は、各號とも、味緩和にして服用し易く、副作用、習慣作用、或ひは配合禁忌等の缺點のないのを特徵としてゐるから、他の藥物と併用する塲合があつても何等妨げないのである。

【適應症】肺結核、肺浸潤、肺尖加答兒、肺氣腫、慢性氣管支加答兒、肺炎、濕性並に乾性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、瘰癧、骨並に關節結核、結核性並に腺病性眼疾

【種類】「サンテ」一號＝有熱期に適す
「サンテ」二號＝無熱期に適す
「サンテ」三號＝前記各適應症の恢復期並に結核性體質、腺病質、虛弱質、榮養不良に適す

【藥價】

「サンテ」一號	一二〇錠 二円八十錢	三六〇錠 八円十錢
「サンテ」二號	一二〇錠 二円八十錢	三六〇錠 八円十錢
「サンテ」三號	一二〇錠 二円五十錢	三六〇錠 七円二十錢

◎別に醫家調劑用粉末の用意あり

◎先づ文獻に依りて諸博士推奬の聲を聽け

文獻（實驗報告書）送呈

藤澤博士並に諸博士がサンテを結核性疾患の治療に應用されたる成績報告書及び「療養指針書」を御申越次第送呈す

御注文方法

◎御注文の際は必ず「サンテ」何號と御明記の事
◎御送金は振替貯金（大阪三五七番）御拂込か、又は郵便爲替御利用か御便利、前金の御注文には送料を要せず
◎代金引替便ならば御注文主にて送料御負擔の事

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部
振替貯金大阪三五七番

肺病を治すか否かの分岐點

結核藥に對する認識不足ほど患者自らを毒するものは無い

世に、結核藥又は結核滋養劑と稱して販賣されてゐるものは、實におびたゞしい多數に上つてゐる。

藥店の店頭を一寸のぞいて見ても、新聞や雜誌の廣告を一瞥して見ても、正に

結核藥オンパレード

の感がある位であつて、惱める患者が、あれこれと迷ひわずらふのも誠に無理からぬ事である。

然し乍ら、此等多數のいはゆる結核藥の中に、眞に結核そのものを治す効力のあるものが果してどれだけあるであらうか。

その多くは、結核性疾患に伴つて起り來る症狀の一部を鎭靜するだけ、即ち熱を下げるとか、ねあせを制限するとか、食慾を進めるとか、咳嗽を抑へるとかいふに止まり、結核藥に非ずして單なる症狀鎭靜藥にしか過ぎないのではあるまいか。

その樣な藥をいくら浴びるほど服んだとてたとへ一時的に症狀は輕減しても、結核そのものゝ根本治療にはなる筈がない。その正體に就ての認識が足らず、結核藥と名がつけば何でも手當り次第に鵜呑みにしてかゝらうとする患者は、自分自ら

治る希望を捨てた人

と云はねばならないのである。

自分の病氣を治さうと思へば、モット眞劍に、自分の服む藥に就て正しく考へねばならない筈ではあるまいか—

今茲に述べんとする「サンテ」は、別項にもある如く、徹頭徹尾、結核の病竈に向つて藥物的作用を營む眞の抗結核藥であつて、病氣そのものゝ本體に藥理效果を及ぼし根本的の治癒を計る獨特の創意に成る發見藥である。

見方に依れば、病竈に對する作用のみに急にして、現に患者を惱ましつゝある各種の症狀に對する處置を閑却したるものゝ樣にも見ねやう。然し、實際は閑却するどころか、病の本源を鎭める事が、即ち症狀を輕減する事に一致し、而も最も早道なる事を知るものである。

人爲的に外部から症狀を抑へる事は、やゝもすると反動を伴ひ易い。のみならず、各種の症狀の起り來る事は、起るべき原因あつて起り來るものであるのに

その源を究めずして

單に表面に現はれた症狀のみを抑へんとすれば、どうしても無理を生じ易い。

若し、先づその源にさかのぼつて、結核毒素を排除し、症狀の起り來る根を斷つ事が出來たなら、少しも骨を折らずに極めて自然的に症狀を消失せしむる事が出來、病氣そのものゝ急速なる本質的治癒を計る事を得るに違ひない。即ち藤澤博士が苦心されて「サンテ」を創見せられた核心は此處にあるのである。

その效果の手近な證明は、「サンテ」を實驗せられた各博士の報告書に見る事が出來る。

—食慾大いに增進し、健康時と同量の食餌を攝るに至る
—微熱去り、平溫となる
—ねあせ止み、夜間安眠する事を得
—胸痛去り、頭痛、全身倦怠を感ぜず
—咳嗽鎭まり、血痰止み、呼吸輕快す
—肩こり、全身異和感去り、元氣振起す
—ラッセル消失す
—下痢鎭靜す

斯くの如き著明な症狀の減退が、「サンテ」の服用後、早きは四五日

おそくも一週間目頃

からメキメキと現はれ來る事屢々であつて、患者の氣分は、日增しに不快なる症狀の消失し行くに從ひ、益々明るく輕快となり、體重も增加し、步一步全快への堅實な步みを進めて行くので各博士とも非常な喜びを以てその結果を報告せられ、その效果を賞讃せられてゐる。

單なる症狀の沈靜劑であつても、この樣に速かに安全に奏效を見るのは稀である。まして、僅かに一劑にて、斯くも多數の症狀を一擧にして消失せしめ得るのは、前述の通り「サンテ」が、病の本源を爲す病竈に直く樣作用して忽ち殺菌排毒の效果を現はす獨特の製劑なればこそであつて、斯くてこそ

始めて本當の治癒が

そこに期待出來得るのである。

なほ、本劑が、服用極めて安易安全であつて、過敏性の婦人や小兒も喜んで之を服用し得る事、又、少しも副作用習慣作用なく安心して持長せしめ得る事、及び、本劑のほかに下熱劑や其他の症狀鎭靜劑を併用する必要は更になく（併用する事は妨げなけれども其の必要なし）唯一劑のみにて充分各種の效果を同時に現はす故、從つて頗る經濟的なる事など、各博士の一致して推奬せられる所である。

ヒヨツコリ
來連した

聖林の人氣者
ロヂャース君と語る
彼氏の觀た『サムライ南大將』『ゲイシャ』『東京』『朝鮮』『大連』

▼…九日の飛行機でヒヨツコリ大連に現れた米國の人氣者新聞記者でフオツクスの映畫俳優のウイル・ロヂャース君は午後から旅順に赴き、戰跡見物をなし一先づ歸連、午後九時三十分發急行列車で奉天に向つたが、出發前大連ヤマトホテルのグリルでノツポの彼を捉へ「ミスター、ロヂャース」と話しかけて見る

▼…僕に時局の話をしろつて？そりや無理だ、僕は戰爭は嫌ひだ、たゞ僕は滿洲が始めてだから見物に來ただけだ、東京で南陸相に面會したぢやないかつて？そりやしたさ、しかし僕は戰爭に強い日本が、世界に誇る代表的サムライ南大將の顏を見に行つたんだ、さうして心から敬意を表して來たんだ

▼…その他の日本人の印象を問ふさ

殘念乍ら殆んど會つてゐない、日米協會が僕達の歡迎會をやつてくれる筈だつたが、僕は都合が惡くつて出席出來なかつた、若しこの席に出てゐたならば日本の偉い人にも澤山會へただらうし、又或は時局に關する話が出來たかも知れない、その代り僕は日本人でもつさ世界的に有名な人々に會つて來た、それはゲイシャさんだ、實にキレイだな、米國へのお土産には一番いゝさ思つたが、一寸大き過ぎたさ云ふさ

▼…「菊五郎に會つたさうだが」

イエース、キクゴロも美しいな日本の芝居はさにかく大したものだ、そして少しグロテスクな氣がした、シヨーチクの撮影所も「見學」したよ、ハツハツハツ

ワケのわからぬ笑ひを漏らすと、多分米國のスタヂオと比較して、貧弱な日本撮影所を笑つたのだらう

▼…次に日本の印象を問ふ

東京は自轉車の都だ、實に世界に誇るに足る自轉車の都だ、あんなに自轉車の多いところは一寸さ珍らしいよ、次に日本の航空路は實に愉快だな、何時でも海が見える、但しこれは日本が小さいと云ふ意味ぢやない、誤解しないでくれたまへ

▼…次に朝鮮はと問ふさ

飛行機で飛んだので殆んど何も知るところがない、飛んだところの名前すら記憶してゐない、唯城、城、城と云つたことだけはおぼえてゐる

成程、京城、平壤、開城と云ふ意味なのだらう

▼…最後に大連は如何ですと云ふさ

飛行機から見た大連はいゝな、立派な近代都市だ、これは古い街を壞して作り變へたものでなく、初めつから新らしい街として建設されたからだ

有難うといつて立ち上るさもう歸るかい、最近の日本の事なら君より僕の方がよく知てゐる筈だから、聞きたい事があつたら聞き給へ、話してやるよ

と如何にも人を喰つてゐる、そして彼氏はユーモリストらしく卓上で二三回指先を廻して別れの挨拶に代へた【寫眞は世界に誇る代表的サムライさいふ南大將とロジャース君】

內地に引揚げる樣に
言ひ殘して出發する
殉職した滿鐵社員伊東萬次氏
悲歎に暮れる夫人

敦化の東方において支那側の射擊を受け殉職した伊東萬次氏は一昨年郷里においてマツエ夫人を娶り夫人は目下姙娠九ケ月である、伊東氏は二十七日夜大連を出發したが氏は夫人の身の上を思ひ郷里に引揚げるやう言ひ殘して出發したが夫人は萬一の場合を慮り歸郷を斷念し桃源臺の自宅を引揚げ七日西通四十六番の知人の家に寄寓した許りの處に突然滿鐵本社から通知に接し悲歎にくれてゐる、氏の友人音成氏は語る

伊東さんも中村さんも私も同郷ですから萬一こんなことでもありはしまいかと心痛してゐたのに二人揃つてこの不幸を見るとは何と言ふことでせう、伊東さんは非常に淡白な人で人とのつき合ひも極めてよかつた、嫌味のない人で學生氣質のぬけぬ人です、酒は相當にやりました、奧樣は一昨年結婚され本年五月に來滿し二十一歲です、目下姙娠ですが來月が生み月です、奧樣は萬一の場合を覺悟はしてゐたが本日山領課長がお出になつてそれと御知らせ下すつた時には流石に驚いて居られました【寫眞は殉職した伊東社員】

殉職兩氏略歷

伊東萬次氏　佐賀縣小城郡牛津村乙柳二〇八番地の人で本年二十四歲、昭和四年熊本高等工業學校を卒業して直ちに滿鐵に入り鐵道部工務課技術員の職に在つた

中村岩藏氏　伊東氏と同じく佐賀縣藤津郡濱町乙一五五四番地の人、大正二年八月滿鐵入社累進して遼陽保安區電氣工長として今日に至つた人で本年四十八歲である

出發の前に
虫の知せ
驚く工務課員

この悲報を齎して伊東氏の勤務箇所であつた鐵道部工務課を訪れると山領課長以下主任も不在で伊東氏が出發間際まで机を並べて仕事をした設計係の同僚の人達は愕然さしながら交々語る

ほんとですか、ひどいことをやりましたれ、伊東君が職務の犧牲になつたなんて私達にはまるで夢のやうです、伊東君は先月の廿八日に出發した許りなのです、昭和四年の熊本高工出身で性質は極めて溫厚な、頭腦明晰の俊才で部內でも前途を囑望されてる將來技術家だつたのに惜いことをしました、今春技術員となつた許りで奧さんは十日の船で內地に歸られるやうに聞いてゐましたのにどんなに驚くことでせう、出發前に冗談らしく「敗殘兵が橫行してゐるらしいから今度はやられるかも知れんぞ」など、云つて元氣よく笑つてゐましたが今から思ふと虫が知らしてゐたのでせう

最後の別れ
奉天の夜
ダンスが得意

目下長春に滯在中の滿鐵本社外事課勤務の尾長氏に伊東氏の死を齎して訪れば驚きながら語る

伊東が殺されましたか？　伊東は何しろ背丈は五尺八寸の大男で十二文の足袋をはくさいつた堂々たる男です、溫しい中にも仲々面白い男で殊にダンスが上手でしたが思へばあれが最後の別れだつたのですれ、恰度去る二十八日の夜奉天で一杯呑んでパリジャンでダンスをしてゐましたが非常にスタイルがよいのと上手なので大喝采を博しましたがその時の有樣が目に浮ぶやうな氣がします、かれぐ〜友達が妻もある身だし保險に入れと勸めたもんですが、俺はこんな丈夫な體だから大丈夫だと笑つて這入らなかつたんです、がそれ程保險嫌ひで有名な男だつたんです、然し私達は親しい友人を一人失つたゞけですが奧さんのことを思ふと暗然たる氣持しますが、早速おくやみの電報を打ちませう【長春電話】

中村 伊藤 兩氏の
遺骸
きのふ長春着

敦化方面にて遭難死去した中村岩藏、伊東萬次兩氏の遺骸は九日午後一時五分着列車で長春着、直に滿鐵醫院にて死體の手當てをなし同二時三十分より長春祝町太子堂にて告別式を擧行されたが、靈前には滿鐵總裁、鐵道部長、吉長吉敦鐵路管理局長金璧東氏その他より贈られた花環や弔旗に埋まり、中村未亡人、長女さき子さん、伊東氏遺族總代山領工務課長、金管理局長その他關係者多數參列してゐた、式は三時二十分嚴肅裡に終つたが、遺骸は二臺のトラックで驛に運ばれ十六時三十分發急行に一輛連結し遺骸を安置、遺族、同僚に守られて南下したが中村氏は遼陽に、伊東氏は大連に歸着後本葬が營まれる筈である【長春電話】

双城堡自警團
馬賊に豹變

公太堡を去る北方一里半双城堡の自警團三十名は突然八日午後より馬賊に急變し附近部落の襲擊を企てたが、同村長は武器彈藥を押收し自警團の慰撫に努めてゐる【奉天電話】

傷病兵や公傷社員の
慰問に手藝品を贈る
滿鐵婦人協會と社員會婦人部

滿鐵の婦人協會及び社員會婦人部では傷病兵や公傷社員の慰問方法について研究した結果各自家庭で作つた手藝品を贈つて無聊を慰めるのが一番よからうと云ふので幹事の手で募集したところ、造花や人形、短冊など心ひく〜の品が續々集まつたがそれらにはそれぐ〜署名して「早く全快して下さい」「益々大事にして下さい」など認めてあつた、十三日に分擔を定めて各地に持參するが戰塵に無聊の日を送る勇士達がどんなに喜ぶことだらう

李堈公妃殿下
台覽の光榮に
京城における本社主催の滿洲事變映畫と講演の會

【京城特電八日發】京城における本社滿洲事變映畫ならびに講演の會は大好評裡に八日も引續いて催したが、この日は畏くも特に李王大妃殿下の

思召に

より午前十時半から昌德宮仁政殿東行閣において映寫、大妃殿下には御風邪のため台覽をお取止め遊ばされたが李堈公妃殿下には李王職長官閔公爵、李恒九男爵、各朝鮮貴族夫人その他篠田李王職次官、前田少將および李王職關係者や女官達を從へさせられ終始御興深げに森本社記者の說明を通譯官を介してお聽き遊ばされつゝ御覽になつた、かくて正午映寫終り御歸還の際森記者に御會釋を賜つた、なほ李王職では特に本社の勞を多として午餐を下され鶴井支局長、森記者等本社一同

光榮に

感激しつゝ厚く御禮を申上げ退下した、次いで午後一時から龍山步兵第七十九聯隊內練兵場に朝鮮軍司令部各將校及第二十師團の將卒約三千名を集め觀覽に供したが、これ等三千の將卒は映寫フヰルムの回轉に從ひ出先皇軍のその勇敢な活動振りに感激してゐた、更に同四時から總督府第二食堂に於て府內警察官諸問の爲め映寫をしたが六百の警官に多大の感動を與へ盛觀を呈した、午後七時より府社會館で第二回の一般公開をしたが觀衆午後五時ごろから續々つめかけ會場は立錐の餘地なき大盛況を呈して午後九時半閉會した【寫眞は×印が李堈公妃殿下、左端光榮に浴した森本社記者】

駐奉步兵聯隊
陣歿者の慰靈祭
きのふ奉天忠靈塔でいと嚴かに執行さる

チチハル附近の戰鬪に於て戰死を遂げた駐奉步兵第二十九聯隊故陸軍步兵特務曹長陣野原清正氏以下九名の慰靈祭は九日午後二時から奉天忠靈塔で執行された、中央祭壇には陣歿者の位牌安置されその傍らには本庄軍司令官、本關東長官等の供物各軍隊、市內沿線の各地から贈られた多數の花環をもつて埋められ

參列者

は駐奉各軍隊、平田聯隊長を始め本庄軍司令官、總領事代理森島領事、二宮憲兵隊長、滿鐵岡田地方課長、野口民會長、木下在郷軍人分會長、藤田會頭、上田町內會總代、石田地方委員議長、立川奉天署長、各學校生徒など零下十何度の寒さにもめげず多數あり、神官の修祓に始まり、獻饌、祝詞を奏し、僧侶の讀經に次いで平田聯隊長、森島領事の弔辭あり、終つて塚本關東長官、多門第二師團長、森守備隊司令官以下二十四通の弔電朗讀

續いて

神官、僧侶、平田聯隊長、森島領事等の燒香が行はれ遺族またあらたなるものあり、來賓の獻饌、聯隊長の挨拶あり同三時過ぎに盛大に終了した【奉天電話】

二名を斃し
一名捕虜
學良の別働隊

牛心臺の兵匪討伐隊は同地より約三里追跡交戰の結果匪賊二名を斃し一名を捕虜としたが日沒に及び一先づ全員牛心臺に引揚げ九日朝更に討伐に向ふ筈である、因に捕虜は支那の正規兵の服裝をなして居り明かに張學良派遣の別働隊の合體指揮せるものなることが實證された【奉天電話】

公安隊と對時
西樹堡の兵匪

遼河西方楡樹屯の兵匪二百名はその後公安隊と交戰を續けてゐたが八日午後に至り兵匪は楡樹屯の西方西樹堡に退却し、目下公安隊と對時中であるが、同方面の住民は八日來續々奉天へ引き揚げ中である【奉天電話】

瓦斯管爆發し
數名重火傷
鞍山製鐵所の椿事

九日午後一時二十五分鞍山製鐵所運鑛工場の五號、六號還元爐の中間瓦斯管不完全のためバルブを締めきり掃除中媒燒爐に使用する本管の中に引火して一大音響と共に爆發し係織に從業中の主務者還元爐係長中黑義郎(三五)組長代理金屋數布佐一(三〇)中國人數名が顏面に重火傷を負つた、急報に接し各課長、醫官駈けつけ負傷者は直に應急手當をして鞍山醫院に運び加療中であるが生命別狀なし、原因目下取調べ中【鞍山電話】

一千圓を獻金

七日朝旅順の關東軍留守司令部を訪れた一老人、青島觀城路四號大橋慶次郎氏は高野中佐と面會して今事變に對しての軍隊の勞苦を謝した後洋服のポケットから百圓札十枚を取出し一千圓也を差出して戰死傷者の慰問に振りあて、貰ひたいと名刺を添へたゞけで受領證も受取らずそこ〜にして辭去した、高野中佐の話では同氏は去る日露戰役當時旅順二〇三高地の攻擊や奉天戰に參戰した歷戰者で戰鬪の辛苦を自ら詳さに體驗した人らしいと

土地事件の被告
十七名に求刑
十四、五日に續行公判

民政署土地瀆職事件の續行公判は八日午後一時から開廷辯護士團から各被告に對する證人調べの申請ありさらに池內檢察官から大連民政署三浦財務課長の證人喚問、土地係の土地測量申請其他書類の取寄せ方を申請、合議の結果被告中原常次郎外十六名の證人調べは採用となり、この分のみは證人調の申請がなかつた赤賀庄七外十名の分とは分離され當日續行となり、檢察官申請の分も採用となつた（この時花井博士の追悼會のため休憩）午後五時から再開し一部補充訊問の結果直に池內檢察官の論告に入る

被告全般を通じて一部犯罪を認めてゐるもの、また一部を否認してゐるが必ず當法廷で否認することのみが眞實とは認められないが收賄者側は大體に於て受け身の立場にあり本件によつて職を失ひ、永らく未決に拘束されてゐたといふ點など科刑のうへに相當酌量すべきものがある、しかし乍ら苟しくも公務執行上に於て收賄饗應の事實が少しでも存在するといふことは職權の公正を疑はれ一般官吏の監督のうへから處罰の必要を認める

と論告し左の十七名に對しそれぞれ求刑し午後六時三十分閉廷した

元大連民政署土地係　懲役四月　築地七之助
同　懲役四月　淺川英次郎
袴襪商　罰金三百圓　川原與三吉
元大連民政署土地係　懲役四月　中原常次郎
建築設計業　懲役二月　原田忠一
建築請負業　罰金四十圓　井手市吉郎

罰金八十圓安立喜▲罰金百圓王福亭▲罰金二百圓由才治▲罰金六十圓楊壽昌▲罰金四十圓劉子和▲罰金百二十圓劉傷堂▲罰金百三十圓唐根祥▲罰金百五十圓石玉璞▲罰金百五十圓石玉榮▲罰金五十圓王永常

なほ右被告十七名に對する續行公判は來る十四、十五兩日開廷

元氣の湧く泉

萬事健康が資本の世の中一刻も活動力を失つてはならぬ「ごりこの」を愛飮すればいつも元氣橫溢疲勞も忽ち回復するので大評判！

安樂椅子

滿電の入江專務さる五日の朝、月見ケ丘の自宅から自家用の自動車で出社に及ばうと疾驅して來ると、沙河口近くで大きな圖體の自動車が、どうしたハズミかヒタリと往來に立往生してる……◇……不圖これを眺めた入江さん、更めて見直す迄もなく、それは大連行きの旅大バスと知つて、さうこう車から飛び降り、一應調べて見ると、車の心棒か何かに故障が出來たらしく、容易に動きさうもない、それと知つた入江さんは、直ぐ自分の車のドアを開けて「お急ぎの方はどうぞ私の車に」と合計六名をのつけて終點までつれて來た、そして傍人に「どうだ俺のサービスぶりは」と大に得意がつたはイ、が、スグあとから「アゝ俺の會社の車だつつけナ」と苦笑【寫眞は入江氏】

曙の鐘（134）

倉田潮 作　河野想多 畫

幸福（一）

春木とたえ子の落ちついた處は利根川の岸にのぞんだ繁宮と云ふ寂しい村だつた。よもぎの知る邊は村はづれの小さい百姓家で、今は乳母だつたと云ふ人は此の世になく、その妹の夫婦が僅かな土地を耕して、細い煙りをあげてゐた。よもぎの添書を見せると、夫婦は喜んで二人を迎へて、母家から鳥渡はなれた六疊の部屋に案内し、親切に二人をもてなした。離れはもと小學校の教師にかしてあつたものださうだが、農家にしては割合にさつぱりした部屋だつた。主人は六十ぐらゐの老人で、農夫と共に漁夫をも業としてゐるとかで家の前には投網やこしごが乾てあつた。

着いた日には二人とも夕方まで我を忘れて眠つてしまつた。家の人が蒲團を出してくれたが、春木もたえ子も帶をとかずに、二枚づつ座蒲團をしいて別々に寢た。そして、夕方眼をさました時、疲勞がやゝ回復してゐるのを知つた。

二人は手を取り合つて、夕食までの僅かな時間を、川岸の方へ散歩に出た。村はよもぎの云つたやうに「草の中に埋もれて人に氣づかれぬ小石」のやうなところだつた。三面は雑木林や杉の森に深く取りまかれて、たゞ一方だけが利根川に向つてひらいてゐた。二人はなる可く人目にふれぬ野路を傳つて、雑木林に續く土堤にあがつた。

前には廣い利根の河原をへだてゝ、紫の鐵のやうな赤城山が冬空にくつきりと描がかれてゐた。そして更にその前にはセピア色に枯れた長い林が、お伽話のやうにこんもりした松林をバックにして長々と續いてゐる。

「いゝ眺めですね」

春木はさう云つて、たえ子をかへり見た。たえ子は返事の代りにしつかりと男の手を握りしめて嬉しげに笑つた。

長い間互に求めてゐた幸福が、その爲には二人とも幾度か危地に立たねばならなかつた幸福が、今完全に二人のものになつたことを思ふと、春木も何物にか感謝したいやうな氣持でたえ子の手を握りしめずにはゐられなかつた。

二人は互に熱烈な思ひを掌に感じながら、暫く默つて土堤に佇んでゐた。碧青の水の上を帆かけ舟が白く帆の影を水に映しながら川下から近づいて來た。

「たえ子さん」とつひに春木は亢奮した調子で云つた「長い間ほんとに二人とも苦み合ひましたね」

「でも、かうして最後に二人とも幸福を得られたのは、ほんとに嬉しいわよ。私、今の幸福を思つて所有る危難と戰つて來たんですもの」

「嬉しいです、たえ子さん、感謝します」

「いいえ、感謝は私からするのよ。あなたがなかつたなら、私は私は何うなつてしまつたかしれませんもの」

二人はまた默つて手を握り合つた。靜かな晴れた冬の日だつた。向ふ岸の雑木林で焚く落葉の煙が背ろの紫の赤城山へ一文字に立ちのぼつてゐた。やゝ暫くためらつた後、春木はたえ子の肩を輕く抱いて囁くやうに云つた。

「たえ子さん、では、今夜、約束して下さらない」

「……」

たえ子は恥じて顔を紅らめてうつむいた。

「いやなの」

「……」

「いゝでせう」

春木はそつとたえ子の顔を抱きあげて、唇を近づけた。たえ子はめのうのやうな美しい皮膚に夕暮の海のやうな暗い眼をとぢて、春木のするまゝに唇をさづけた。長い間の苦みもその幸福にとけて行くやうな氣持で、二人は夢見心地に暫く輕く抱き合つたまゝ土堤に佇んでゐた。

新年俳句川柳 募集

◇俳句 課題「新年雑詠」五句以内、東京市牛込區若松町八一島田青峰氏宛（滿日俳句と朱書の事）

◇川柳 課題「福」五句以内、大連市能登町十高橋月南氏宛

◇締切 十二月十五日

◇賞金 俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

けふの放送

大連 JQAK 十二月十日

▲午前七時 ラヂオ體操

▲午後六時十分 ニユース（以下内地中繼六時三十分）

▲時事講座「滿洲事變より見たる兵器」陸軍省兵器局長陸軍少將植村東彦

▲在支陸海軍々人並同胞慰問音樂會（日比谷公會堂より）慰問の辭東京市長永田秀次郎

軍歌齊唱「軍歌集其一、其二」陸軍々樂隊編曲「軍艦行進曲」鳥井啓作詞瀬戸口藤吉作曲「獨立守備隊の歌」獨立守備隊作詞陸軍軍樂隊作曲「第〇師團の出征を送る歌」土井晩翠作詞陸軍々樂隊作曲、都下各音樂學校合同合唱團吹奏樂伴奏陸軍戸山學校軍樂隊指揮樂長辻順治

吹奏樂「大行進曲正々堂々たる軍容」エルガー作曲「ガロップ「攻撃」」山本銈三郎作曲、陸海軍々樂隊合同演奏指揮陸軍樂長辻順治

君ケ代（總員合唱二回）指揮海軍樂長内藤清五

▲連續浪花節「尾花丸第一席」早川辰燕

（以下大連放送局より）

▲職業紹介事項

▲天氣豫報

▲ニユース

▲中國唱「時調大鼓」唱士喜寶、師付王振泉

滿洲日報

決議案、宣言審議了り けふ愈よ公開理事會

きのふの會議で決定

【パリ八日發】起草委員會は理事會決議案の最後的審議をなすため本日午後五時十分から十二ヶ國秘密理事會を開き同六時四十五分散會したが、右會議にて公開理事會を九日午後五時（滿洲時間十日午前一時）同日意見の一致に到達せざる場合は更に十日公開理事會を續會し結末を告げるはずである、なほ九日公開會議に先立ち同日午前十一日より起草委員會開かれることゝなつてゐる、而して本日の理事會で最終的仕上げを了した決議案並に議長宣言については幾分修正を要する點が存在するものと觀られてゐるが日支兩國共に之に反對しないものと期待されてゐる、右決議案及び議長宣言は今夜日支兩代表に通告されたが何れも公開會議前には發表されない筈

起草委員會 日支代表と交涉

【パリ八日發】決議案起草委員會は本日午前施肇基氏を招き協議した、更に午後四時からの起草委員會には伊藤述史氏が出席交涉を續ける筈

公開會議延期を要求

けふ日本代表部に訓電す

【東京特電九日發】外務省ではパリの我代表部より九日午後四時公開理事會を開催するに決定したが日本側で延期の希望あらば至急回訓ありたしとの請訓を接受したが同省では我政府の主張は未だ徹底せざる憾みありとして一と先づ公開會議延期の訓電を發すると共に本日正午政府の立場を明らかにするため重要なる訓電を芳澤代表宛に發した

委員が調査する迄

現狀維持を保持の希望

理事會側と、日本代表部との折衝はなほ釋然たる解決を見るに至らず、代表部の見込では空氣は十月二十二日後の理事會のそれよりも惡化するの憂ひ皆無といへずとされて居る、而して理事會側の空氣が斯く俄に惡化せる原因は理事會側としては錦州地方の形勢急迫を憂ひ中立地帶案を依然固執して支那側を壓服せんとして日本側の希望する撤退區域を質したるにつき代表部より小凌河より山海關に至る區域を指定したが之に對し理事會側が日本軍の不可侵線を大凌河に迄擴張せん事を要求して其間折れ合ひ得ざりしによるものである

回訓到着後 更に協議

【パリ八日發】日本代表部は問題の二點につき請訓到着せば今一度起草委員會と協議する筈であるが何れにせよ問題は文句の末に歸着するので最早纏まつたものと觀て良い

【パリ八日發】起草委員會は本日午後四時半日本の理事會決議案第五項を議長宣言中に挿入すべきものとする要求につき審議し十二ヶ國會議は午後五時開會錦州の地位を決定せんと努力するはず、なほ中立地帶放棄問題に關しては中立地帶の區域設定に關して各種の困難或は誤解あるに鑑み聯盟側では對支調査委員支那到着まで公式な中立地帶を設定せず現狀維持を保持せんことを欲してゐるものである

蔣駐日公使から直接交涉進言

南京當局の同意疑問

【上海八日發】確聞するところによれば駐日支那公使蔣作賓氏は昨日附で外交部に電報を寄せ日本の對支態度強硬を詳細に說明し一日も早く反日行爲を停止し直接交涉を進めることが得策なりと進言し來つた、但し對日認識不足の蔣介石、顧維鈞兩氏が直にこれを容れて動き得る勇氣ありや否やは未だ全く不明であると

決議案の實質

【パリ八日發】當地專門家の意見によれば九日決定を見るべく豫想さるゝ國際聯盟理事會の日支紛爭に關する第二次決議案の實質は九月三十日の第一次決議案を強調確認することゝ調査委員派遣に關しその機能を漠然決定することだけであると

ブ議長の書翰內容

【パリ八日發】七日十二ヶ國會議後ブリアン議長が芳澤代表に發した書翰內容は日本軍が現在の線より前進せず且つ日支兩軍が挑發的行動を避くべきことを希望したもの

支那警備に佛軍艦增派

【パリ八日發】フランスは支那警備のため巡洋艦プリモーギユ號を出發せしめたが更に砲艦二隻を派遣するであらう

ので之によつて敵對行爲防止の責任を該地方の軍司令官に負はせ以て聯盟の關する限り中立問題を除外したものであると解される

決議案に米國同意

【パリ八日發】駐英米大使ドーズ氏は理事會決議案に關し長距離電話で華府政府と協議した後ブリアン議長と會見し華府政府も理事會決議案に異議なき旨を傳達した

支那調査委員五名と決定

【パリ八日發】本日午後の十二ヶ國會議で支那調査委員の人數は依然五名と決定し、その人選はドラモンド氏が他と協議を行ふ事となつた

遞信局員を奉天に派遣 時局要務を處理

遞信局では豫てから時局の中心地たる奉天に進出する計畫を樹て着々その準備を進めてゐたがいよいよ九日午前九時發の急行列車で櫻井遞信局長は八島電話係長、高橋電信係長以下局員六名を引率し奉天に出發時局關係の要務を處理する事になつた

山西滿鐵理事 チチハルへ出張

滿鐵は黑龍江省新政權との聯絡折衝、四洮、洮昂、齊克各線との聯絡その他の關係でチチハルが非常に重要性を增したのでこれ等の事務を處理するため山西理事が十日午前九時發急行でチチハルに赴き當分滯在の筈である

匪賊不良分子討伐權

わが宣言を議事錄に記載

【パリ八日發】理事會決議草案及議長宣言書草案に對する日本及び支那側の最終的受諾は未だないが、十二ヶ國會議は右受諾あると否とにかゝはらず九日公開理事會を開き若し、必要あらば一日延ばし閉會する段取となつてゐるが、いづれにしても本日を以て新たなる決議案及び議長宣言の草案は完了された譯である、而して問題となつてゐた匪賊討伐問題については議長は滿洲における特殊事情に鑑み匪賊又は不良分子に因る危險なる場合は日本は警察的措置を執るの餘儀なきに至ることあるべしとの日本代表の宣言を議事錄に記載せしむることに決定し、また決議草案第五項についてはこれを決議案中に入れず議長宣言に移し大要左の如く議長から宣言することゝなつた、卽ち調査委員は現地に到着の上若し九月三十日の理事會決議が未だ實行されざる場合は同委員會はその形勢につき理事會に報告する事を得なほこれ等新草案は日本代表から本國政府に送附され目下その訓令を待つてゐる譯である

錦州軍撤退區域 聯盟の態度は無理解

【東京九日發】理事會の空氣依然樂觀を許さずとのパリ代表部よりの公電に接し外務當局は左の如く理事會に對する憤慨を開陳した

日本が錦州軍撤退區域を小凌河山海關間に限定したのは同地における支那軍の集結狀況及馬賊の跳梁狀況から見て必要だと認むるからで撤退區域を更に大凌河まで擴張することはそれだけ馬賊の跳梁區域を擴大するの結果となるのみならず日本軍の不可侵區域を擴大しさへすれば能事終れりとする聯盟の態度は不親切極まるもので日本に對し何等か重壓を加へんとする態度を捨てゝなら日本としても何時までも聯盟に信頼しないが、しかし折角こゝまで來た聯盟が今更形勢急變して徒らに醜態を重ねるやうなことはしまいと思はれる

日支の受諾確實

【東京九日發】パリ理事會決議案は匪賊討伐權並に支那調査委員會權限問題に關し日本の主張は妥協的なるため日本代表部では八日夜迄には本國政府より右決議案受諾の回答を受取る事が出來るであらうといつてゐる、又施肇基代表も南京政府に對し右決議案により最も滿足する解決が可能なる旨を通告して居るから南京政府が右決議案を受諾する事は最早確實とされてゐる

日支の保留聲明

【パリ八日發】九日の公開理事會の決議案及び議長宣言書に對し支那側は幾多の保留をなすべく施肇基氏は既にその準備をなしてゐる模樣である、一方日本も之に應じ幾多の保留をなすべく斯くて決議案は可決されても幾多の保留のため日支兩國の負ふべき義務の範圍如何は頗る曖昧なものとならうと見られてゐる、なほ施肇基氏は會議席上日本の行動に猛烈なる批評を加ふべく意氣込んで居る

中立地帶問題の對策

國際聯盟は一時手を引く

【パリ八日發】錦州の中立地帶に關する問題は議長宣言中に言及されてない事は愈々確實となつたが十二ヶ國會議が右決定を行ふに至つた事情は左の如くである

卽ち理事會は秘密裡に提案された日本の中立地帶に關する提案を審議した結果支那側が之を受諾せざる事を發見した、從つて理事會はブリアン議長に對し書翰を寄せ中立國オブザーバーは支那側が積極的準備を行つてゐない事を確めた、理事會は日支兩國が敵對行爲を停止するやうすべての積極的處置を執る事を避け現狀維持を尊重されん事を希望する旨を傳へん事を希望した、然し之は日本が新たに提案を出す事を拒絕したものでなく理事會が中立地帶問題から臨時に手を引き錦州問題については何等正式調停に到達する事なくして散會せんとする用意を有するものであると認めらる

に關し日本を重壓する或種の字句を挿入せんとしつつあり

日本に不利の二點

聯盟の空氣未だ樂觀を許さず

我代表部の公電到着

【東京九日發】一部のパリ電報によれば聯盟の空氣好轉が傳へられてゐるが八日夜外務省に到達せる代表部よりの公電によれば代表部の見込では聯盟の空氣は依然樂觀し得るに至らず日本側の主張が通る迄にはなほ曲折を經ねばならぬ事が判明した、問題は日本の匪賊討伐に關する留保條項と支那調査委員會の權限の二點にして

一、留保條項は日本代表をして理事會席上において聲明せしむべきも、之に對する支那側又は理事會の對抗的又は聲明的保留聲明を必要とせざる事について種色あり

一、決議案第五項の支那調査委員會の權限につき日本代表の提出せる對案卽ち理事會は調査委員會に對し九月三十日決議の履行狀況の報告を命ずるを得に就ても尚理事會側の應諾を得ず、理事會側は九月卅日決議の履行

滿鐵の時局對策

大連は依然滿蒙經濟の中心地

滿鐵本社の奉天移轉は出來ぬ

江口副總裁の意見

江口滿鐵副總裁は九日午前記者團と會見して次の如き重要な時局談を試みた

今月の二十日過ぎ內田總裁と一緒に上京する筈であるがそれまでに一度奉天に行くつもりである、山西理事がチチハルに行き當分滯在するが軍及黑龍江省新政權との

連絡折衝 に當るためである滿鐵鐵路の石原顧問などもチチハルに行つて居り特に本社から他の社員を派遣することはない

滿鐵本社の奉天移轉說がチョイ〳〵出てゐる樣だが經濟の中心は依然大連に在るのだから本社を移すといふ大袈裟などは出來ないだらう、交涉問題などは自然奉天が中心になるだらうが將來貨物は隨分大連に入ると思ふし大連もます〳〵重要になるそれに奉天には交通委員會も出來たことだし鐵道の仕事は特別な問題が起れば兎も角一段落片づけば大連で統制して不都合といふことはあるまい、奉天あたりで滿鐵がすべての仕事をモノポリーし過ぎるといふやうな話を聞くが意に介するほどのことでもあるまいが、滿鐵としては決してそんな考へは持つてゐない、私がいつもいふやうに

利益ある 事業だつたら內地の資本家がドシ〳〵押かけて來る筈だが事實はさうでない、それで滿鐵の地位上事業は當初滿鐵が統制してそれが獨立して行けるやうになれば內地の適當な資本家に讓つて滿鐵は次の方面に進み內地の資本をインバイトしお互ひに提携してやるのが滿蒙開發の根本だといふのが私の持論である、滿鐵事業資金について心配する人もあるやうだが首藤理事の話を聞いても年末に押詰つてあれだけの金が得られたのは滿鐵なればこそのことであつたのだ、しかし內地の金融界も緩和される時が來やうしこちらの方の事業も順序が立つやうになれば

資金の事 は決して心配は要らぬと思つてゐる、氣候が暖いので特產の出廻りが遲れたやうだが近頃大分出廻つて來た、時局の最緊要問題は錦州問題の解決だ、これが片つかなければ支那側も安定しないから是非何とか解決しなければならない、政府の腹も決つてゐるやうだ、在滿鮮農の救濟も重要問題で現在外務省の手で五千人の鮮人の生活を維持してゐるがそれも來年三月までゞそれ以後の生活の保障を與へなければならぬ、滿鐵は直接の責任は無いが私共も大いに心配してゐる、それにしてもしつかりした

政權が出 來なければ第二、第三の萬寶山問題が起らぬとも限らぬ、ハルビン事務所長は特產出廻期中は宇佐美君の兼任とすることになつてゐるからいまに後任に就いては考へてゐない、教化の奧で伊東、中村兩社員が殉職したことはまことに遺憾である、念に念を入れてやつたことだがあんな間違が起つてお氣の毒に堪へない

軍備制限によつて財政難打開が必要

米大統領教書の內容

【ワシントン八日發】米國七十二議會は七日開會フーヴァー大統領は八日上下兩院に對し今會議中に議せらるべき諸政策を闡明せる教書を送つた、右教書中フーヴァー大統領は經濟復興、產業振興を目的とする幾多の提案をなし歲入不足補塡のための增稅、金融圓滑、移民法の強化、一般的關稅改正の回避等を協調したが特に日支紛爭、豫算、均衡海軍々縮等につき大要左の如く聲明した

日支紛爭はケロッグ條約並に支那領土保全確保諸條約の精神を維持する上にアメリカに異常な懸念を與へたが、此等條約精神を充分支持する如き解決方法を見出すため寄與する事はアメリカの目的とするところである**本年度豫算不足額は二十一億二千三百萬弗にて一部借入金に依つて補塡**し得る見込みだが來年度は四十四億弗不足を來すを以つて豫算均衡を得るため增稅の要ありと信ずる、主要海軍國間に海軍比率が設定され建艦競爭は停止されたが、尚この上削減を行ふ機會を提供に相違ない、之は懸案の佛、伊兩國海軍交涉の成功に依り一層可能性あらう、**現下の經濟難からの脫却は海軍その他軍備制限を必要**とす【寫眞はフ大統領】

北寧運行指揮に外人を任命

錦州軍の行動を援助

張學良は北寧線の運行を整頓し以て錦州方面の作戰の要求に滿足せしめんがため最近同鐵路局從業員の指揮に外人を任命した【奉天電話】

天津市長代理 周龍光を任命

【北平九日發】天津來電によれば張學銘は事件以來過勞のため病氣となり天津市長の辭職を申出たので張學良は之を許可し前外交部亞細亞司長周龍光を天津市長代理に任命し王一民を公安局長代理に任命する事となつた

滿洲事變費 第二豫備金支出

【東京九日發】井上藏相は勅裁を仰ぎ滿洲事變のため軍隊出動に關する經費の豫算外支出を要し百十三萬八百七十七圓を本年度第二豫備金より支出の件九日發表した

軍縮全權一行 十五日東京出發

【東京八日發】重任を帶びてジュネーヴに赴く軍縮全權松井石根中將、永野修身中將以下隨員一行は愈々來る十五日午前九時東京驛發燕號で出發、午後諏訪丸で鹿島立つに決定したが當日時局重大に鑑み我全權の主張貫徹せしむるため軍部では在京陸海軍將校は殆ど全部が東京驛に赴き帝國在鄉軍人會でも代表三千を上京せしめ盛大に見送る事となつた

軍縮會議豫算

【東京九日發】大藏省では八日午後省議を開き軍縮會議出席の經費豫算を審議した結果總額百二十萬圓中、四十九萬圓を差當り第二豫備金支出とし殘りを追加豫算として計上するに決定した

關東廳辭令（七日附）

依願免本官 關東廳遞信書記補 加藤次生

人事

▲中根信愛氏（滿鐵社會施設係主任）沿線視察中の處七日午後八時着列車で歸連

蛇角

北寧線列車匪賊に襲はれ被害者の中には英人の北寧鐵路運輸課長も居る、現狀維持の爲め治安速復の要を見る。

◇

于右任、對日宣戰布告は出來ないと說く、蔣介石より勇氣がある

◇

蔣作賓公使、直接交涉を兩府に勸む、之れも勇氣が無くては云へない言。

◇

汪兆銘・暴力學生團に取卷かれ民衆政治を說く、突込んで學生團の無謀を說諭しないのが物足らぬ

◇

支那各地學生の救國運動猛烈、主張は卽時出兵、此種の空氣は國を誤る、之を抑へて眞勇化するは政治家の任、惜むらくは支那に大政治家無し。

◇

東北各縣不作、[illegible]小學校[illegible]を休む、是亦重大問題。

東亞の謎（145）

國枝史郎 插畫 伊藤順三

危機から危機へ（十九）

也速該は臺座から飛び下りて、伯と次郞とを指差しながら、

「人質どもだ！彼奴等だ！……日本の伯爵ともう一人の男だ！」

かう蒙古語で怒號した。

混亂が一層烈しくなつた。

侍女達は堂の隅へ逃げた。

喇嘛僧たちは樂器の傍へ走り、一齊に吹き立て奏し立てた。

神聖な婚禮を壽ぐための、それらの樂器は瞬間に變じ、兵を呼び集める合圖の樂となつた。

轉生堂が搖らぐばかりの、物凄い音樂が鳴り出した。

堂の內陣の奧の方に、非常に備へてゐた十數人の、蒙古兵どもが走り出して來た。

樂の音は堂から堂の外、廣い空地を傳はつて、地の四方へ響いて行つた。

で、この混亂の轉生堂を目がけ城の四方から也速該の部下が、譯は解らなかつたが押し寄せて來た。

也速該は傷口を押へながら、狂氣のやうに叫立てた。

「二人を捉へろ！二人の日本人を！とらへられなかつたら擊ち殺せ！」

內陣の奧から走り出して來た兵は、伯と次郞とへ飄ひかゝつた。

二發の銃聲が轟いて、二人の蒙古兵がぶつ倒れた。

伯と次郞とが擊つたのである。

ワーッといふ叫び聲が起こり、也速該の部下達は後じさりした。

「小夜子さん！次郞君！助けなけりやア不可ない！」

叫び乍ら伯爵は突き進んだ。

さうして氣絕して倒れてゐる小夜子の、倒れてゐる處へ走つて行つた。

早くも也速該が見て取つた。

彼も叫びながら其方へ走つた。

死んだやうに仆れてゐる小夜子を中心、伯と也速該とは立ち向つた。

その時伯は

「この獸め！」

と、憎惡に充ちた聲で呶鳴つたかと思ふと、銃で也速該の腰を薙いだ。

ウオーッといふやうな吠え聲を立て、也速該は飛び上がつてよろめいた。

その隙に伯は小夜子を抱き上げ左の小脇にかゝへると、右の手で銃を振り廻し、押し寄せて來る傀儡をも寄せ付けはしないぞ、といつたやうな見幕で、出入口の方へ突進した。

一旦後じさつた蒙古兵達が、その伯爵へ追縋つた。

そこを闇雲に次郞が擊つた。二發ばかり擊つたのである。

それから伯の後に從いて走つた二人は廊下へ走り出た。

後から大勢が追つかけて來、行手からも何うやら大勢の者が、此方へ走つて來る氣勢がした。

走りながら伯爵は氣を揉んでゐた。

（さつき確に洋子らしい聲で、兄さーんといつたやうな氣がしたが？助けてよーッと云つたやうな氣がしたが？）

併し洋子がこんな時刻に、こんな所へ來ようなどゝは、如何にしても伯爵には思はれなかつた。

（氣の迷ひだつたのだ、大丈夫だ）

で、一散に廊下を走つた。

洋子は廊下を轉生室の方へ、夢中のやうにして走つてゐたが、行手から鐵砲の音が聞え、暴風のやうな音樂の音が、狂氣的に響いて來、喧騷の聲が起きたらしく、危險が想像されたので、また立ち縮んで躊躇した。

（どうしやう！どうしやう！どうしやう！）

密輸入の麻醉劑は三千キロ二百萬圓

取調べ一段落で廿七名送局

國際密輸團の犯罪

多久島一味が多數外人と共謀、滿洲事變を好機に支那兵匪に武器賣込みを企てた賣國奴的密輸事件の

發覺 を端緒として滿洲を舞臺に多年麻醉劑の國際的密輸を行つてゐた米、佛、露の各國人の大密輸團が大連署の手でいもづる式に檢擧され、對外的に大きいセンセイションを起してゐたが、關東大連署では千葉司法主任指揮の下に吉富警部補、吉岡、黒岩兩刑事係りで不眠不休の活動を續けた結果、多數各國人の取調べも漸く九日一段落したり銃器及び麻醉劑取締規則違反の一件書類と共に一味二十七名を送局するに至つた、この結果從來滿洲に於ける禁制品は殆ど日本人の手によつて動くが如く國際聯盟方面に於ける

心證 を惡くしてゐたが、今回の檢擧でこれと反對に外人密輸團が堂々と表面に立ち、或は裏面に於て大々的密輸を行つてゐたことが立證され、昭和三年以來外人團の巨頭佛人ヘンリー・バックリー及び日本人側の主魁多久島等の手によつて滿洲を中心に國際的に取引された麻醉劑の數量は實に三千キロ、總額二百萬圓以上に達するものと見られ、その大規模な點では未曾有の大檢擧である、一味二十七名の氏名及びその犯罪内容及び密輸の

徑路 を探聞すれば左の如くである

市内山縣通一六六番地　貿易商　多久島六四（四二）
市内沙河口巴町三三番地　洋品雜貨商　溝口　富作（四四）
市内山縣通六十六番地　多久島店員　犬塚　茂（二三）
市内若狹町百五十七番地　無職　原口　龜次（二一）
市内常陸町九番地　米穀商　林田佐登志（三八）
市内東鄕町六十一番地　仲介業　劉　又助（五九）
市内加賀町三十一番地　無職　正木　保雄（六七）
市内山縣通百六十六番地　多久島店員　草野　權次（二三）
市内若狹町八番地　貿易運送業　立石　修（二六）
市内北崗子一番地　運送業　永尾　五郎（二四）
市内惠比須町四四番地　運送業　佐藤　實（二四）
市内薩摩町三六番地南山寮　滿鐵社員　藤田　末一（二〇）
市内天神町十八番地　滿鐵社員　容貝　信雄（二三）
市外西山會香爐礁第二區七九　大連海關傭人　董孝友（二五）
市内山縣通一六六番地　多久島店員　高峰　龍行（二四）
市内山縣通六三番地　運送仲介業　井上　宗二（四二）
佛蘭西シエルシエール市、當時大連市神明町七〇番地　貿易商　バックリー・ヘンリー（四五）
リスアンヤ・シエナイ市生當時大連市東公園町三番地　バックリー商會事務員　ボリス・ボクダノスキー（四八）
北米合衆國サンフランシスコ市生當時大連市山縣通一三八番地　貿易商　ジョージ・トライブ（二九）
リスアニア・トロツキー市生れ當時大連市寺内通七番地　貿易商　ニーソング・ラネフスキー（三〇）
市内西公園町八十九番地　清涼飲料水業　杉本　權次（三九）
舊ロシヤ、クレミンミユク市生當時大連市柳町七七番地　無職　ヤコフ・グレビッケー（四三）
蘇聯チエルニーゴフスカヤ縣生當時大連市東公園町三番地　貿易商　ヤコフ・レルチツキー（四五）

既に大連檢察局で起訴された分は左の三名である
市内旭町八番地　米穀商　土井眞太郎（四三）
市内聖德街一丁目八番地　洋毛貿易　辻本　茂（三二）
市内近江町二二一番地　雜穀商　小池　幸吉（四一）

フランス人を首魁に活躍

外人關係の密輸者

一方外人關係は佛人ヘンリー・バックリー（前記）が巨頭で彼は世界各地に密輸に關係ある支店を設置し驚くべき大規模の密輸常習者であり、本年五月フランスパリの銀行經由で駐在員たるギリシヤ人ダラント、エリー・エリユーツルス等の手で數回に亘りペンゾイリン約三百キロ價額百八十萬圓を滿洲に密輸したのを初め、同月トルコよりモルヒネ多量を例の天勝式密輸箱でシベリヤ經由大連に輸入、日本人密造業者に精製させてゐた、即ち共犯の辻本茂がヘンリーの依頼で聖德街及び旅順方面で精製、一部を多久島が密賣し共犯ボクダフスキーが店員として共犯ジョージ・トライブ及び多數日本人を手先に使ひ賣捌いてゐたものである

またグラネフスキーはハンブルグ在住の叔父に當るシベリヤンスキーと氣脈を通じ多年に亘りハンブルクから直接滿洲へペンゾリン、ペンチールなどを密輸し共犯杉本等を手先に使ひ廣く密賣の手を擴げてゐた、共犯ウレビッチドナツキーは單獨又はヘンリーの手先になり表面貿易商を看板に日支人相手に密輸、密賣しつゝ我警察權内を横行してゐたものである

ビール箱で拳銃密輸

獨逸から送る

未曾有の國際的麻醉劑密輸團檢擧の端緒を作つた市内山縣通り一六六番地貿易商多久島六四（四二）の賣國奴的武器賣込み事件は去月中旬奉天驛で黒龍江軍に發送途中、モーゼル拳銃一號十三挺、彈丸一萬五千發、モーゼル二號五挺、彈丸九千五百發を差押へられてより暴露したが、銃器輸入系統はドイツ駐在の某外人が十一月初旬ハンブルグよりドイツビール百箱のうちに多數拳銃を隱匿して多久島宛に發送、共犯の原口、犬塚、草野、高峰等が大連埠頭から陸揚しそのうちから拳銃十八挺、彈丸二萬四千五百發を某地宛の外人宛に發送を取押へられたもので、殘り銃器の大部は既に支那兵匪の手に渡つた模樣であり、この間の事情は某外人逮捕を俟つて鮮明となるであらう

麻醉劑は各地から

四年間も犯行

主魁の多久島が多年に亘り多數外人と氣脈を通じ大規模の麻醉劑密輸を行つてゐる新事實が發覺するに至り、俄然大連署で活動を開始、各國人二十七名の檢擧を見た、その犯罪内容及び密輸系統は昭和三年五月から四年三月まで多久島がパリ居住のポーランド人エーチトクブク、佛人アイセンバーグ兩名の手を經てフランスマルセイユから約百キロのペンゾイリンを輸入、昭和四年四月から六年七月までに多久島の手でドイツのタニラ商會、ウルフ商會、ヒユシユ、ヒリクセン商會等から前後數回に亘り約五百キロ、價額約三十萬圓のペンゾイリン、ペンチールを密輸入してゐる外、當局の目を掠めるためドイツから小包郵便で奉天宛發送し數回に亘り約二百キロのペンゾリンを密輸したこともある

これら麻醉劑は何れも共犯原口、栗田（未逮捕）ジョージ、トライブ等の手で密賣させ、またモルヒネは外人側の巨頭ヘンリー等と共謀、大連市旭町旭洋行こと土井眞太郎、三春町昭和洋行に卸し精製密造されてゐた

なほ共犯の草野、高峰、犬塚等は多久島の店員として情を知り輸出入、密賣買、密受授に從事し原口は密賣の手先、溝口は發着の荷物係、井上は天津と大連間の連絡係に活躍してゐたものである

外人記者團が視察中に公太堡に兵匪が來襲

わが警官隊が應戰して撃退

公太堡にて　鹽谷特派員發

五日夜の匪賊來襲以來公太堡農場に危險迫るの報に接した奉天署では軍部と協議の結果八日午前十一時飛行機にて同方面の偵察を行ふと同時に警官隊を組織し、倉迫警部補以下二十二名を同地に派遣するとの事を聞いた記者は在奉外人記者五名と共に一行に加はり午前十時奉天を出發公太堡農場に向つた、途中何等の障りなく、公太堡農場中央事務所に着いたが午後六時頃に到り、**約二百名の匪賊が遼河を渡り公太堡目がけて移動を開始したとの急報**に接したので農場事務所では直に長距離電話で新民府を經て奉天署へ急報すると共に全員防備の位置についた、しかし不氣味な脅迫をうけつゝ夜は更けて行つたが、同農場に匪賊の來襲はなくかへつて午後十一時頃奉天西方四里の三林子附近に約百名の匪賊が來襲し公安隊と交戰後逃走しその戰ひに於て公安隊員二名が死亡し七名が重傷したとの報に接した、ところが**九日の午前四時頃に至り突然公太堡農場西北方四里の地點に約五十名の賊團が現はれ公太堡農場目がけて盛んに射撃を開始した、わが警官隊は直にこれに應戰し約三十分間機關銃の猛射を浴びせたので賊は西方に逃走暗にまぎれ込んでしまつた、**こゝの賊團は八日午後六時遼河を徒渉して東進して來た約二百名の賊團の斥候部隊と推定された、公太堡農場には目下銃器を多數に收めてゐることを知り武器彈藥に缺乏した賊團がその補充の目的で來襲して來たものと觀られ又その後續部隊は相當優勢の模樣である、聞くところによると勸業公司東北公太堡農場には從來千五百名の鮮農がゐたが近來の馬賊來襲におそれて四日夜以來續々引揚を開始し既に千二百餘名は奉天に引揚げ殘り三百名も男子のみである、本年の收穫は大部分搬出濟みで殘つてゐるものは極く少數の來年度の種物のみである、西公太堡農場にある中央事務所には警官二十五名、公司事務員五名、鮮人二十名がゐるが**無人の家は點々として曠野に散在してゐるが何れの家からも一筋の煙も上つてゐない、**何れも決死の覺悟で事務所の警戒に當つてゐた、わが警官隊が公太堡救援のために來つたことを知つた**附近部落民は一行が拵つてゐる日本國旗を歡迎すると**共に大民屯その他の部落より續々救援隊の派遣方を公司事務所に懇請して來る有樣だ、また沙嶺子を中心とした一帶は警官隊派遣の報に接して早くも人心が安定してゐる、警官隊と同道二十日公司事務所に一夜を明した外人記者ニユーヨークヘラルドのキイーン氏、インターナショナルのハンター氏、ロンドンデリーテレグラフのゴールマン氏並に北平英國大使館附武官フレッザー氏等は**來襲し來れる賊との交戰狀態を目のあたり見てわが軍憲の匪賊討伐に對する苦心を知り今回の事變に對する認識を**一層新にせるもの、如く感慨深げに記者に語る

支部の田舍旅行は決して始めてゞないが僅か六里の道を六時間もかゝる程の曠野の中の惡道路に六百町の永田を耕作してゐる鮮人の努力は全く敬服に價する、殊に匪賊の掠奪には絶えず身邊の危險を感じながら尚踏み止まつてゐる苦心の程は察するに餘りがある

なほ外人團記者一行は九日早朝の匪賊の銃火に洗禮され直に身仕度を整へて正午奉天に歸つた

再び襲撃の準備中

遼河の西岸に集結す

九日午前七時斜戸屯部落よりの情報により耿紀洲を頭目とする約千名の正規兵を混じへた兵匪團は八日午後より遼河西岸に集結し、遼河を渡り公太堡方面を襲撃すべく準備中で、これに對し鮮團長が引率する五百名の支那自警團は東岸を守り、目下對峙中であるが、形勢の不利を鮮團長は公太堡に報じ我飛行機の應援を懇請して來た【奉天電話】

飛行爆撃要請

公太保東方灣公屯に約千名の兵匪集結し、再び農場襲撃のおそれあり奉天署では軍に對し飛行爆撃を要請した【奉天電話】

死を覺悟し封筒に『御布施』

殉職した中村岩藏氏

吉長鐵路局よりの願ひ出によつて敦化東方地區の交通狀況調査中七日支那側より狙撃を受け伊東萬次氏とともに殉職した滿鐵技術員中村岩藏氏は大正十二年滿鐵へ入社し同十三年奉天より遼陽に轉任となり、上下の氣受けもよく、人好きのする人であつた、家族はトメ子夫人と、長春西廣場小學校に教職をとつてゐる令孃さき子さんの三人である、中村氏が調査へ出發後トメ子夫人が中村氏の机を整理いた處、約三十枚の狀袋に親戚や知人の宛名が書いてあり、又外に「御布施中村家」と書いた一枚の封筒があつたが、今にして思へば中村氏は既に死を決して出發したものであることが知られ、通夜に集つた人々は何れも中村氏の殉職を悼むと同時に、氏が平素職務に忠實であつた事を思ひ、今更ながら感激の涙を流してゐた、なほトメ子夫人は八日午後七時十八分發列車でとりあへず長春に赴き留守宅はさき子孃によつて守られてゐる＝寫眞は殉職した中村氏【遼陽電話】

兩氏の遺骸長春着

今夕南下する

殉職滿鐵社員伊東、中村兩氏の遺骸は在長滿鐵社員全部及官民多數の出迎へを受けて九日午前十時五分長春着、直に自動車にて滿鐵醫院に向ひ死體の手當を受け急造の木棺に納められ白木綿を以て蔽はれたが午後四時半發急行にて南下し遼陽にて中村氏の遺族のみ下車し一路大連に向ひ十日午前八時着の豫定である、なほ長春驛には當日最初の一般乘客の受付けをなしたが非常に多數の市民が詰めかけ衷心から哀悼の意を表した【長春電話】

殉職に決定

伊東、中村兩氏に對し滿鐵では殉職社員として遇するに決定した

各皇族方が御慰問品を下賜

【東京八日發】秩父宮殿下始め各皇族方には滿洲事變のため出動中の將兵を御慰問遊ばさるゝ思召で全將兵に對し煙草を、病兵には御菓子を下賜の御沙汰あり九日軍部を經て傳達した

御紋章入煙草を下賜

【東京九日發】派遣軍御慰問のため皇后、皇太后兩陛下初め皇族方より本日御紋章入煙草を下賜された

遺骨を迎へて市で慰靈祭

來る十三日甲埠頭で

昂々溪大興戰の戰死者遺骨は十三日出帆はるびん丸で歸國するが大連市役所では十三日午前八時三十分より甲埠頭廣場において慰靈祭を執行する事となつた、當日の定期船出帆時はなるべくテープの交錯或は喧騒に亘らぬ樣一般に注意されたいと、なほ遺骨の内譯は左の如くである

歩兵四聯隊川名特務曹長以下四名分、歩兵第廿九聯隊陣野特務曹長以下十名、歩兵第十六聯隊武者少尉以下四十三名、歩兵第三十聯隊井上大尉以下二十九名、騎兵第二聯隊吉澤中尉以下五名、野砲兵第二聯隊佐々木曹長以下五名、工兵第二大隊一名、自動車隊川野少佐、獨立守備兵第一大隊一名、同第二大隊一名、同第三大隊二名、第五大隊一名、同また名譽ある廢兵は奉天方面より十二日午前七時大連着、旅順より十三日午前八時十分四日前八時十分大連に到着し十三日午前十時出帆はるびん丸にて約三十一名、十四日午前十時出帆貴州丸で約五十名それぐ送還される

滿鐵主要驛に記念スタンプ

近來の滿洲觀察團旅行者は單に名所見物と云ふ氣分ではなく各觀察地で可なり熱心に見學するやうになつたがこれに伴つて旅行記念帳を携帶して主な箇所で記念スタンプを需める向がめつきり殖へたのでその希望に副ふために滿鐵では主要十五驛を選んで記念スタンプを備へつけることゝなり先般來鐵道部宣傳係で意匠圖案を考究してゐたがこの程各地の風物を取入れた優秀なものが出來上り近く實行する筈であるから旅行者に大いに歡迎されやう【カットは記念スタンプ】

お國のために靴磨き

今日のお晝休みの滿鐵社員倶樂部の玄關で中年の一紳士をまん中にその椅子の下にしやがんで靴を磨いてゐる三人のスウーターの少女、上のボールドには「軍資獻金、お國のために靴を磨かして頂きます、五錢」と大書した紙が無造作に鋲でとめてある、三人の少女はいづれも彌生高女の一年竹組のクラスメート【寫眞は靴を磨く女學生達】

ロジャース君飛行機で來連

映畫人であると同時にアメリカが誇るユーモリストであるウイル・ロジャース氏は去る四日東京に着き各方面でその特異なユーモアを發揮してゐたが、滿洲の戰跡視察のため九日下り機にて一時周水子飛行場に着、直にヤマトホテルに入つたが、同夜急行で渓城へ出發の筈である

矯風會代表慰問に來滿

婦人矯風會の全國百五十一支部では滿洲出動軍隊に對して最も有意義な慰問をするために林歌子、久布白落實兩理事を實地視察に派遣することゝなり兩女史は八日神戸發はるびん丸で渡滿、十一日來連する、なほ林歌子女史は大連で講演するさ

新城子附近を騎馬で掠奪

虎石臺の守備隊出動

九日午前三時頃新城子西北方十六支里の大孤家子を山中好を頭目とする約百名の騎馬匪賊襲撃し、掠奪横行、目下朝食中との報に接した虎石臺守備隊は中隊長以下六十名、午前九時四分虎石臺發列車にて新城子經由現場に急行した【奉天電話】

新民中心に約六千

新民を中心に最近では約六千名の匪賊が谷地に散在し不逞行動をほしいまゝにしてゐるがその地方別數及頭目は左の通りである【奉天電話】

北方公主屯（頭目老二哥）一二〇〇▲東北方高臺子（樹子、大武、小辨、戰北、大老疙疸、一〇〇〇▲巨流河高力屯（九省）七〇▲東方三棵樹（保子）六〇〇▲長溝沿（東洋）六〇〇▲白旗堡（桂國）六〇〇▲其の他右地方一帶を浮動しつゝあるもの（江字）七〇〇（山字、南使）九〇〇

練習艦隊旅順へ

今村司令官、白玉山に參拜

帝國練習艦隊磐手、淺間の兩艦は豫定の如く九日午前八時旅順港外着黄金山沖に投錨、これより先警戒丸にて出迎へたる大谷要塞司令官、關東軍留守司令官高野中佐、松下要塞參謀關東廳より竹内、田邊兩課長、齋藤民政署長代理、祇川在郷軍人海軍班長、永山市長等は旗艦磐手に今村司令官を訪問、これに對し今村司令官は淺間艦長榊谷大佐、磐手艦長岡田大佐以下幕僚を隨へ同九時三十分上陸、佐藤旅順無線電信所長の案内にて白玉山參拜の後關東廳に塚本長官其他各方面を歴訪答禮した、また候補生は海軍關係の案内にて白玉山參拜、乘組員一同は各艦午餐上陸し個意に白玉山參拜・戰跡市中の見學をなした

艦入港と共に市中は國旗を掲揚して歡迎の意を表し第一小學校生徒は海務局前に整列、各町内旗を海岸に樹立歡迎し、なほ船渠工場、旅順驛の浴場を開放して隨時入浴せしめ旅順案内繪葉書などを贈呈した

塚本長官答禮

塚本關東長官は三浦、中谷兩局長、室田秘書を隨へ九日午前十一時十五分旗艦磐手に今村司令官を訪問答禮した

軍人後援會で留守宅を慰問

大連軍人後援會では八日午後三時から民政署會議室に於て評議員會を開き今回の事變に鑑み既報事業の遂行に關し協議したが異議なく原案を可決した外役員は大連市より出動してゐる十八名の軍人の留守宅を慰問する事とし更に事業遂行のため豫算一千圓を追加し同四時三十分閉會した

常盤青訓所

大連常盤青年訓練所の第五回修了式は十日午後七時より同所において擧行する

天氣豫報　十日

北西の風（晴）

各地温度

九日午前十一時

	最高	最低
大連	零下一、八	〇、四
旅順	〇、八	〇、九
營口	零下四、六	零下五、五
奉天	同六、九	同七、二
長春	同九、八	同一三、五

けふの小洋相場（正午）

金百圓は一二二五圓四五錢

暗流阿修羅館 (267)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

傾く大樹 (二)

その時、忠徳は胸の中で、頭がくらくらとして倒れさうになつたのをやつと堪へた。

(惡いことは出來ないものだな、やつぱりそれでは、その怨みで連れて行かれたんだな、お丶寒い!身顫ひが出らア)

(何でもそれをきつかけに、田沼の父子の惡事がみんなばれたさかばれるとかいふ話だ、上樣を……)

あとはひそひそ、

(ふーん)

(何とおそろしいことをするぢやないか)

(何でもこんどはうちの殿樣と松平樣とが田沼に代つてお城をすつかり組織をお改めになるといふことだよ」

(すると、若殿の立場はどうなるだらうな……)

その時、そのやうな話が聞えてゐたのだつた。忠徳は息をひそめて、割れるやうな頭痛を押えてきいてゐたが、あとはひそくと聞えなかつた。

あのやうな下郎たちでさへ、自分の身の動靜について興味の目を向けてゐる。築地の兄意知の屋敷の門に一人の男が首をくゝつたといふことも秘密にしてあつたが、自分たちよりもむしろこのやうな下々の者は何もかも知つてゐた。

(殿中で殺された惡人の弟だ)

云ふと云はねど、十人が十人、二十人が二十人、自分を見る度にさう思つてゐるに相違ない。ましてて、養父水野忠友は、そのことに心を勞さないでゐられようか。

忠徳それ自身にも養父の立場の苦さはよくわかつてゐた。

が、自分は武士だ、この水野家をよそにして、どこに他に歸るべき家があらう。と心を心に確固ともつてゐた。

が、忠友は

「では、思ひ切つて云はうか」

と、急にむづかしい顔をした。

「はい」

忠徳はまつすぐに養父を見た。

忠友は、云ひかけて、云ひしぶつた。が、しかし口を切つた。

「其方はいま、前ての恩といつたな」

「はい、海山にも代へがたい大恩でございます」

「それなれば、わしからその恩を押賣をする樣だが……」

また云ひ澁つた。

「仰有つて下さりませ」

「その大恩ある松平の家名に……」

「よくわかりました。松平の家名に疵がつくから、身を退くのが當り前だと仰せあるのでございませう」

「………」

答へない忠友の目には淚が光つてゐた。

忠徳はそれをたしかに見た。そして、がつくりと俯向いた。

「よくわかりました」

「それに、あゝして意知どのが亡くなられたからは、田沼殿のお家は其方が嗣ぐより他はあるまい」

「まだ他に澤山居ります」

「いや、その人たちは、また小さい上に、みな腹が異つてゐる」

「………」

「それと、田沼殿も元氣なやうでも、もうお年ぢや、お心細いであらう」

云はれて忠徳は涕をすゝつてゐた。

忠友も目をこすつて

「それには其方は丁度よい相談合手ぢや、戻つて孝行をつくされる方がよいであらう」

が、忠徳は返辭をしなかつた。そして懷から紙を出して涕をかんだ。

キネマと演藝

學生デー献金
日本廿六聖人

大連社員倶樂部主催の大連中等學生映畫デーは來る十、十一日の兩日協和會館に於て日活超特作品時代劇「日本廿六聖人」十九卷を上映、今回は特に特別デーとして戰死者遺族慰問のため會費を二十錢となし、そのうち十錢を献金し費用不足分は倶樂部にて負擔することになつた。各學校の割當は十日午後一時から商業、技藝、家政、同六時から一中、二中、十一日午後一時から神明、女子商業、羽衣同六時から商業その他である

献金舞踊會
櫛木氏演し物

大連舞踊研究所主催の献金舞踊大會は既報の如く來る十二日夜協和會館にて開催するが、櫛木龜二郎氏の出演番組はドルドラ作のスーベニヤ、トンキノイズ、シャルダス及び吉井正子孃を相手役としたショパンのノクターンの四種であるなほ前景氣が頗るよいから座席券はなるべく當日午前中に引換へられたいと

東活で慰問の夕

東活が總出動して來る十日午後五時より京都公會堂において滿洲派遣軍慰問の夕を開催當日は特に京都在郷軍人會長陸軍少將杉村勇次郎氏も出場講演し當日の入場料は全部滿洲駐屯軍に贈る慰問袋の基金として慰問袋は十二月下旬再び渡滿する、東活撮影隊に託することになつてゐる

大劇の家庭劇

目先の變つた演出を以て各地で好評の家庭劇曾我廼家一郎一座は十一日から大連劇場に出演するが、初日狂言は左の如くである
▲第一 トランク(一場)▲第二 一夜剛情と我儘(三場)▲第三 の情(一場)▲第四、濱の兄弟(一場)▲第五 心の脱線(二場)

噂話

「日本廿六聖人」の初日は天候に祟られて協和會館約八百といふ成績だつたが▲基督教婦人職合會の手だけでも四千以上の前賣券を捌いてゐるから▲今夜の協和會館は勿論滿員だらうし、二千以上の前賣券が帝國館に利用されるものと見られてゐる▲既にきのふ初日早々から帝國館へ約二百枚の前賣券が通つてゐるとのこと▲結局帝國館の揚り高からも約二百圓献金されることになり婦人職合會を合すれば相當の額に上るだらう▲それに學生デーも半額献金するといふから「日本廿六聖人」らしい興行である▲長大日活館主は東活實演隊の要件を帶びて長春へ交渉に行つてゐる

ダイナマイト セシル・B・デミル監督のメトロ社部分トーキー十三卷で炭坑爆破の音響効果が期待される、俳優はコンラッド・ネーゲルとケイ・ジョンソン孃とチャーレス・ビックフォードの三人が共演してゐる【映樂館開館興行に上映】

映畫界の總決算 (三)
昭和六年度

▲十月 大衆文藝映畫へ續々東活スター参加、松竹山本營業部長支配人に榮轉、惡麗之助監督死去、元マキノの内藤常務獨立プロの旗擧げ、ユーナイトの平田社長渡米、不二映畫を日活が配給する説起る、東和商事BIPと配給契約
▲十一月 櫻富士子死去、不二映畫舊山本發聲のスタヂオ使用と決定、赤澤キネマ製作に乘り出す、新興キネマと大衆文藝映畫の提携、東活が滿洲事變の實情を映畫で全世界に紹介すべく製作、月形龍之介淺草で實演、帝劇一日より映畫興行館となる
▲十二月 ウイル・ロヂャース來る、内務省檢閲室社會局分室に移轉、山本馬之助氏により大阪に勞資協調による協立映畫プロ出現、高田、岡田松竹復歸の說噴傳さる

本社特選 新棋戰 (其六)

平香交 七段 △溝呂木光治
平手番 六段 ▲山北孫三郎

【圖は二三金迄の局面】
△溝呂木氏「持駒」銀歩歩
▲山北氏「持駒」銀歩歩

△二四歩 ▲同金
△二三歩 ▲二七歩
△同飛 ▲二六歩
△同飛 ▲二五歩
△二九飛 ▲二三金

【土居八段講評】△圖面の場合山北君は一旦七九角と引いて敵の二筋を狙ふ手段あれど二六歩同飛、三四桂と手順に跳られて豫防さるゝ憂へあれば、本譜の如く直に二四歩と突き捨て二三歩と打捨て、烈しく攻勢を繼續したのは頗る活氣ある良策である。

【萩原六段解說】山北氏の二四歩は次に二三歩打にて、以下先手を取る意味であつて飛車の活用を圖つてゐる。溝呂木氏の二七歩以下の應手は二二桂を助ける手段である。山北氏の二九飛は手順に敵の七三角出を避けたのである

羽根フトン專門 勝山洋行 連鎖街京極 電二二二八番

滿鐵社員消費組合の撤廢運動再燃す
奉天商店協會がけふ總會を開き全滿商人の注意喚起

過日大連商工會議所より軍部に具申せる滿蒙産業確立策のうち對內的希望の一項として滿鐵社員消費組合改廢問題を加へてより多年滿洲商人の目途としてゐた滿鐵社員消費組合撤廢問題は各商人間に再燃し奉天商店協會においては該問題について寄々

協議中 のところ七日委員會を開催、滿鐵社員消費組合撤廢運動に就いて協議をしたが、九日に再び臨時總會を開き組合撤廢問題に就いて全滿商人の決意を喚起し徹底的運動を起すべく、七日の委員會で決定した左の如き要旨の勸誘文を

各方面 に發送し九日大連商議にも同文を送り撤廢運動に就いて支持を求めて來た、右大要は左の如くである

滿鐵社員消費組合改廢問題に關しては客年滿洲經濟聯盟に於て目的を達成すべく鋭意努力を願つたが遂に効果を果さなかつた今日の滿蒙新産業政策確立に當つて其の原動力たる在滿商人振興に就いては必要缺くべからざるものであり、この際軍部の支援を得て目的貫徹に努めたく思ふが軍部においても今日までの軍事行動を以て滿蒙政策の一段落とする模樣であるからこれを機會に各關係方面においてこの運動に合流目的貫徹に努められたい

歐洲航路への社外船進出
ボンドの慘落により早くも拔差しならず

ボンド爲替は歐洲大陸市場の賣物續出のため連日崩落の一途を辿つてゐるが九日入電の英米クロスは三弗二十五仙八分の七に暴落、十年來の安値を現出した、これがため正金では對英建値を八分の五方引上げ三シル零ペンス四分の一に引上げたが右建値は我國幣制確立以來の

最高値 であるといはれてゐる、かくの如くボンド爲替の異常なる慘落により、貨客運賃にボンド建を使用する內外の各船會社は何れもその運賃收入に於て採算が立たず困窮の深淵に彷徨するのやむなきに至つた、就中最も顯著なる例は世界的一般財界の打續く不況による荷動き激減のため必然的に生じた過剩船腹を消化する窮餘の一策として、滿洲特産物の歐洲船輸出を企てた郵船、商船を除く一般社外船主である、山下、三井、國際、大汽を始めこれ等社外船主は何れも近海大型船の遠洋進出を以て海運界不況打開の一途となしてゐたが、滿洲事變直後の銀價の

奔騰や ボンド爲替の激落等で一時買見送りの姿にあつた歐洲筋が、十月中旬より十一月初旬にかけて反動的に滿洲大豆の買進みに轉じ、一時的ながら多數の成績をみたのに好機逸すべからずとして、或は大連に或は浦鹽に於て、それぞれ大豆滿船物の積取りを行ひ郵船商船を壓倒して異例的な活況を呈してゐた、然るに一時安定したかに見えたボンド爲替はその後逐日軟弱歩調に轉じ落潮漸々として、崩落また崩落遂に三弗二十五仙臺に墜落したので運賃收入の上よりみれば全く採算點の外にあり、かくて社外船主の歐洲航路への配船は全く手も足も出ぬ窮境に陷り

僅かに 獨逸船、諾威船が瞬當り十六志を以て五百噸乃至千噸といつた小口物を積取り居るに過ぎない有樣であり、浦鹽積も略同樣の狀態である

印度で莫大小製造計畫

【東京九日發】印度國産工業發展組合はボンベイ工場內にメリヤス

宋子文氏の豪語
關稅に手を觸るゝ者あらば全滿稅關を閉鎖せよ

【パリ八日發】支那代表部は宋子文の聲明として左の如く發表した國府財政部は若し關稅收入に手を觸れんとする者あらば在滿稅關を總て閉鎖せよと命令した、若し日本がこれに支障を與へる如きことあらばそれより起る廣汎な影響は日本がその全責任を負ふべきものである

金本位制の惱と、金爲替準備
(二) 金爲替の意義と性質

舊い意味における金本位制度に對して新しき金本位制度たる金爲替準備が、貨幣制度史上、大戰後に現れた大きな現象なること並にその成立理由は前回に指摘したが、一體金爲替準備とはどんなものであらうか?

◇

先づ在來の金本位制度が、金の一定分量を貨幣價値の單位と定め、國內に對しては紙幣と金との兌換、國外に對しては金の自由な流出入を原則としてゐることはいふまでもない、從つて金準備即ち金貨の準備が必要となるが金爲替準備においては、この金準備の代りに金爲替を以て充てやうといふのである

◇

ところで茲に金爲替といふのは單に金によつて計算授受される爲替に何でも差支へないかといへば決してさうではない、通貨政策的見地において、それが國際金融の中心市場に存在し、而も國內正貨に代つて通貨發行準備にあてらるべきものでなければならぬ、從つて一般的の在外殘高や在外資金とは性質を異にし、政府資金で貨政策上、通貨準備に充てられないものは金爲替とならない

◇

さて中央銀行は、この金爲替を貨幣と同樣に取扱ひ、これを引當て爲替を賣却して通貨の對外價値を維持することが出來る、これがためには假令對內的には金の兌換が行はれなくとも金や貨幣價値の單位を常に一定に保持することが出來るのである、かくて金爲替は對外關係において國內正貨の代用たるべき主として國際金融の中心市場に保有されることゝ、直に資金化され得ることのであり金に對する請求權を有する中心市場において

獨逸の年末經濟難局切拔緊急令

【ベルリン八日發】ドイツ政府の年末經濟難局切拔けの新緊急令は八日大統領の署名を受けた、右は各種物價・俸給、家賃、一般債務等に強制引下を要求し廣範圍に亘つて一種の經濟國家管理を行ふと同時に國內の不安動搖を防止する治安機關の非常活動を規定するものである

八日ドイツの經濟難局につき左の如く言明した
ドイツは國難に際會してゐるが余は飽くまで憲法の秩序維持に邁進せんとす。若し國內に動搖起る場合戒嚴令布告も辭せぬ最近の國粹社會黨の行動は目に餘るものあり、ヒットラーの補佐役達の間に氣儘な政治的企てをしてゐるは眞に心外である、吾人はこの際各國の爲政當局へも賠償金問題に關し妥當ならざる方策を見合せられ度き旨切望す

內容

【ベルリン八日發】ドイツ政府緊急令の內容左の如し

一、鐵石炭等組合協定値段あるものは七月の時價を基礎としその一割を減じて公定市價とす
一、電氣瓦斯水道運送等公益的諸事業料金は二割五歩減額
一、家賃一割乃至一割五歩引下ぐ
一、他の一般小賣物價は物價委員會の決定により引下ぐ
一、公私の債務は其の三分一乃至二分の一を減ず
一、雇傭者賃銀は一千九百二十七年一月を基準として其の一割を減ず
一、官吏の俸給は九歩減俸
一、營業稅は引き上げて二歩とす
一、外國逃避資本を嚴重に取締り租稅回避の爲外國に滯在すと認めらるゝものは四ケ月以內に歸國せれば所有財産に二割五歩を課稅し且つそれより遲れて歸國せざるものは懲役に處す
一、個人所有武器軍用品を沒收す
一、警官の權限を臨時擴大す
一、定まりたる正服着用者多數の集會を禁ず

獨外相の言明

【ベルリン八日發】ドイツ首相は

大連會屯金融組合の業績

十一月中における大連會屯金融組合の業績左の如し(單位圓)

項目	金額
▲預り金	
本月中預入金	六、五三九
同拂戾金	六、一三二
月末現在高	九、五八七
前月末比較	增 四〇八
本月中預入洋	一八、〇七三
同拂戾洋	六、三四六
月末現在高	一二四、二八二
前月末比較	增 一一、七三八
▲貸付囘收	
本月中貸出金	一四、一一〇
同回收金	四、七二〇
月末現在高	九二、二五〇
前月末比較	增 九、九九〇
本月中貸出洋	一〇、七二〇
同回收洋	一二、三〇〇
月末現在高	一三四、〇五〇
前月末比較	減 一、五八〇

米棉繰上高

【ワシントン八日發】アメリカ國務省調査によれば十二月一日現在新綿繰上高は千五百二萬三千四百五十一俵である

卸賣市場
十一月中の賣上高

市設中央卸賣市場の十一月中における賣上高は點數一萬六百四十六點、金額七萬六千二百十圓にして前月に比し點數六千二百七十二點金額一萬三千八百四十七圓を減少した、これ內地より果實類の輸入增加を示したが、州內製産品が愈々終末期に入りて入荷急減した結果にして前年同期に比し點數二千二百四十七點、金額六千三百二十圓を

激減

したのは紀州蜜柑が荷受組合の組織により輸入の統制を圖り該組合の拔ひとなつた結果當市場への入荷を見ざりしと地物林檎の貯藏品多くして朝鮮物の入荷遲延したのに基因する、而して商況は一般財界の不況に追隨し依然軟弱を極め漸く需要期に入りたる內地生産品、就中柑橘類は時局の影響を受けて奧地取引杜絶の傾向にあるため一般に荷間へ滯貨の醜狀を遞り、從つて生産者の多數は出荷の調節上送荷を手控へつゝあるも伊豫の美津ヶ濱、大分の津久見地方の

生産者 は安値にも拘らず比較的多量の送荷を示し專ら販路の開拓に努めつゝあるやうである、相場は上等品一箱三圓、下等品一圓五十錢にして昨年よりも約二割方の安値に當る、富有柿は安價品たる山東柿に押れて需要不振なりしも月末は山東柿の終末により賣行稍良好にして一箱三圓五十錢どころを示した、蔬菜部にありては泉州物に代りて入荷したる北海道玉葱、冬期向貯藏用の馬鈴薯の如きは大部分の顧客が奧地なる關係上同方面の取引過薄せる昨今の狀態にては自然相場も低落を餘儀なくし從つて

入荷量 も減少を示しつゝある、その他地物の減少に代りて內地より大根、蕪、水菜、青葱などの入荷あるも是また安値は免れずして大根、蕪は一貫目十五錢水菜、青葱は二十錢乃至二十五錢どころの相場を示し市況は各部に亙りて頗る軟弱裡に越月した、今各部による賣上高及び前年同期との比較を示せば左の如し(單位圓)

部	賣上高	前年同期比較
日本物 蔬菜	一三、一九五	減 八六一
日本物 果實	二三、六六八	減六、四四八
臺灣物 蔬菜	一、七九六	減 三九九
臺灣物 果實	二三、六六四	減 六五四
支那物 蔬菜	三、五三三	減 六、〇八
支那物 果實	—	—
朝鮮物 蔬菜	—	減 四四九
朝鮮物 果實	—	減 三三九
滿洲物 蔬菜	一二、一五三	增 九、〇三
滿洲物 果實	一〇、〇六八	增 七、六一〇
合計	七六、二一〇	減六、三二〇

大連の卸賣物價
平均一分二厘の騰貴
十一月=大連商議調べ

大連商議調査による十一月平均大連卸賣物價は左の如く調査品目七十八種中前月に比し騰貴二十二種低落八種、保合十八種にして平均一分二厘の騰貴を示して居り、從來の漸落傾向を斷つて斷然漸騰模樣を示したがこの騰貴は最近の一般的傾向である、これを前年同月に對比するに一割一分八厘の低落となり更に同所基準昭和五年一月に比較するに二割八分八厘の低落である、卽ち前月に比し騰落品種左の如くである

▲騰貴 白米(滿洲特等、同一等)大豆、小豆、高粱、粟、麥粉(外國粉、日本粉)砂糖(YRO級、YP級)干瓢、鷄卵、綿糸、綿布、四本綿、モスリン、蒲團綿、煉瓦、木材(紅松)麻袋、豆油、豆粕
▲低落 白米(朝鮮特等)毛糸、セメント瓦、木材(白松)丸鐵、洋釘、コークス、木炭
▲保合 押麥、馬鈴薯、味噌、醬油、食鹽、清酒、麥酒、煙草、茶、鰹節、梅干、澤庵、椎茸、昆布、筍、牛肉、豚肉、鷄肉、ハム、牛乳、煉乳、鮮魚(カレイ)鹽鮭、ネル、羅紗、木綿糸

輸入品目分類と稅率
上海總稅務司で決定

八日在上海橫竹商務官より本地商議に達せる報告によれば上海總稅務司は左記輸入品の稅率について左の如く決定した

一、金屬クラウン、コルククラウン、コルク付完成品として輸入するものは輸入稅番六百…を適用す、但し半製品を附せざるものとして輸入さるゝものは輸入稅番…號を適用す
二、鏡付箱、鏡付…輸入稅番二百十…
三、藤削屑は細粗の…番五百六十五(…
四、石油罐の…油に對しては各種…箱なし)二罐に付…一、四一を課す
五、護謨浮標、水泳…時の圓型浮標は…十號を適用す
六、ハンケチ、拔き…り輸入アイリッシュ…婦人用ハンケチは…十六號を適用す

市場電報

上海爲替情報

市況

特産
銀安を移し大豆強調

錢鈔
弱人氣のため當市緩む

株式
內地株軟弱當市保合

商品
綿糸弱保合
麻袋變らず

爲替相場

奧地市況

大連埠頭到着高

各地特産發送高

物貨在高埠頭